PATTERN MAGIC

パターンマジック
伸縮素材

中道友子



文化出版局

この本の使い方

この本では、伸縮素材を使ったパターンを作るために、ほとんどの作品に"スローパー(ベースになるパターン)"を使っている。このスローパーの詳しい特徴は後で述べるが、ある程度の伸縮率の素材で製作すれば体にきれいにフィットするパターンになっている。

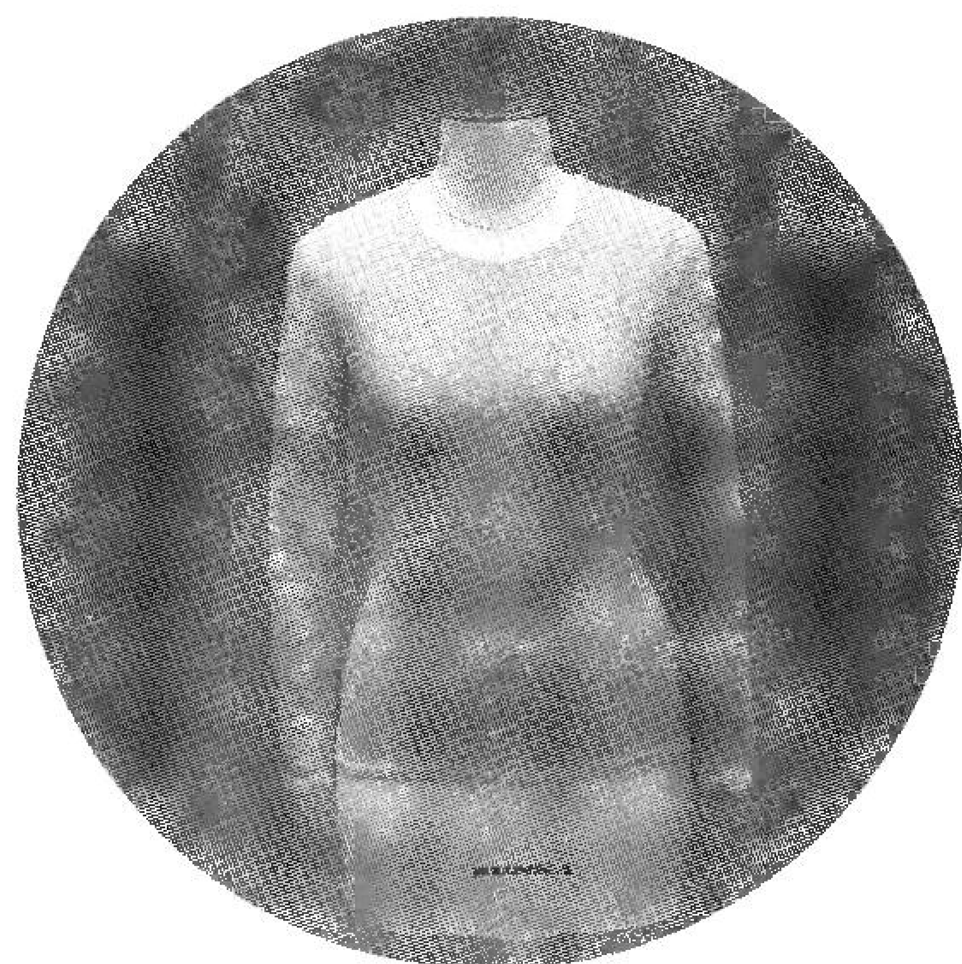
この本に記載した服のデザインの作図、パターン操作はMサイズのスローパー(バスト83cm、ウエスト64cm、ヒップ91cm、背丈38cm、袖丈52cm)をベースに使っている。そして、立体のパターン操作の解説には½のボディを使った。このボディはすべての寸法が½になっていて、表面積は¼、体積は⅛になる。

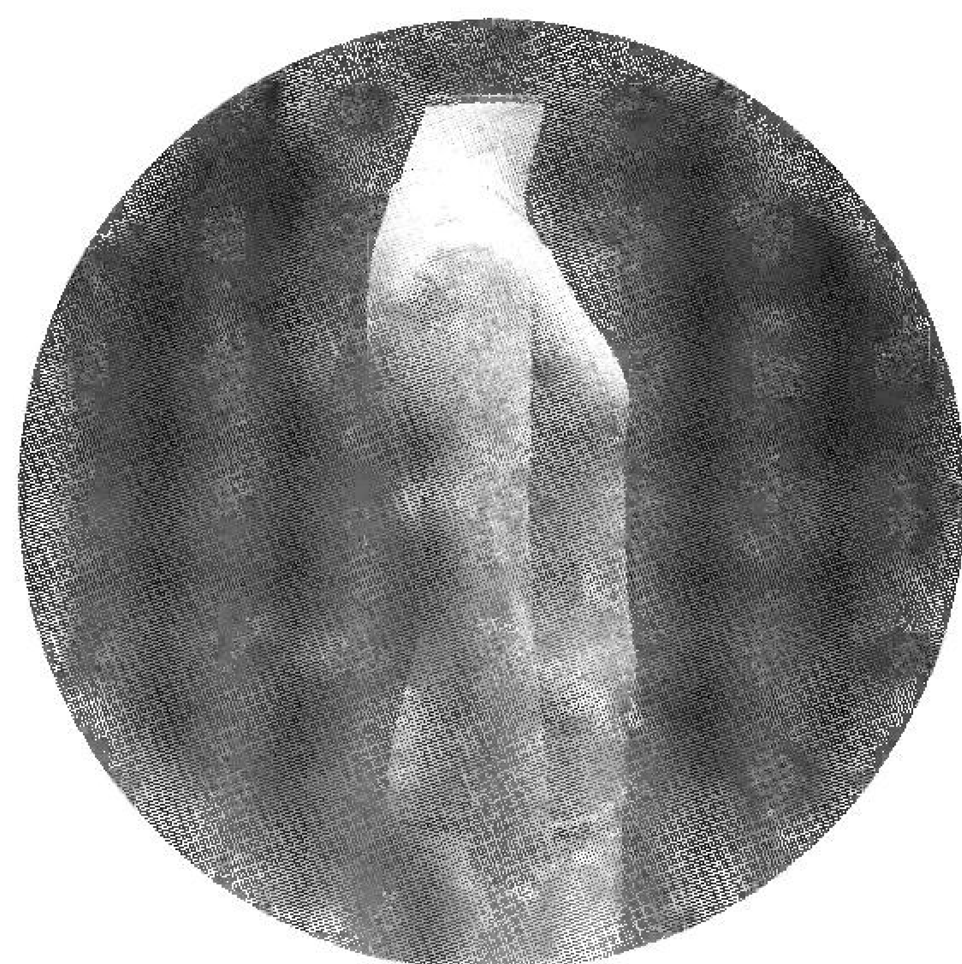
実物大で作ったときと、素材の厚みや垂れ感が異なるため、バランスなどが変わって見えることがあるが、½のボディを使うと、全体のバランスや雰囲気を簡単に把握することができるという利点がある。

パターンの仕組みを学ぶ方法としては、少ない分量の布で時間の短縮にもなって便利なので、この方法をとっている。½の作図をするときは、作図内の数字も½にすることを忘れないでほしい。

またパターンの成立ちをわかりやすく紹介することを目的としたため、パターンには、実際に仕立てるための見返しなどの表記、また、布の使用量の記載も省略してある。

●スローパーの実物大パターンと、その½パターン(各S、M、L)を付録につけた。目的によって使い分けてほしい。

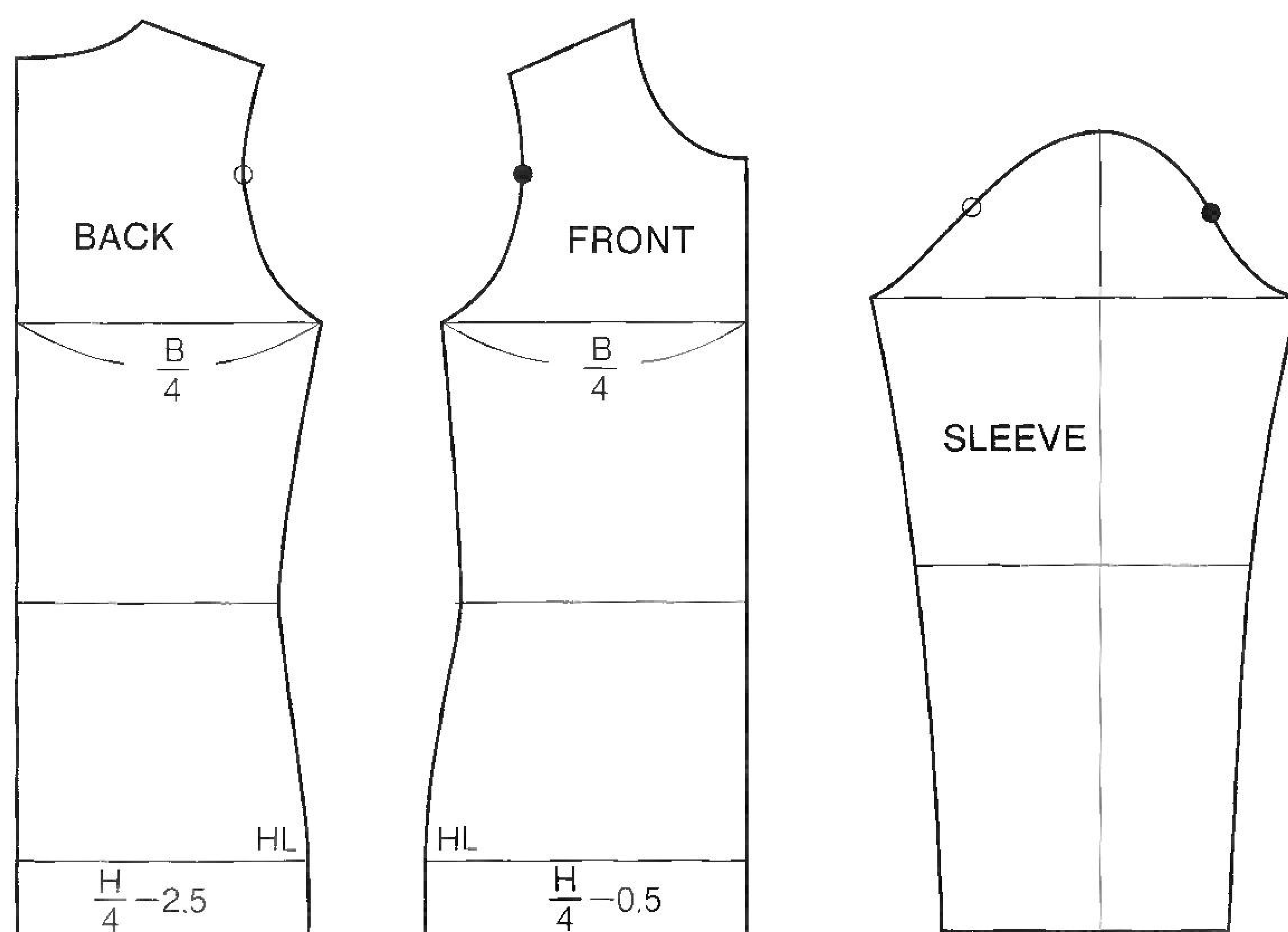




スローパーの特徴

布帛のスローパーとの大きな違いは、体にぴったりフィットさせていることである。それぞれ特徴のある部位をあげてみた。

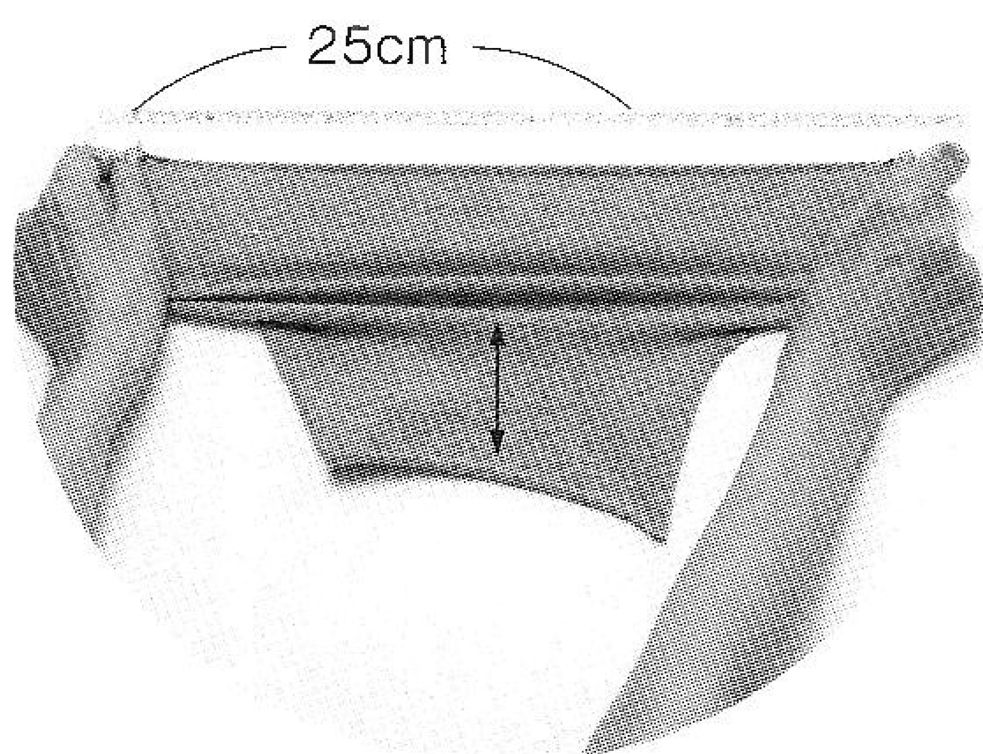
・袖が肩にのるように、肩幅を狭くした。
・袖底を上げ、アームホールを小さくした。
・袖幅も狭くして、腕にフィットさせた。
・アームホールと袖山は同寸法。
・ヒップは実寸法より小さくしてぴったりさせた。
・腰のカーブは直線に近い線でかき、フィットさせた。
・衿ぐりはかぶって着られるように大きくあけた。

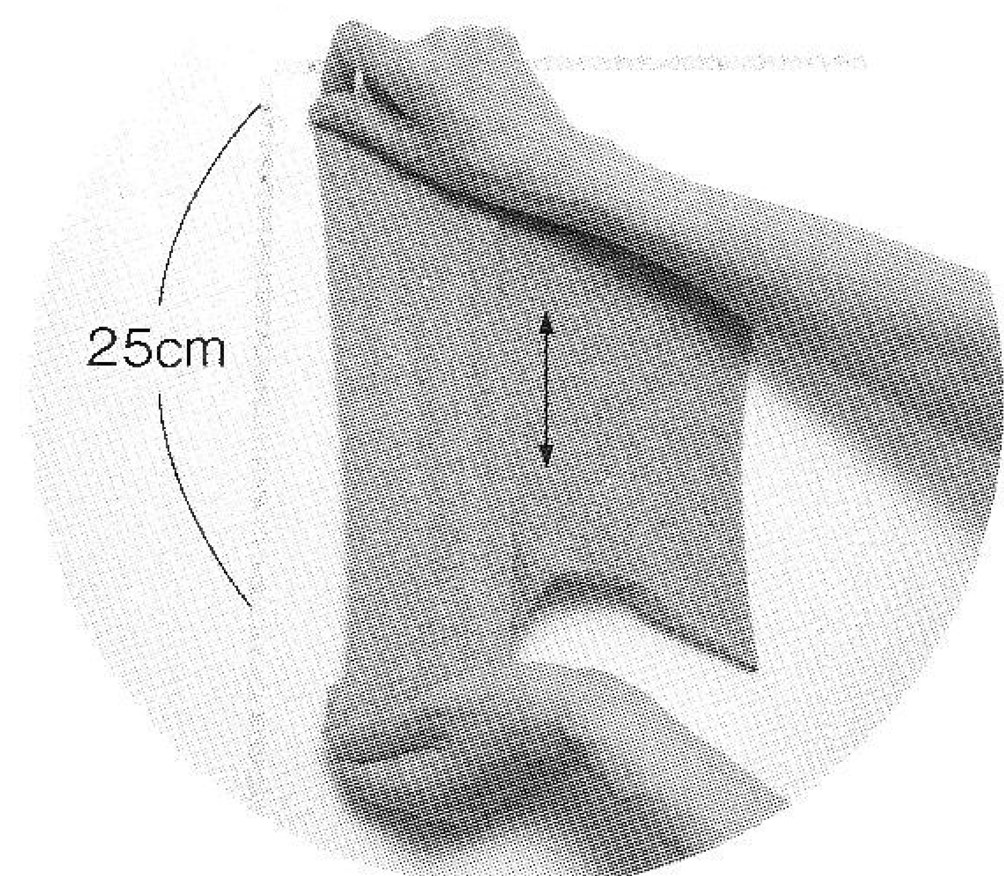


使用した素材

伸縮素材には、天竺、フライス、スムース、テレコなどがある。横によく伸びるのがフライス、テレコ。さらにポリウレタンが混じっているものは、縦にも伸びる。
ユニーバーにはベア天竺という、コットンにポリウレタンなどが入った素材を使用した。ベア天竺は縦横によく伸びるがカーリングがおきるので、カーリングが苦手であれば、フライス、テレコなどのよく伸びるものをおすすめする。
写真は、ここで使用しているベア天竺を普通の力加減で伸ばしたもの。この本の作品の多くは、フィット感を出すためにベア天竺のようなよく伸びる素材を使用している。







作図の略称記号と表示記号

略称記号

AH
(Arm Hole アームホール、袖ぐり)

FAH
(Front Arm Hole 前アームホール)

BAH
(Back Arm Hole 後ろアームホール)

B
(Bust バスト、胸囲)

W
(Waist ウエスト、胴囲)

H
(Hip ヒップ、腰囲)

BL
(Bust Line バストライン、胸囲線)

WL
(Waist Line ウエストライン、胴囲線)

HL
(Hip Line ヒップライン、腰囲線)

EL
(Elbow Line エルボーライン、肘線)

CF
(Center Front センターフロント、前中心)

CB
(Center Back センターバック、後ろ中心)

表示記号

案内線		目的の線を引くために案内となる線。 細い実線で表わす。
等分線		一つの限られた長さの線が等しい長さに分けられていることを表わす線。細い破線で表わす。
でき上り線		パターンのでき上りの輪郭を表わす線。 太い実線または破線で表わす。
わに裁つ線		わに裁つ位置を表わす線。 太い破線で表わす。
直角の印		直角であることを表わす。 細い実線で表わす。
線の交差		左右の線が交差することを表わす。
布目線		矢印の方向に布の縦地を通すことを表わす。 太い実線で表わす。
バイアス方向		布のバイアス方向を表わす。 太い実線で表わす。
切り開く印	開く	開くことを表わす。
別々のパターンを続けて裁つ印		布を裁つときに パターンを続けることを表わす。

PATTERN MAGIC

Part 1
自由な素材で遊ぶ

自由に伸縮する素材はすでにマジックがかかっている。

縦、横、斜めに伸縮し、何もしなくても体にフィットする。

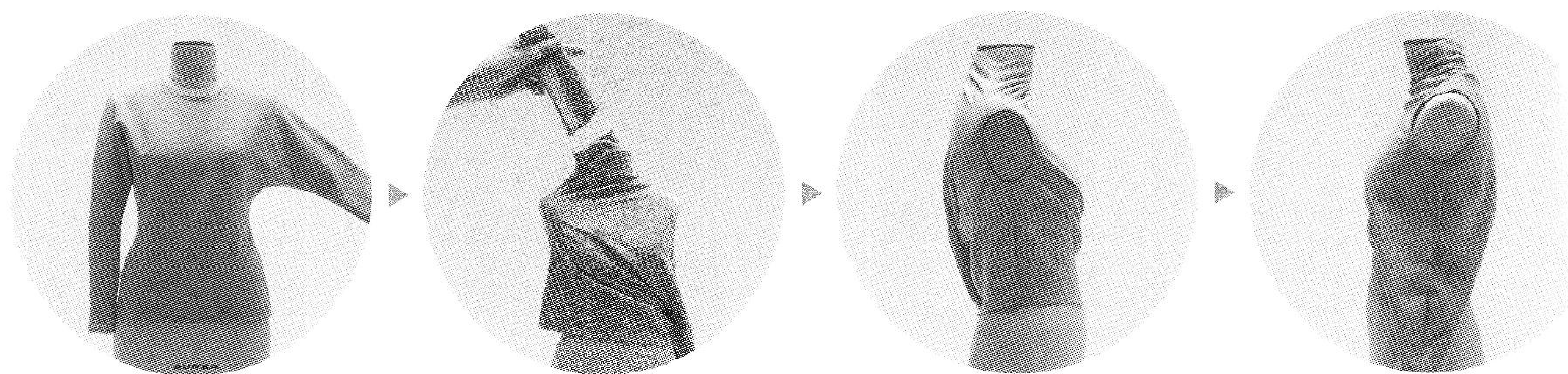
ゆとりはきれいなドレープに変化する。

着ることができればそれで完成という言い方もできるくらい。

この素材にしか通用しない自由なパターンの定義を見つけられたら、

布帛ではできないデザインも可能になる。

その自由さを服の定義に当てはめてパターンにしてみたい。



着間違い

解説26ページ



似たものどうし A

解説28ページ





似たものどうしB

解説30ページ





満月

解説32ページ



三日月

解説34ページ







着方のマジック

解説36ページ











もぐらたたき

解説38ページ

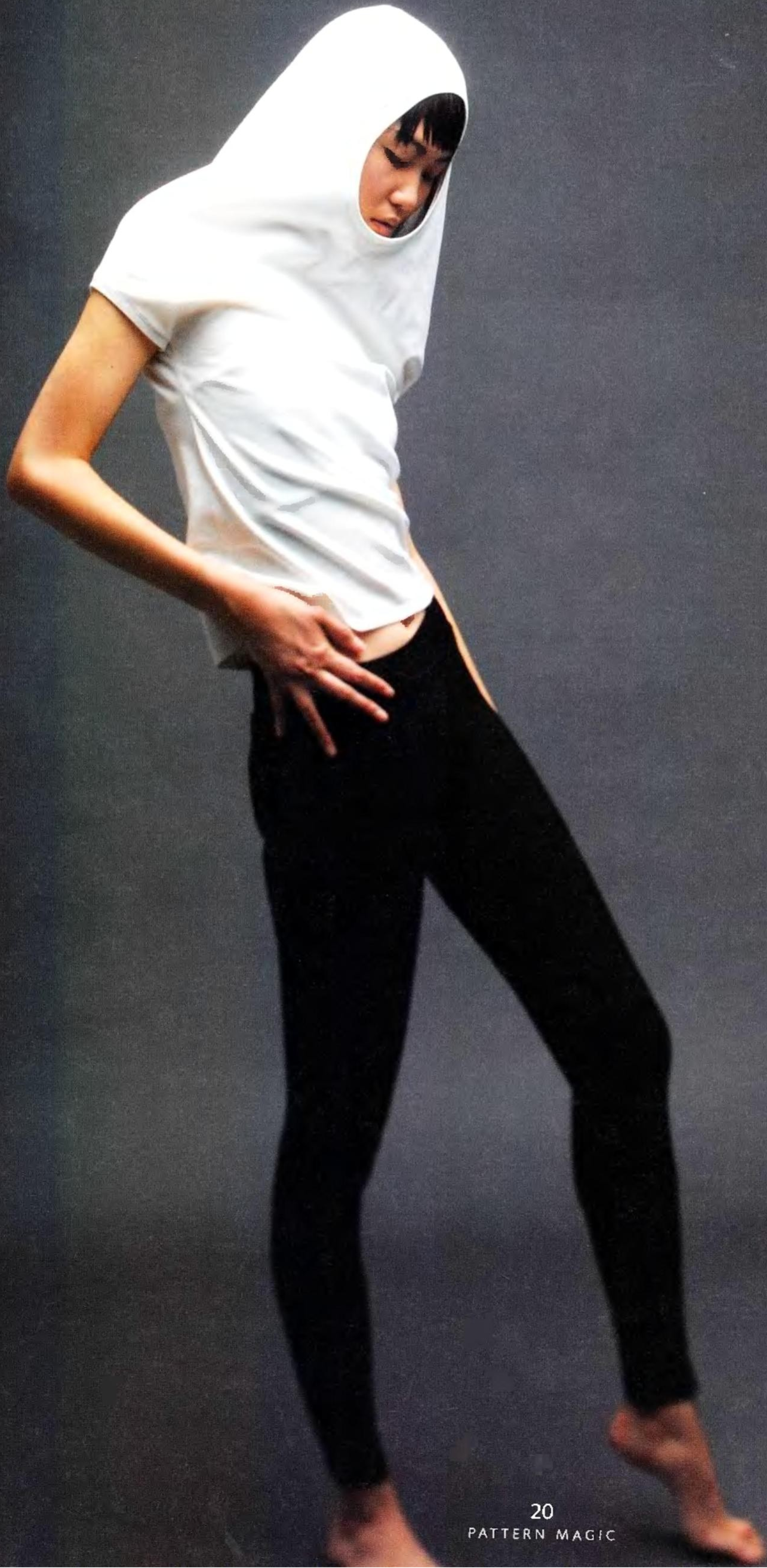






フードシャツ

解説40ページ

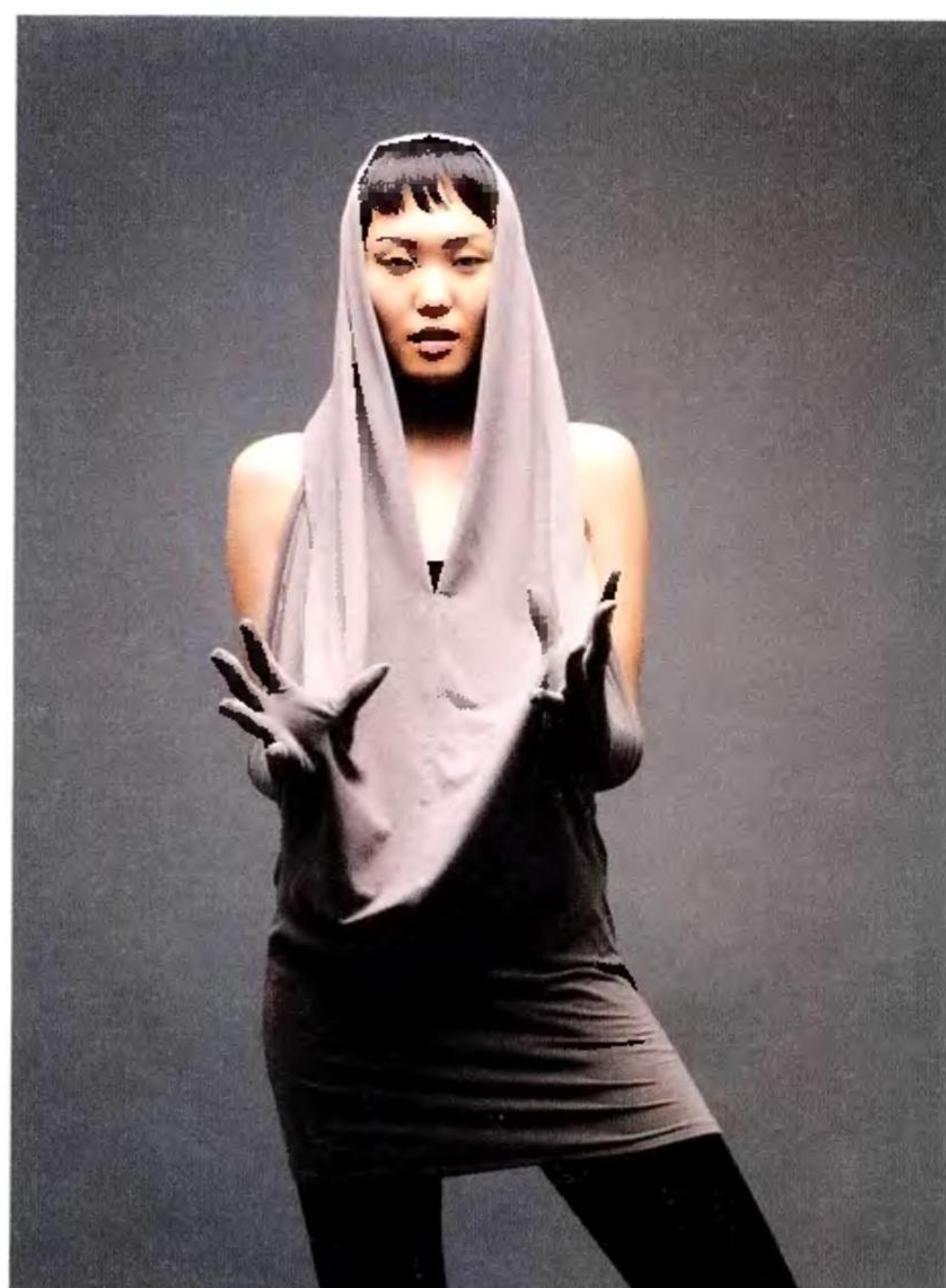




パターンミステリー

解説42ページ





つぶした空き缶

解説43ページ



PATTERN MAGIC

"自由な素材で遊ぶ"のパターンを作る

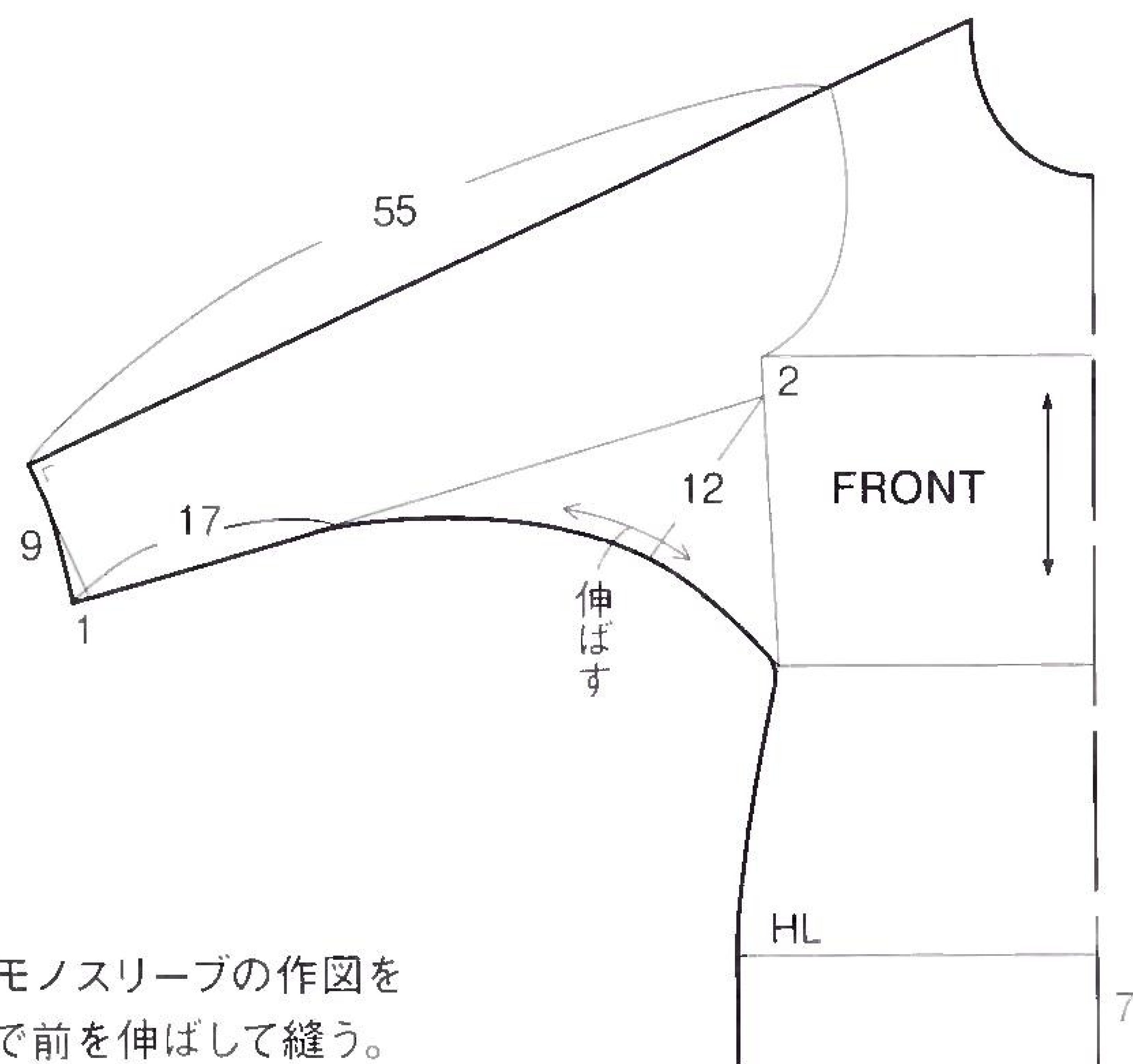


7ページ"着間違い"

遅刻しそうな朝は、
あわてててボタンをかけ違えたり
袖に頭をつっこんだり……
でも、着間違いがけっこうおもしろかったりする。
キモノスリーブのシャツから、
アバンギャルドなデザインにリメーク。







❶前後スローパーから、キモノスリーブの作図をする。袖下の長さが違うので前を伸ばして縫う。



❷ でき上がったキモノスリーブのシャツをボディに着せる。



❸ 右袖を頭にかぶせる。左肩に衿ぐりがきて肩先がのぞく袖になる。右脇が飛び出る。



❹ 頭が入る幅があるか確認し、余分な袖をカット。袖がハイネックに変わる。



❺ 飛び出た右脇をピンでつまむ。

リメーク後のパターン

1.5
32
BACK
35
1.5
ø
1 7

4
35
FRONT
32
6
12
5
ø 1
7 1

キモノスリーブの前後パターンを左右
かいて、リメークした結果を写す。



⑥ 右肩を整え、袖ぐりになる位置にテープをはる。袖ぐりは伸びやすいので、少しずつ確かめながら大きさを決める。

⑦ 左袖は太く、肩の穴も大きい。左袖がすっきり見えるように、ピンでつまんで袖幅を細くする。

⑧ 左袖を整える。袖丈を短くする。

⑨ 縫い上げて完成。

8ページ〝似たものどうしA〞

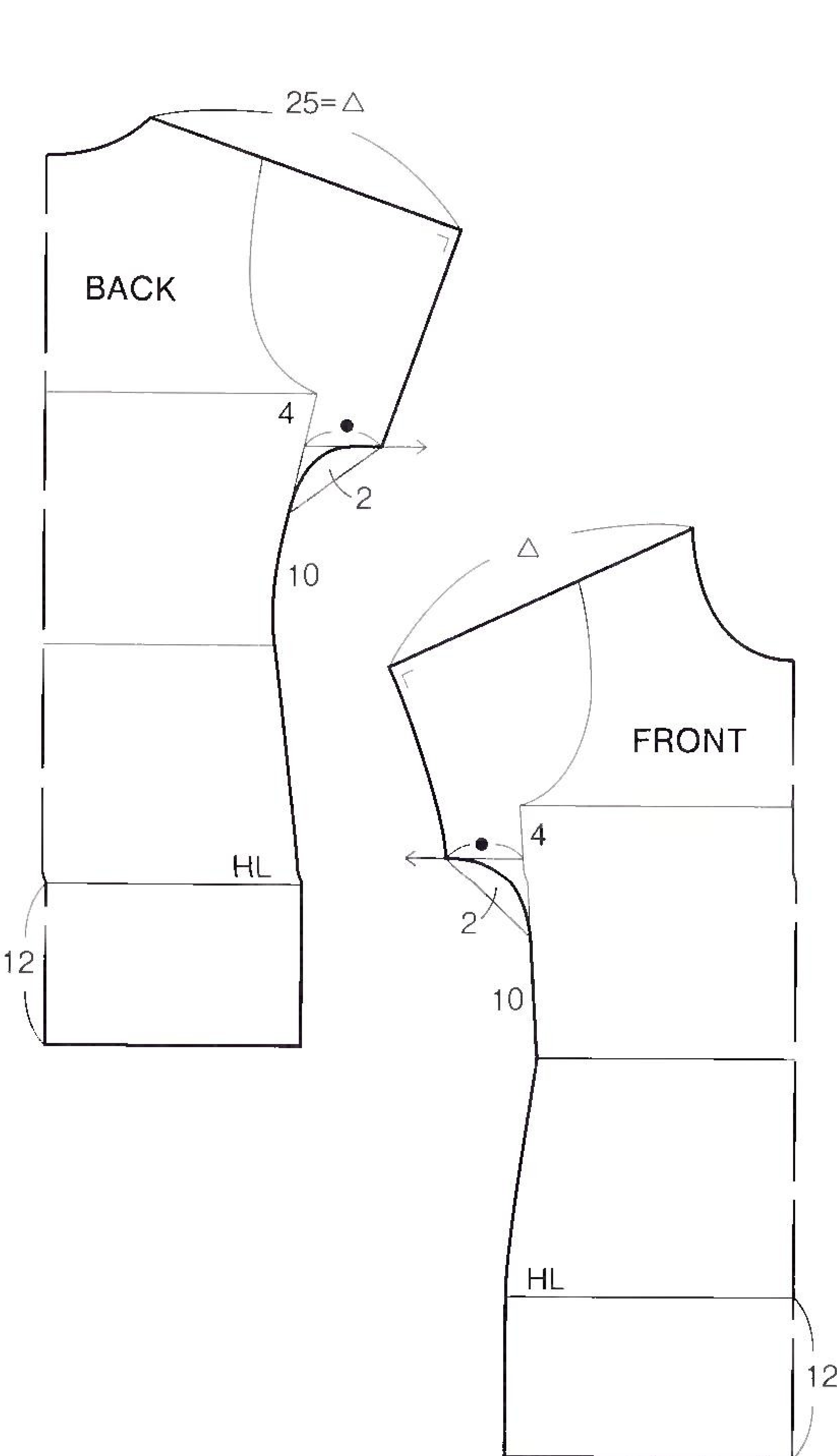
チビなシャツとビッグなシャツ、

いっしょにしたら、普通サイズのシャツになり、

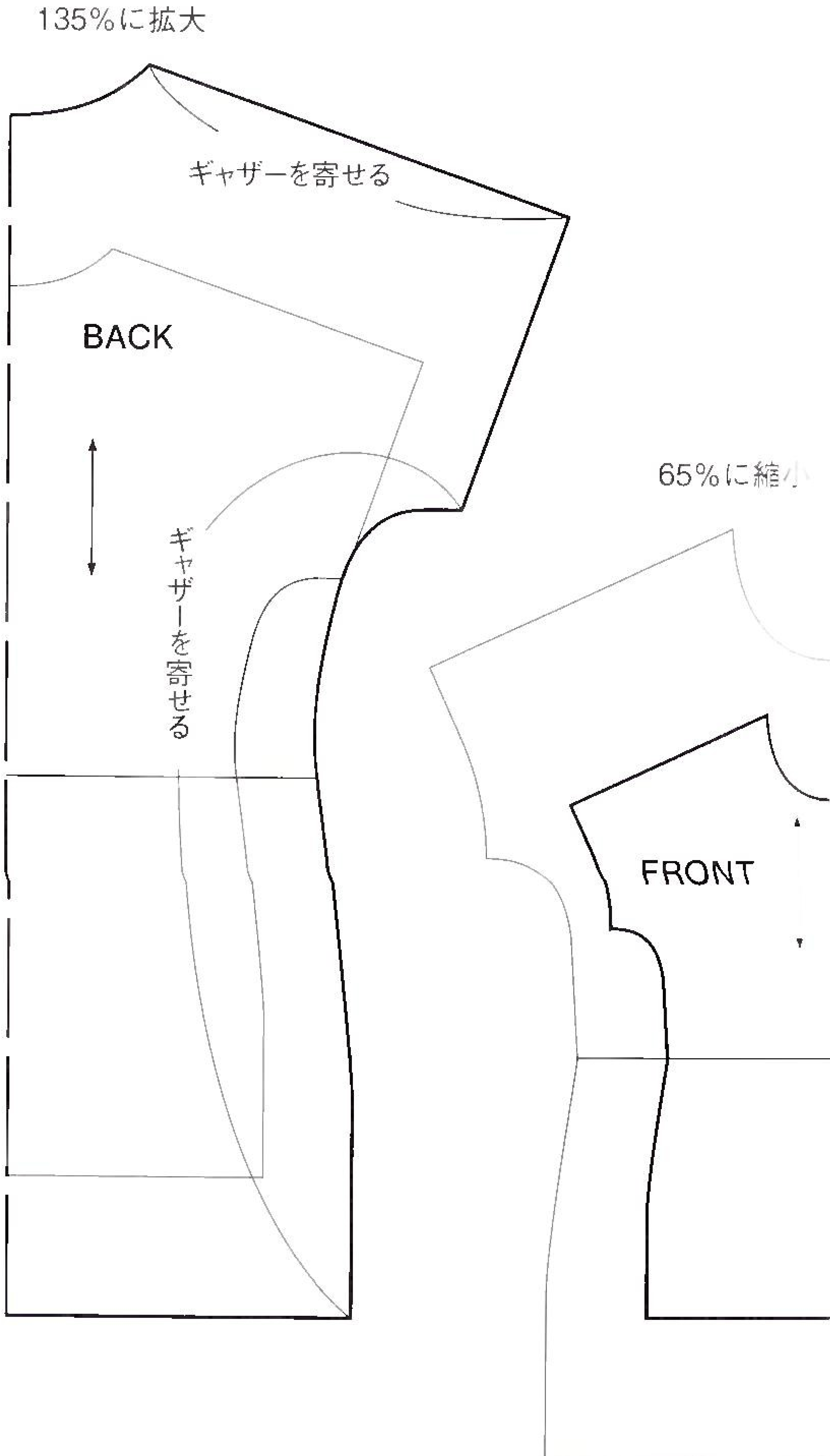
似たものどうし、仲よくおさまった。



パターンの拡大、縮小は、コピー機を使う。
使わない場合は98ページで解説した方法でできる。



❶ 前後スローパーのヒップラインから上をかく。キモノスリーブの作図をする。



❷ 後ろ身頃を135%に拡大コピーする。前身頃を65%に縮
コピーする。後ろ身頃の脇と肩にギャザーを寄せて前身頃と縫い合わせる。



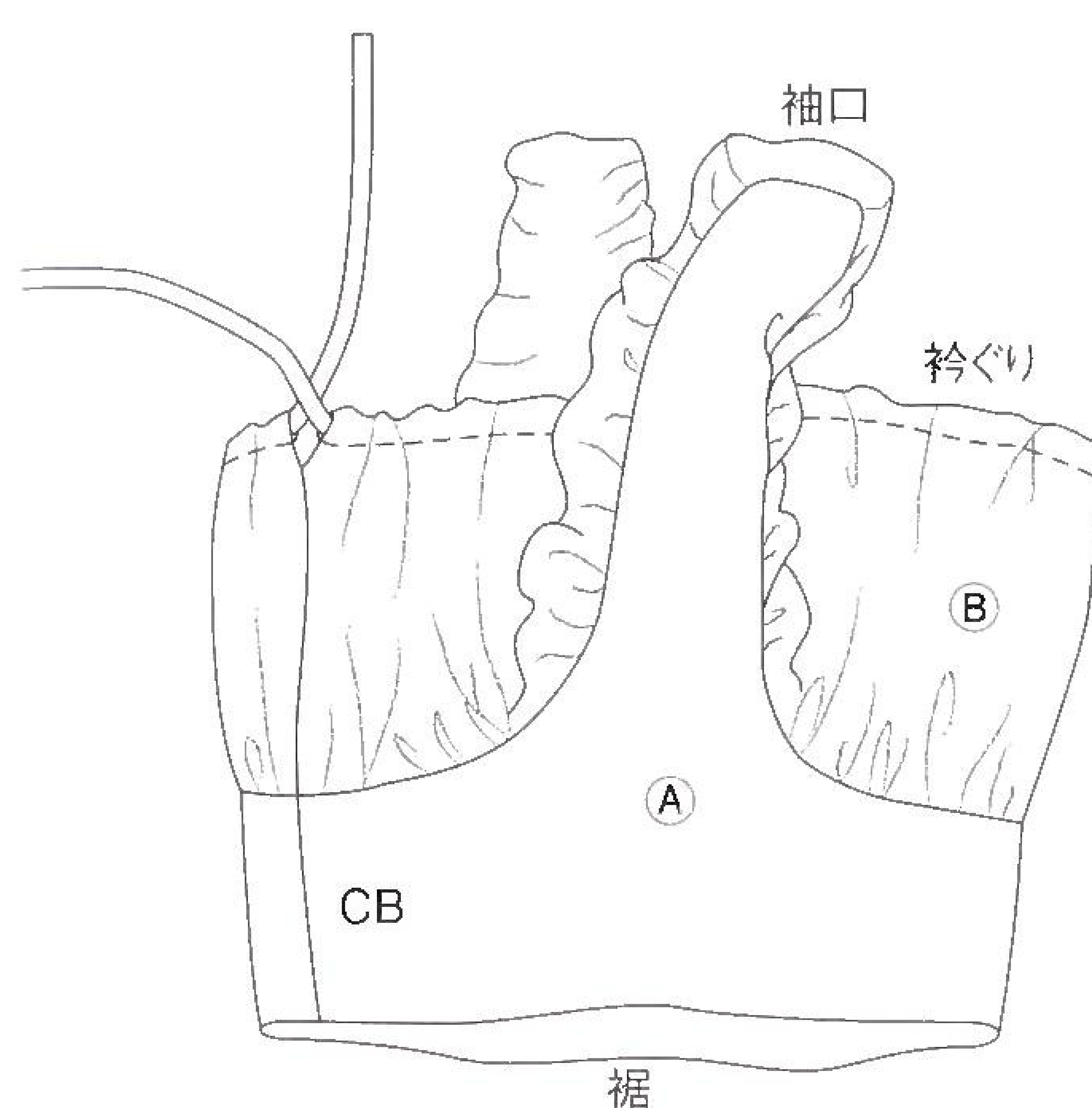


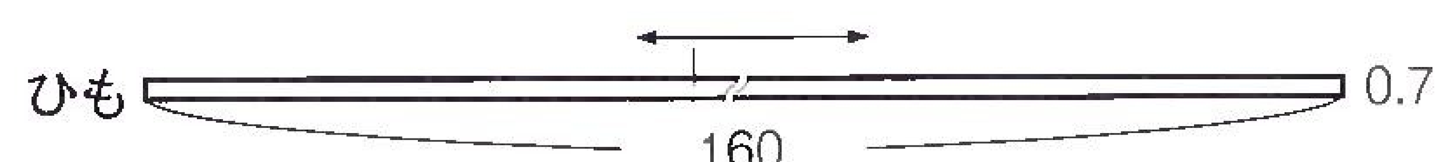
10ページ"似たものどうしB"

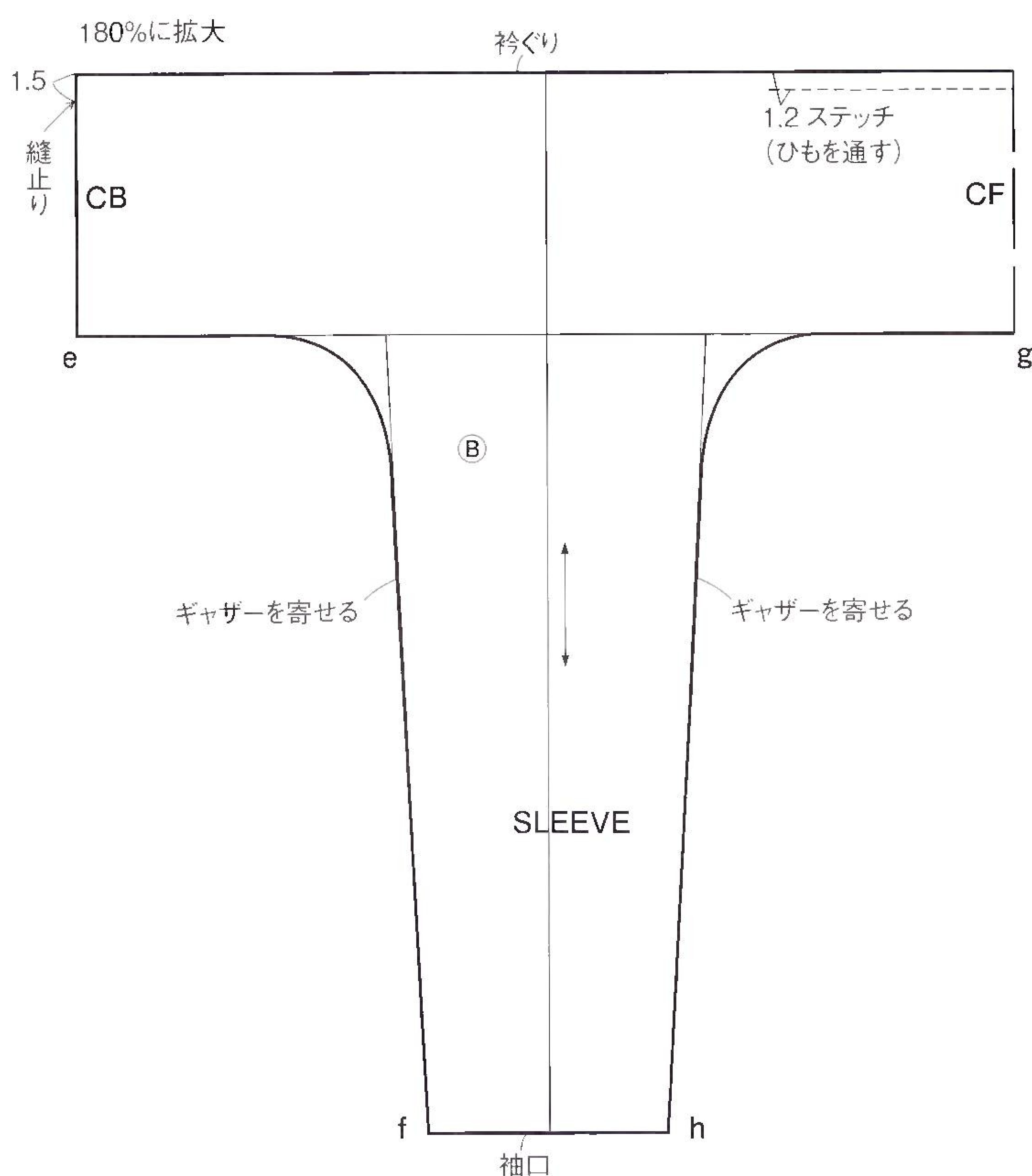
おもちゃのブロックを組み立てるように、
大小のT字形のパターンを上下に組み合わせたら、
それだけでフォークロア調のブラウスになった。

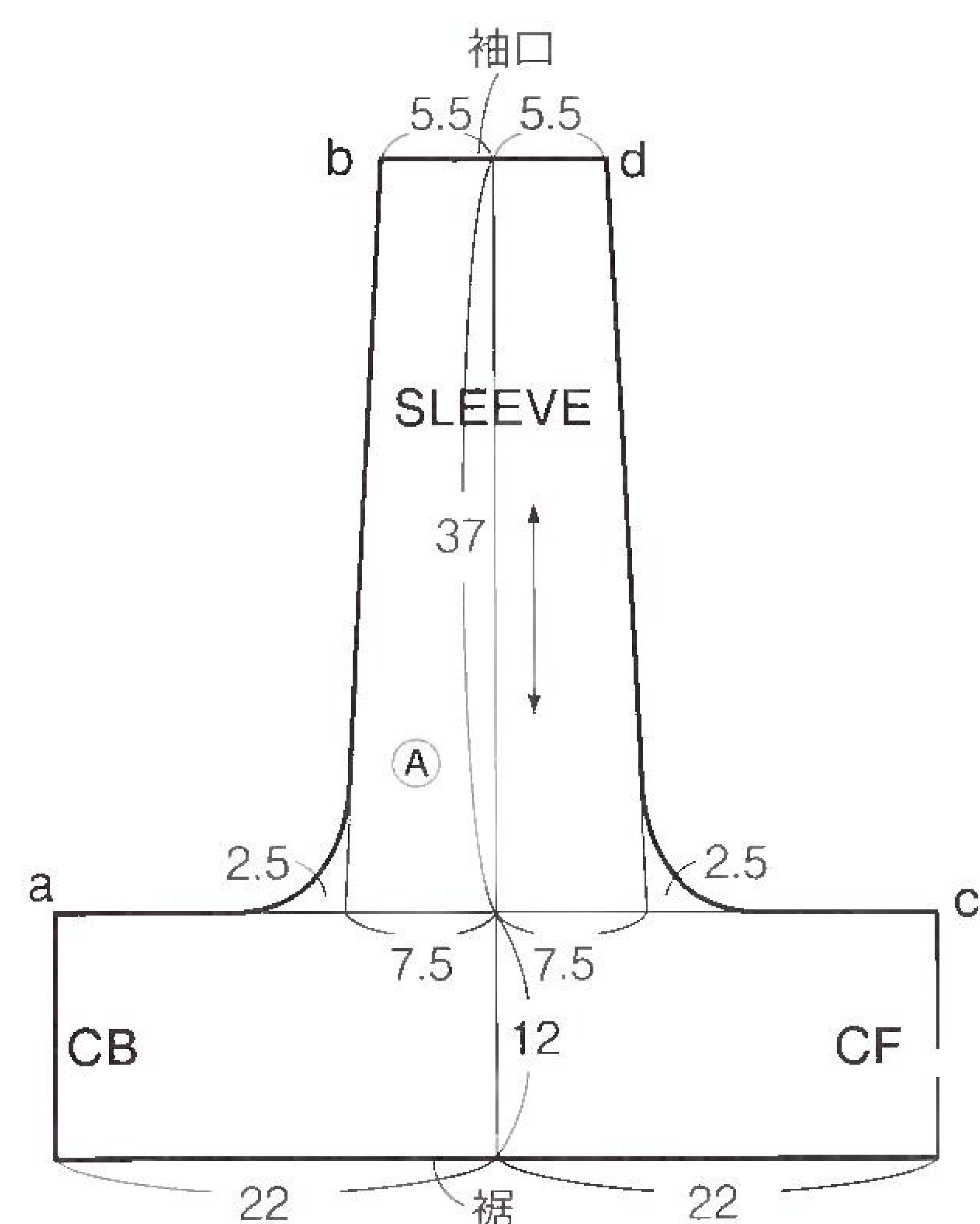


でき上り図







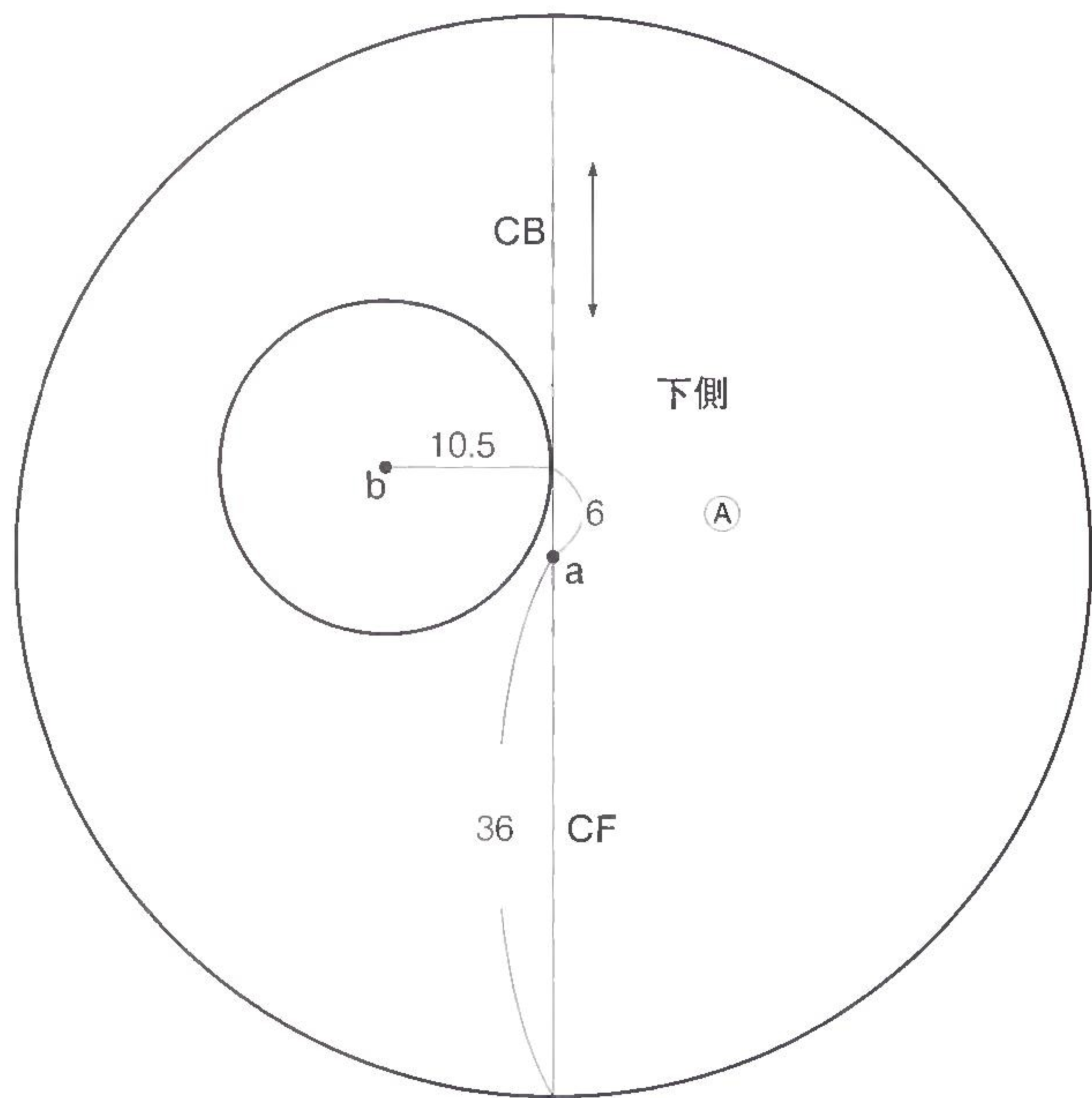


❶ バストから下の身頃と内袖がつながってできた逆さT字形をしたパターンの作図をし、Ⓐとする。

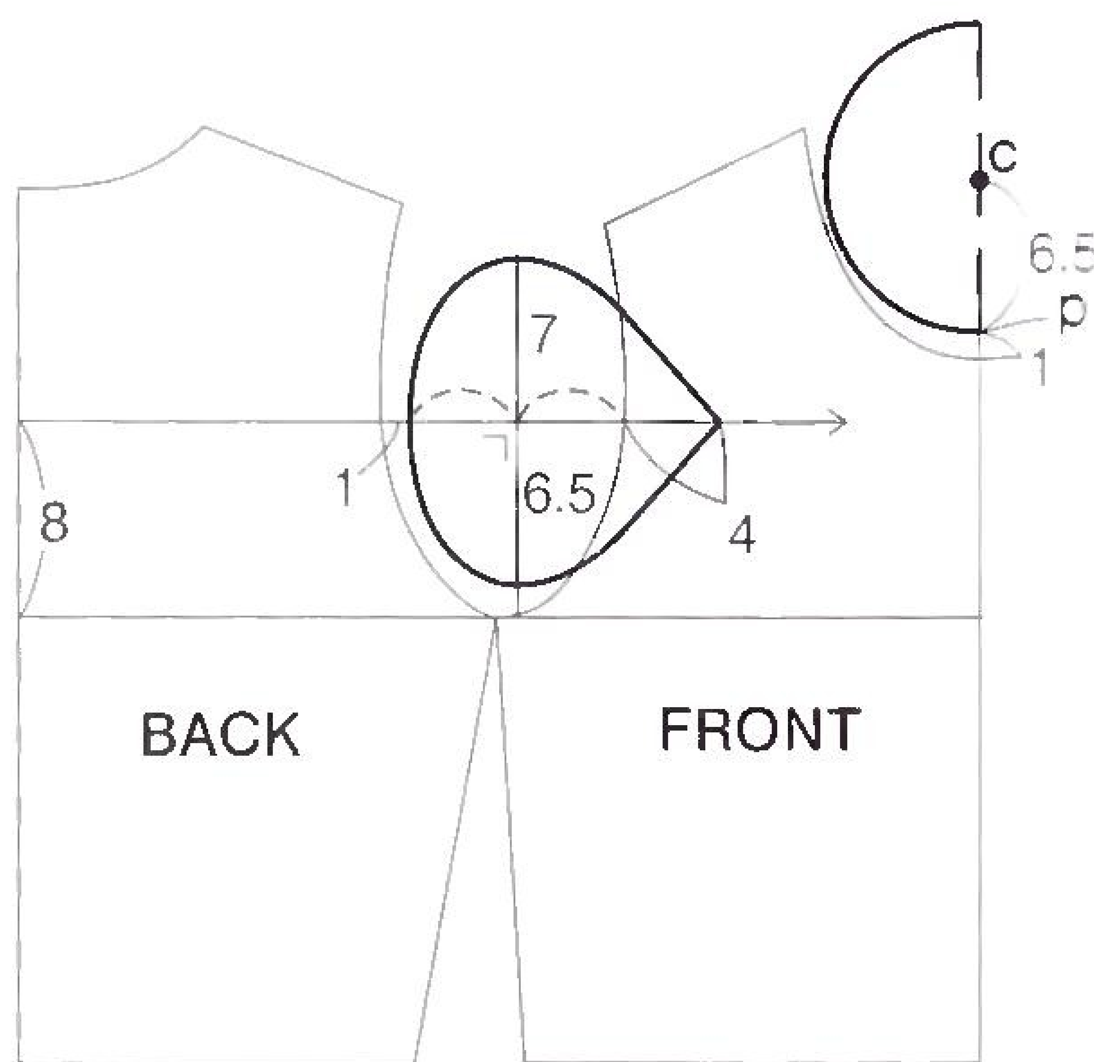
❷ バストから上の身頃と外袖がつながってできたパターンは、Ⓐを180%拡大したもので、上下に反転しⒷとする。a～bとe～f、c～dとg～hを縫い合わせる。衿ぐりはひもを通して調節する。

12ページ"満月"

表の顔しか見せない月は、
世界中のどこから見ても同じ模様。
うさぎに見えたり、女性の横顔だったり……
２枚の円を縫い合わせて作った満月は、
衿ぐり、袖ぐりの穴の位置を変えると
いろいろな表情の服になる。



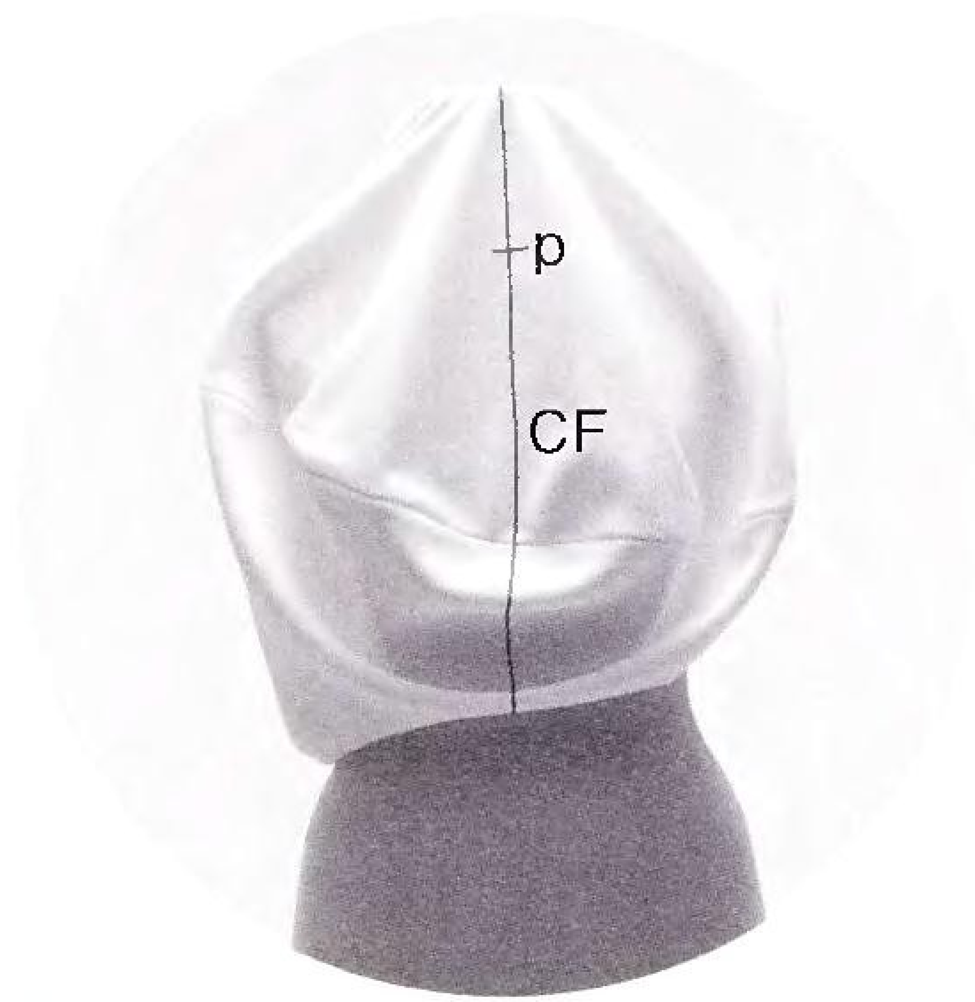
❶ aを中心にして半径36cmの円をかく。その円の中に、ウエスト回りになる、bを中心とする半径10.5cmの円をかく。ウエスト回りを通って体を入れるので、バストが入るか確認する。これを下側になる円Ⓐとする。



❷ 袖ぐりと衿ぐりの作図をする。前後スローパーのウエストから上を袖底を合わせて、袖ぐりをかく。前中心線上でcを中心とする半径6.5cmの円をかき衿ぐりとする。



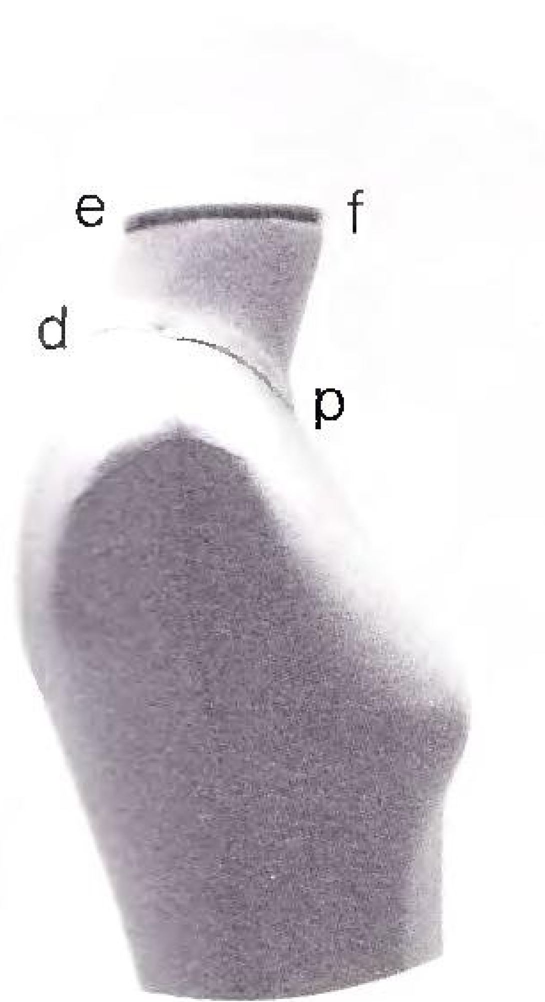
❸ Ⓐと同じ大きさの、穴のあいていない円をⒷとする。Ⓑは着たときに上側の円になる。ⒶとⒷを縫い合わせる。



❹ ボディに着せる。動かしながら、好みのシルエットを決める。前中心線とフロントネックポイントに印をつける。フロントネックポイントをpとする。



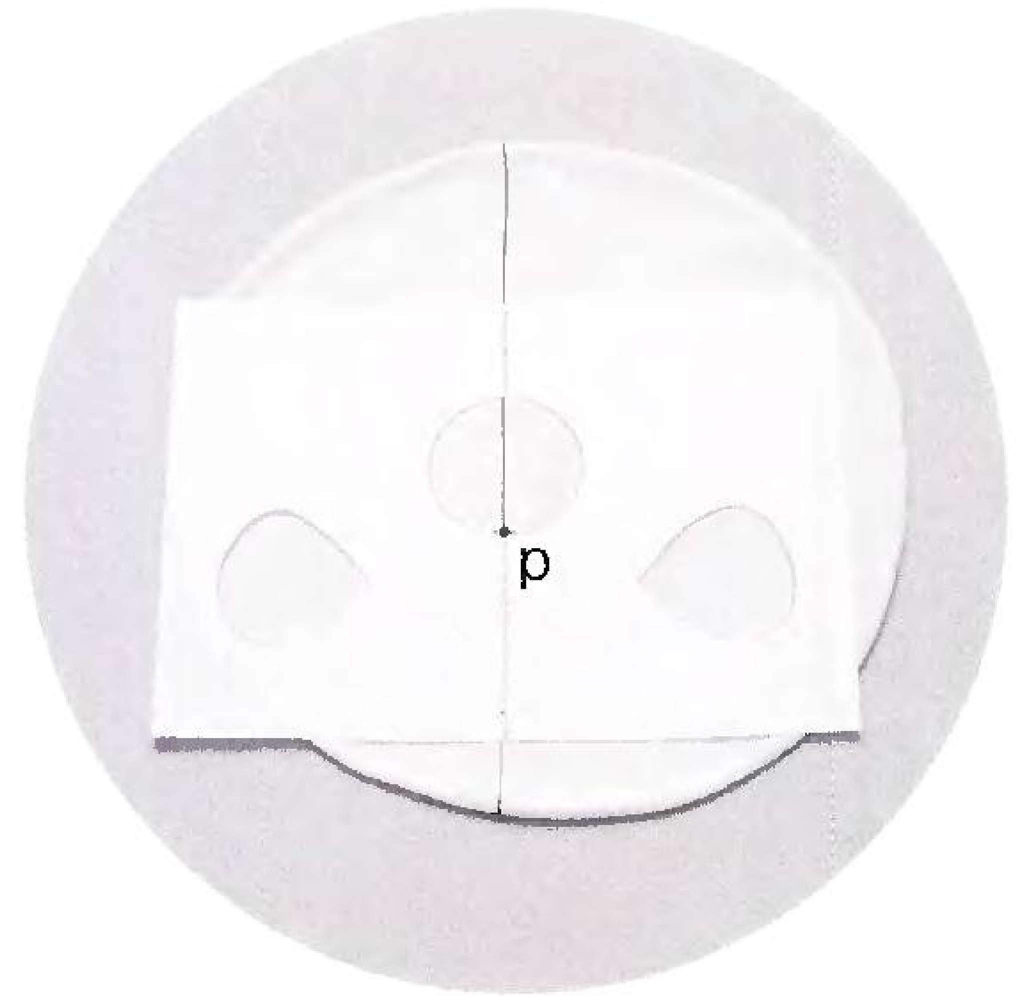
❺ ボディの首で、後ろ身頃がつり上がる。



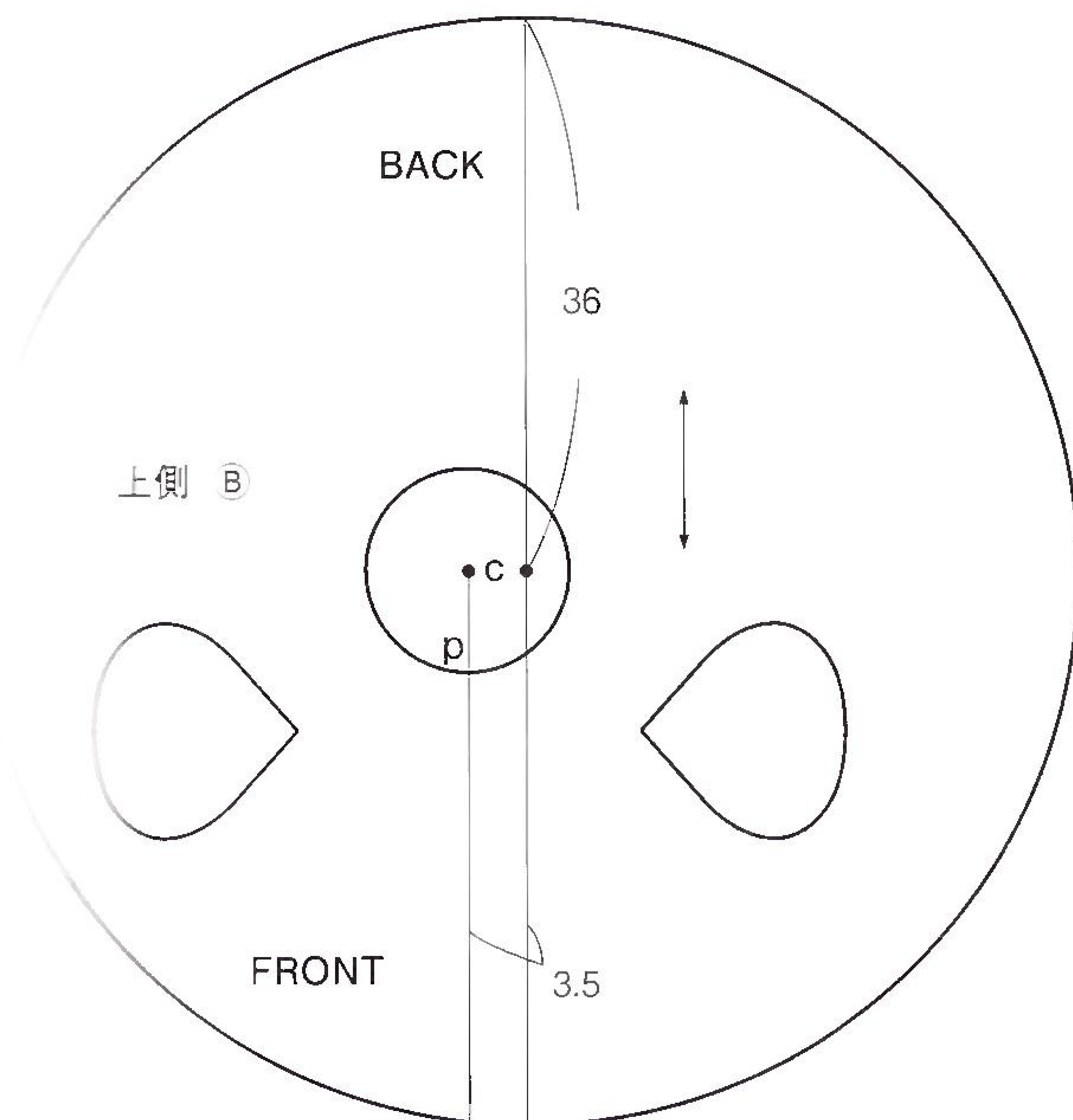
❻ ボディの首(d〜e〜f〜p)の長さを△とする。



❼ △の分の後ろ身頃を下げてシルエットの確認をする。シルエットが気に入らなければ❹に戻って作業を繰り返す。



❽ Ⓑを上にして平らに置く。❷でできたパターンを前中心とpで合わせてすえる。衿ぐり、袖ぐりを身頃に写す。





❾ Ⓑの完成パターン。

13ページ〝三日月″

月は〝満ち″〝欠け″を

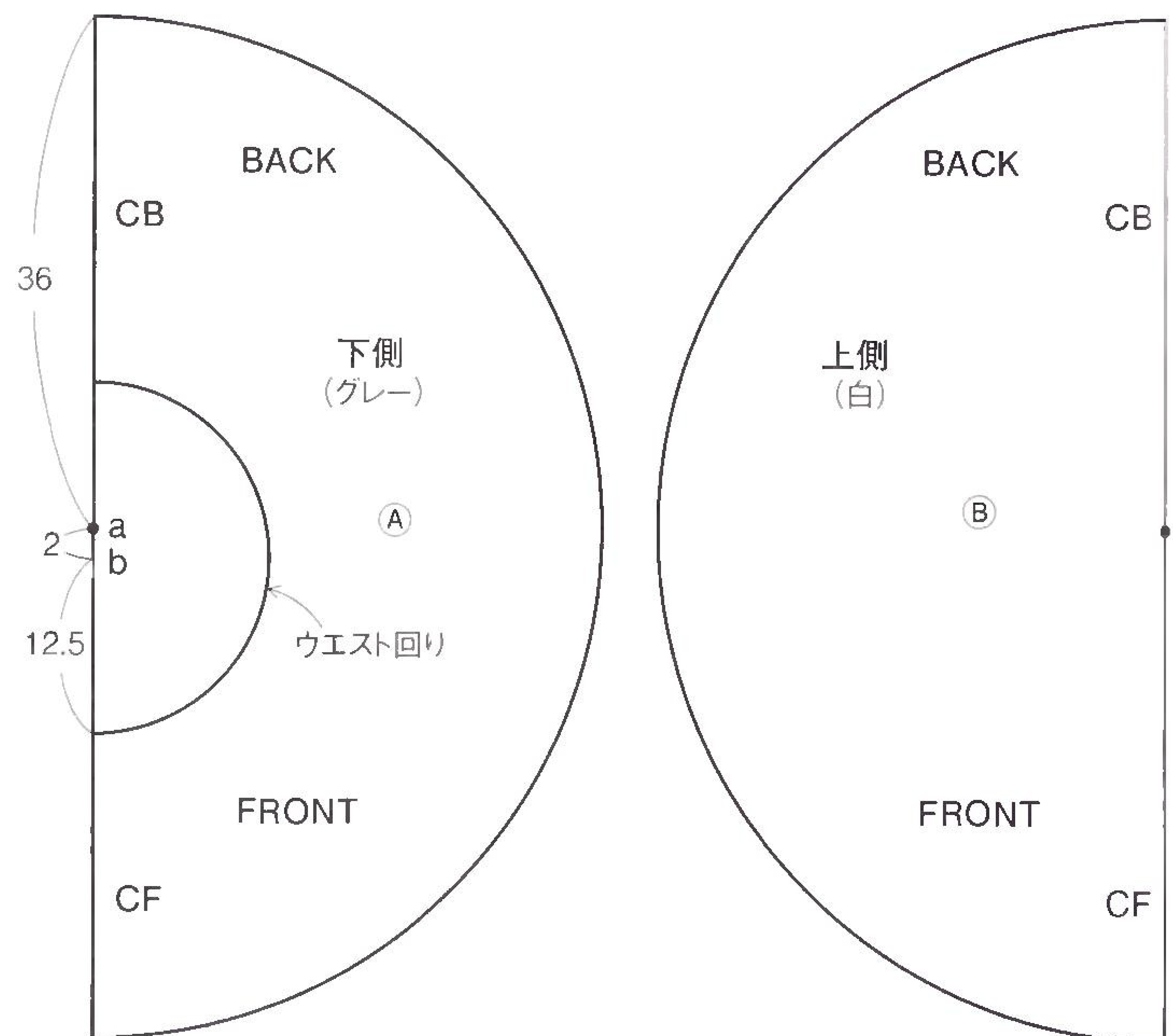
繰り返しながら見える姿を変化させる。

布でできた月は、

２枚の布の色を変えたら

背中にふんわり三日月が浮かんで見えた。

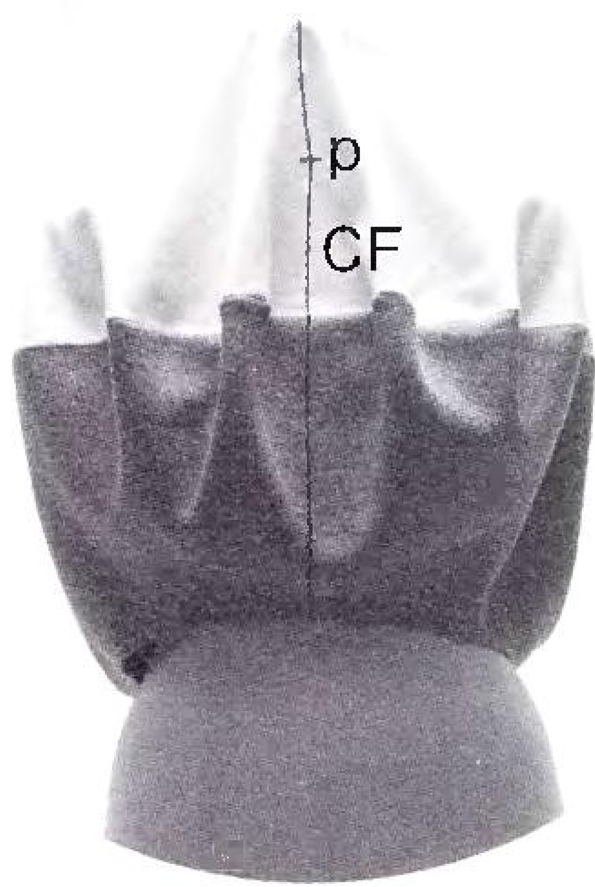




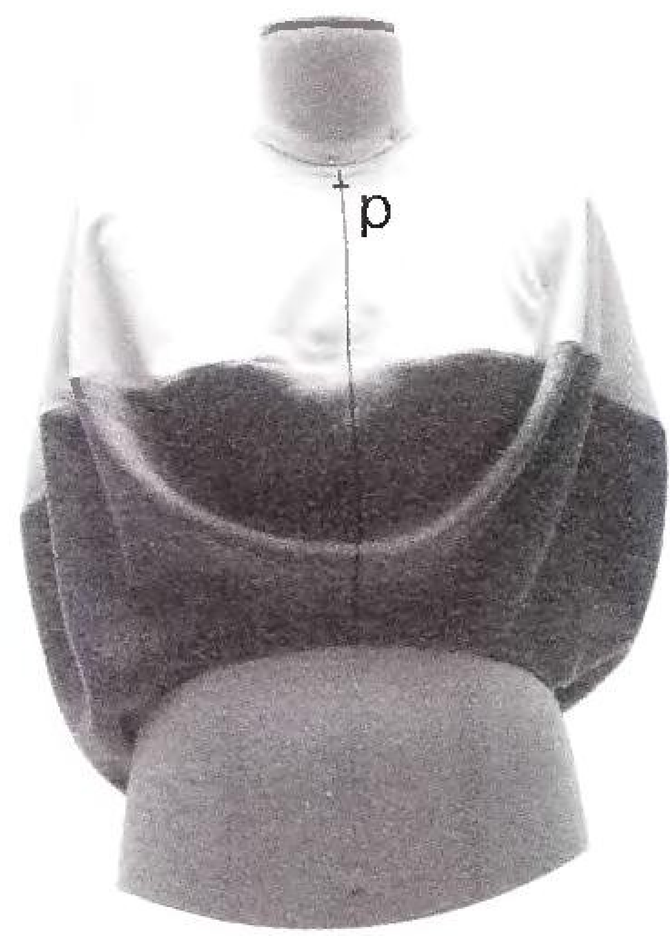
❶ aを中心とする半径36cmの円をかく。円の中に、bを中心とする半径12.5cmの円をかき、ウエスト回りとする。これが下側の円になりⒶとする。Ⓐの穴のあいていない状態の円をⒷとする。Ⓑは上側の円になる。



❷ Ⓐ とⒷを縫い合わせ、ボディに着せる。



❸ 動かしながら、好みのシルエットを決める。前中心線とフロントネックポイントにpの印をつける。



❹ pを通りボディの首が入る大きさの円をくりぬいて着せる。

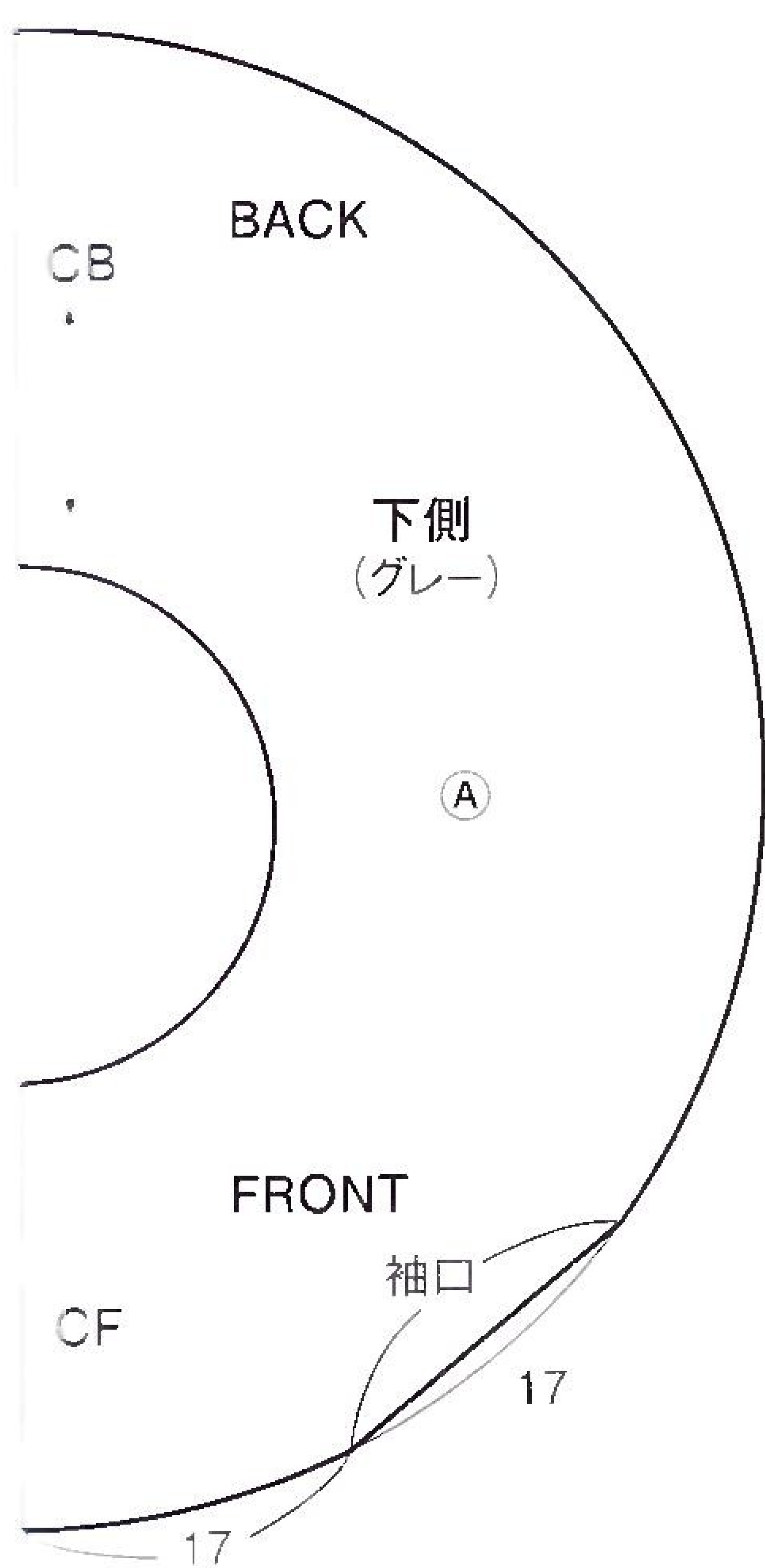


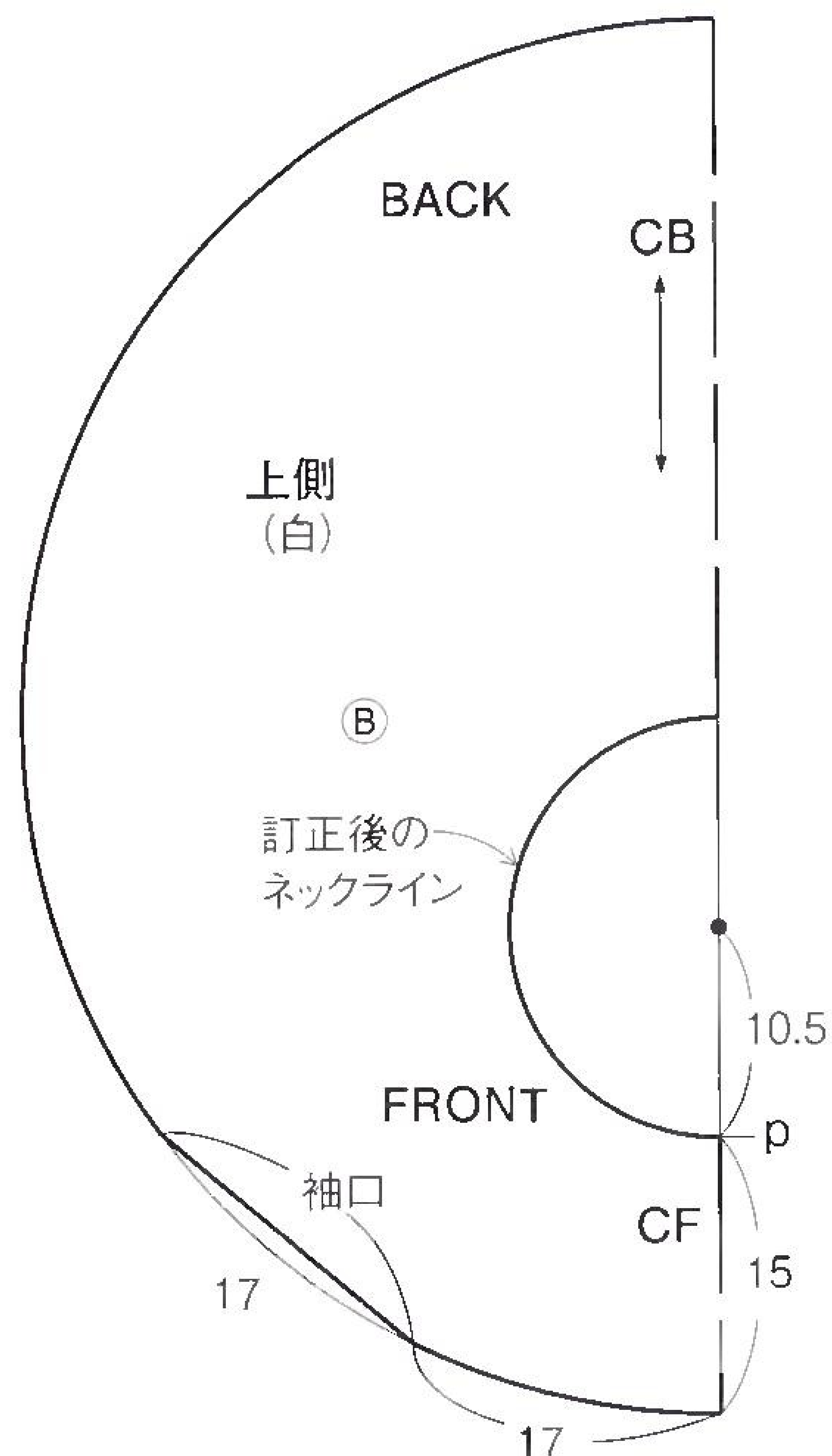
❺ 衿ぐりは、好みのラインにテープで印をつける。



❻ 袖ぐりは、縫い目を利用して袖口を決め、印をつける。







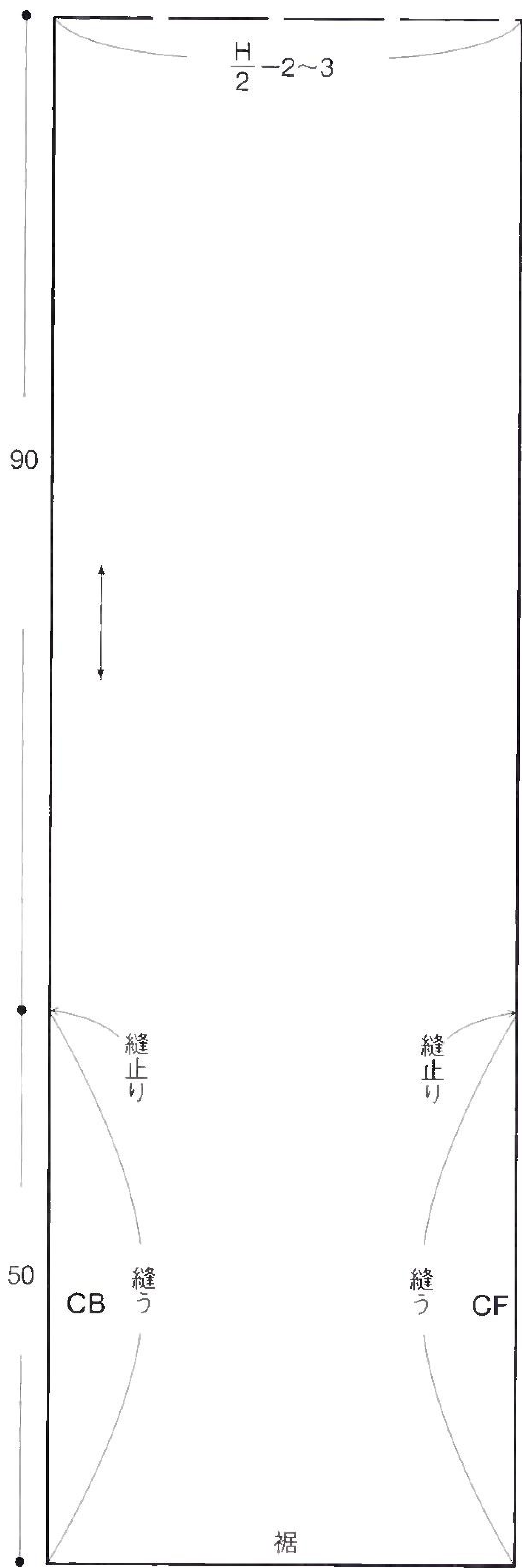


❼ Ⓐ とⒷに衿ぐり、袖口を写してかき込み、作図を完成する。

16ページ"着方のマジック"

マジックのかかった長方形は大人の雰囲気のベアトップに。
ねじって、広げて、結んで、通して……
何通りの着方ができるのか、着る人がさらにマジックをかける。







作図をする。ヒップでフィットさせて着るのでマイナスのゆとりにする。









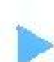















18ページ"もぐらたたき"

いろんなところから頭を出せるワンピースは、
たたいてもたたいても次々に頭を出すもぐらたたきのようだ。
たたいた爽快感はないけれど、
頭を出すところを移動するたびにシルエットが変わる楽しみがある。





真ん中のハイネックに頭を入れ
両端のハイネックに腕を通す

胸下にタレドレープができる。脇に穴があいたニングワンピースになる。



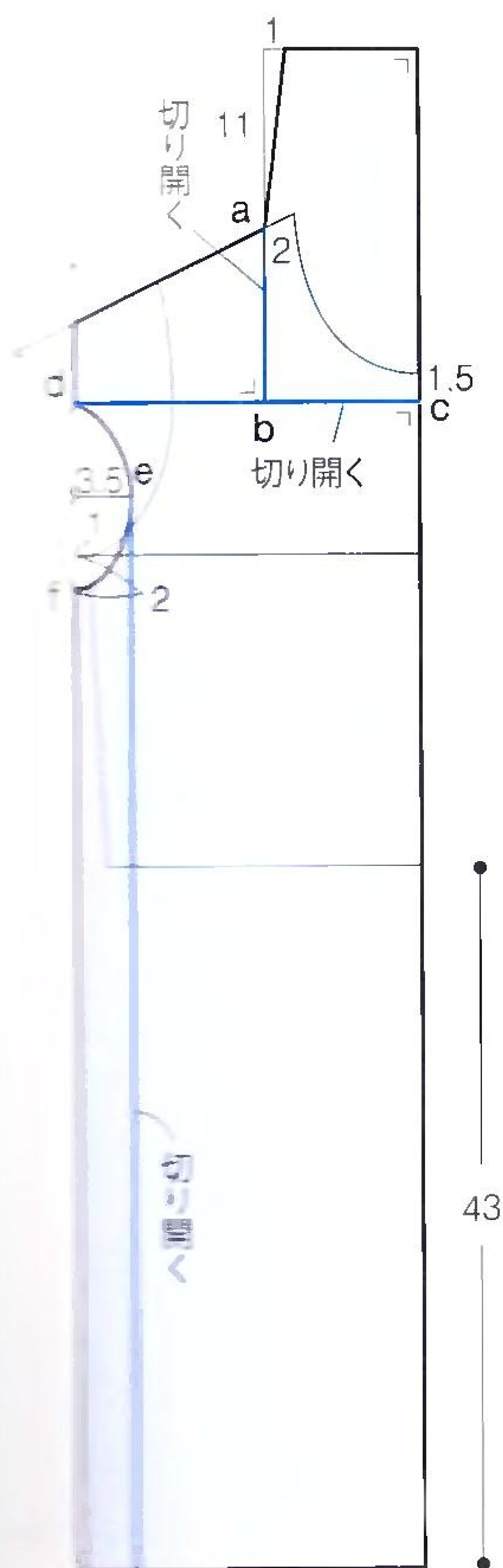
真ん中のハイネックに頭を入れ
脇の穴に腕を通す

肩に乗った両端のハイネックがいかり肩のシルエットを出し、胸もとにドレープができる。

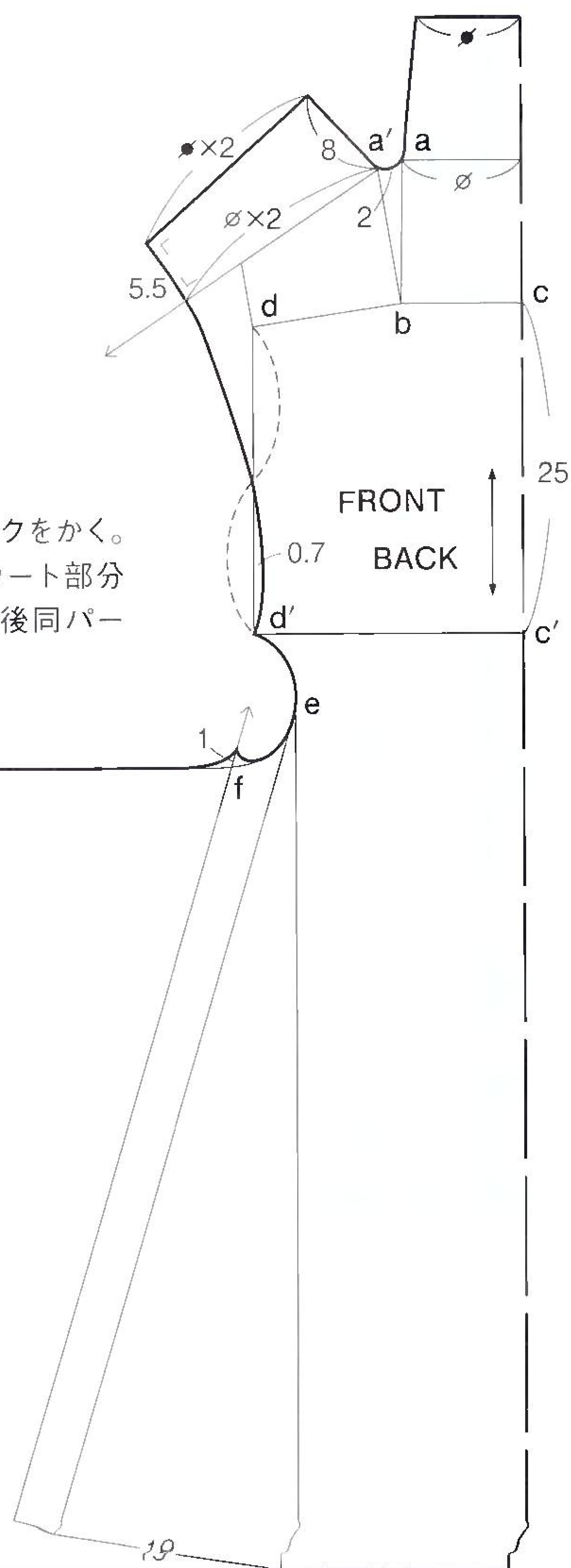


左端のハイネックに頭を入れ
脇の穴に腕を通す

アシメトリーになる。残ったハイネックが肩の上に乗り、胸のドレープと交わって、アバンギャルドな感じになる。



❶ 身頃のスローパーのウエストから上をかく。中心のハイネックをかき、左右のハイネックをかくための切開き線を入れる。ドレス丈を決め、脇のラインにはアクセントにもなる袖ぐりの楕円の穴をあける。穴から切開き線をかく。



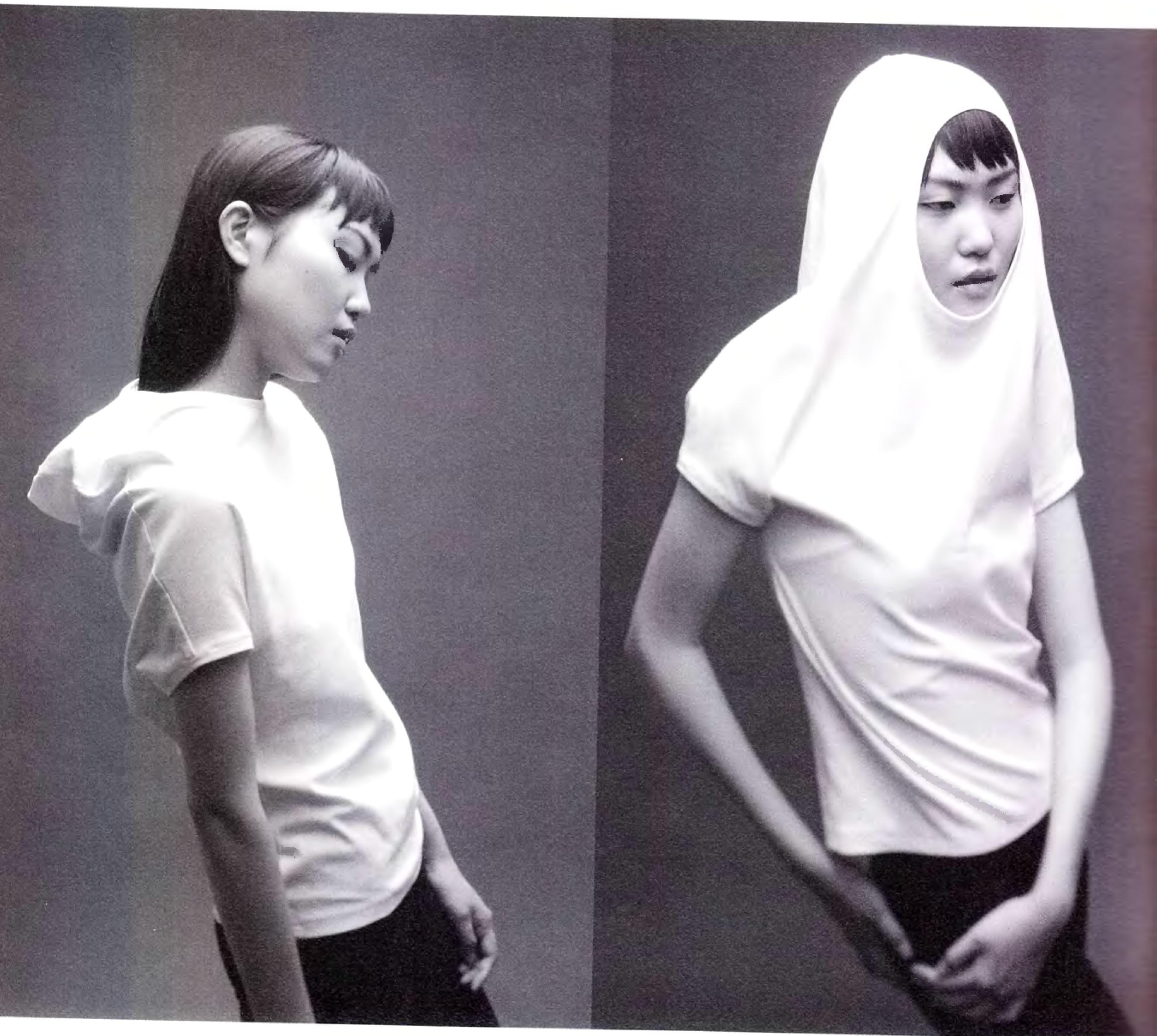
❷ 切開き線を開き、左右のハイネックをかく。脇の楕円のアクセントから下のスカート部分にスカートのボリュームを足す。前後同パターンとする。

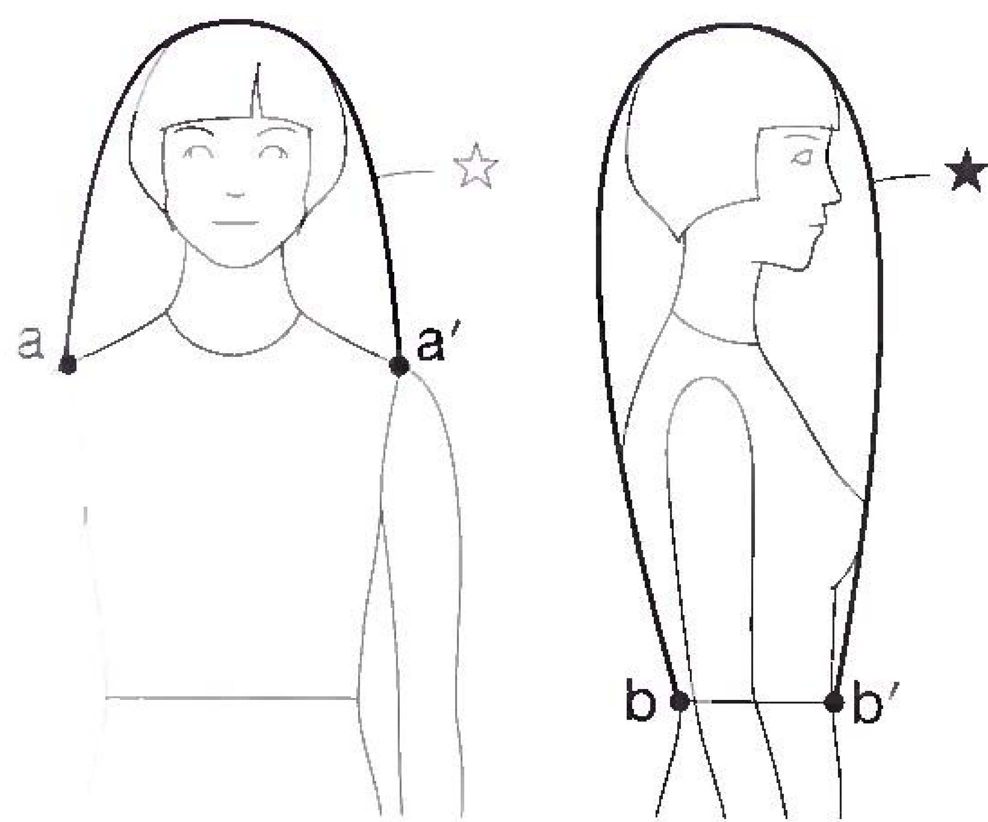
20ページ"フードシャツ"

フード？　シャツ？　どっちが主役なのか。

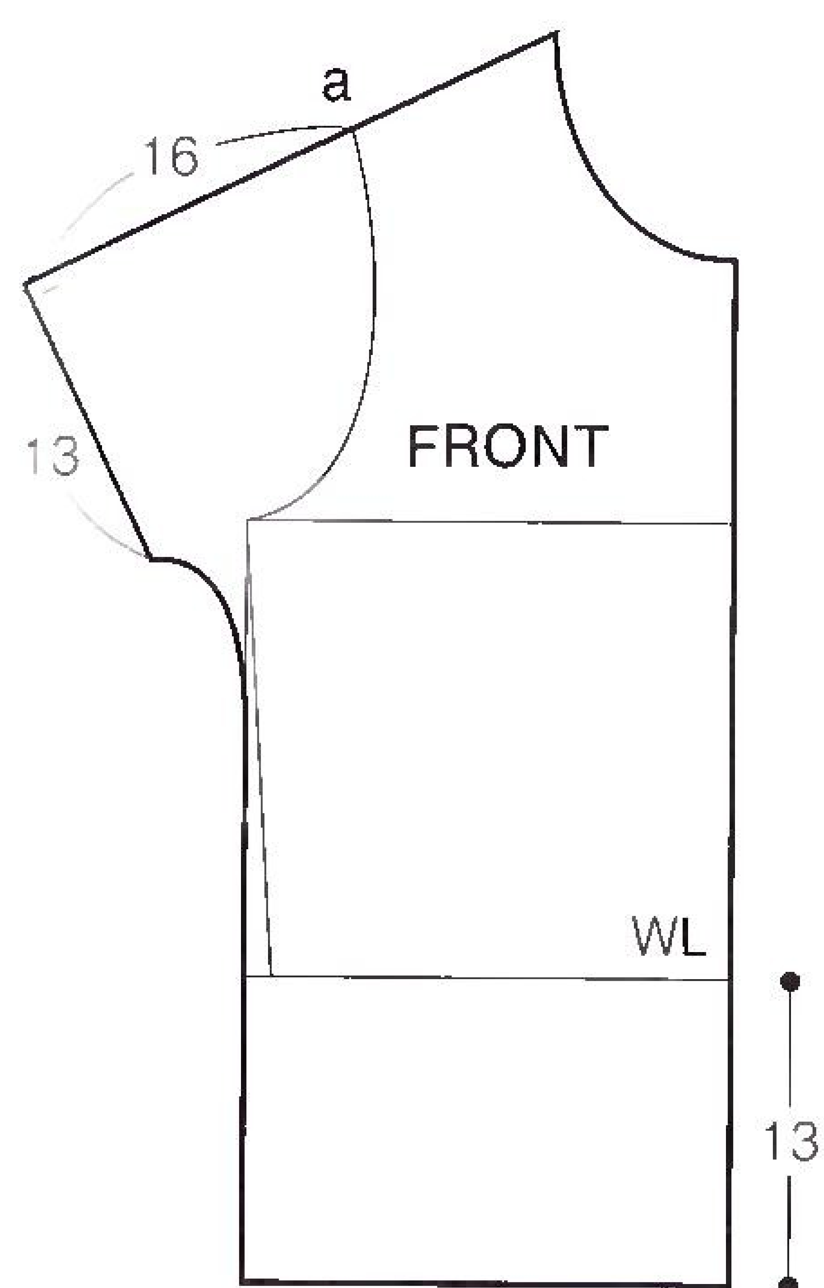
シャツと一体化したフードをかぶるとダルマさんみたいにユーモラス。

フードを脱ぐと後ろに袋のような衿ができる。

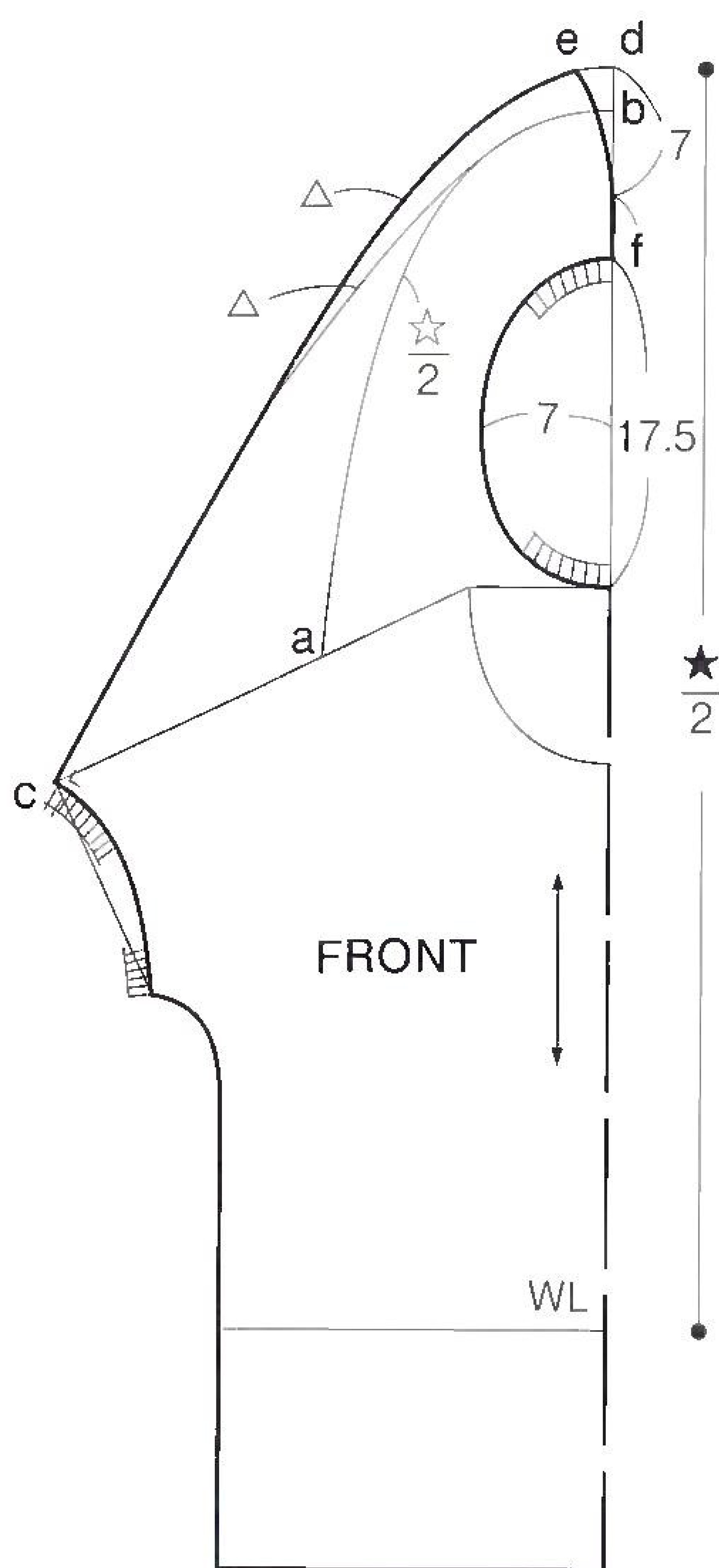




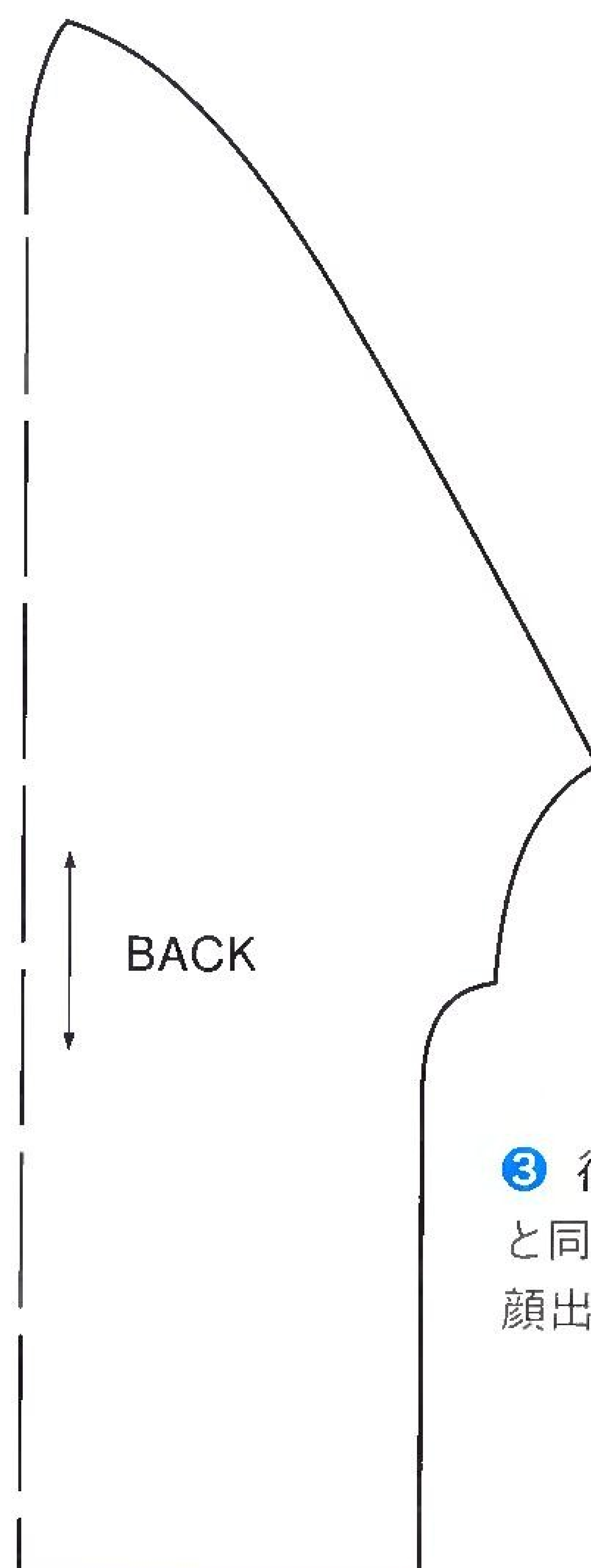
図のように採寸をする。スローパーの肩先aから頭を通って反対の肩先a′までを☆寸法とする。ウエストライン上で後ろ中心bから頭を通って前中心のウエストラインb′までを★寸法とする。



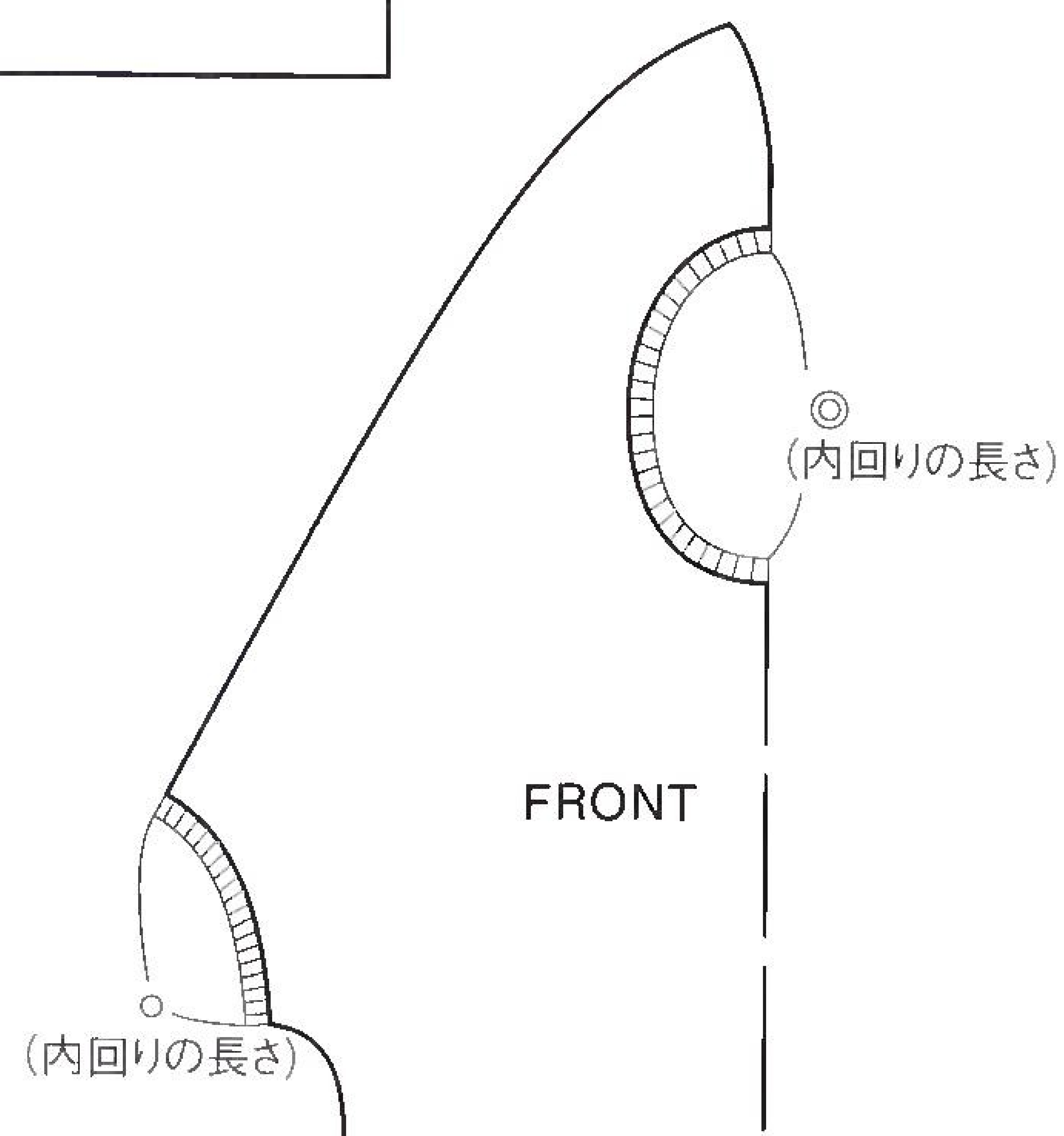
❶ シャツの作図をする。前スローパーのウエストから上をかき、シャツの作図をする。

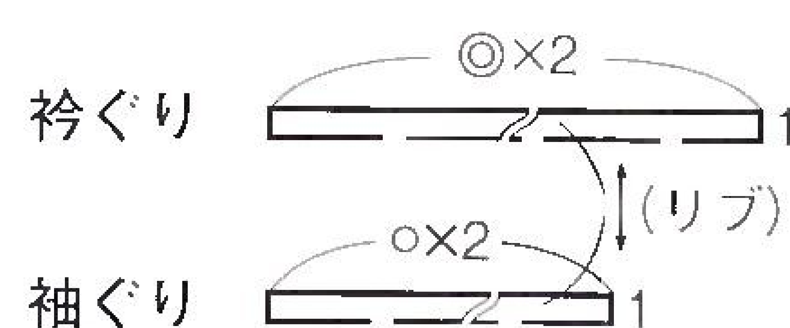


❷ シャツの作図にフード部分を続けて作図する。前中心を延長する。aからカーブで☆/2寸法を前中心線上にとり、bとする。bからcに向かってカーブでかく。b〜cを△寸法とする。前中心線上にウエストから★/2寸法をとりdとする（b〜dは約2.5cmになる）。dからカーブb〜cにつながるようにかく。d〜c線上で、cから△寸法をとってeとする。e〜d〜fはダーツとなる。顔出し口をかく。位置や大きさは好みでよい。



❸ 後ろ身頃は前身頃と同パターンであるが、顔出し口はない。



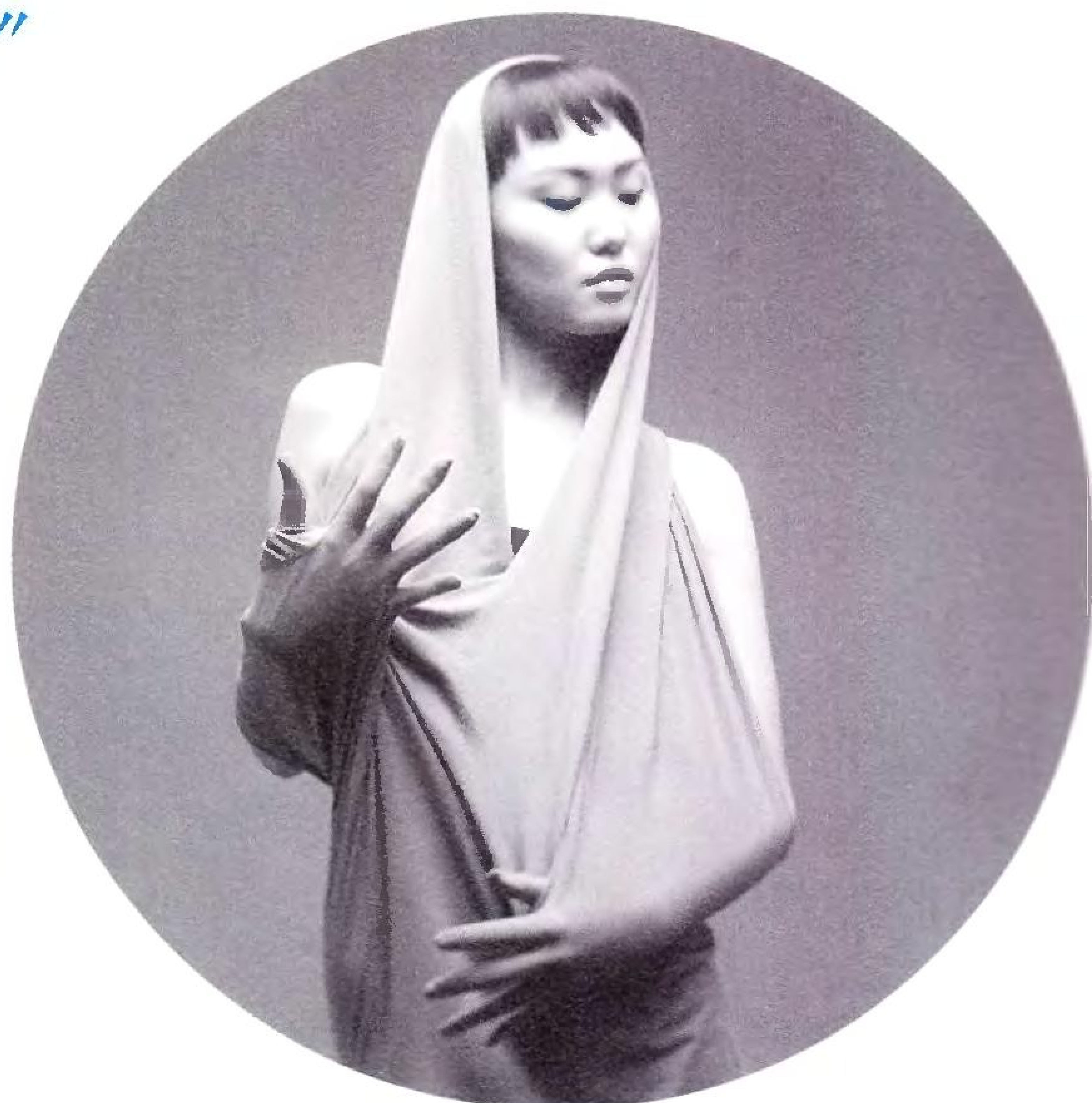


❹ 袖口とフードの穴にリブをつける。リブの長さは内回り寸法にする。

22ページ"パターンミステリー"

平らな布から指が生えてくる。そして指が動きだしたら……。
ミステリアスな出来事は、本や映画の世界だけじゃない、
長方形のシンプルな布からのパターンミステリー。





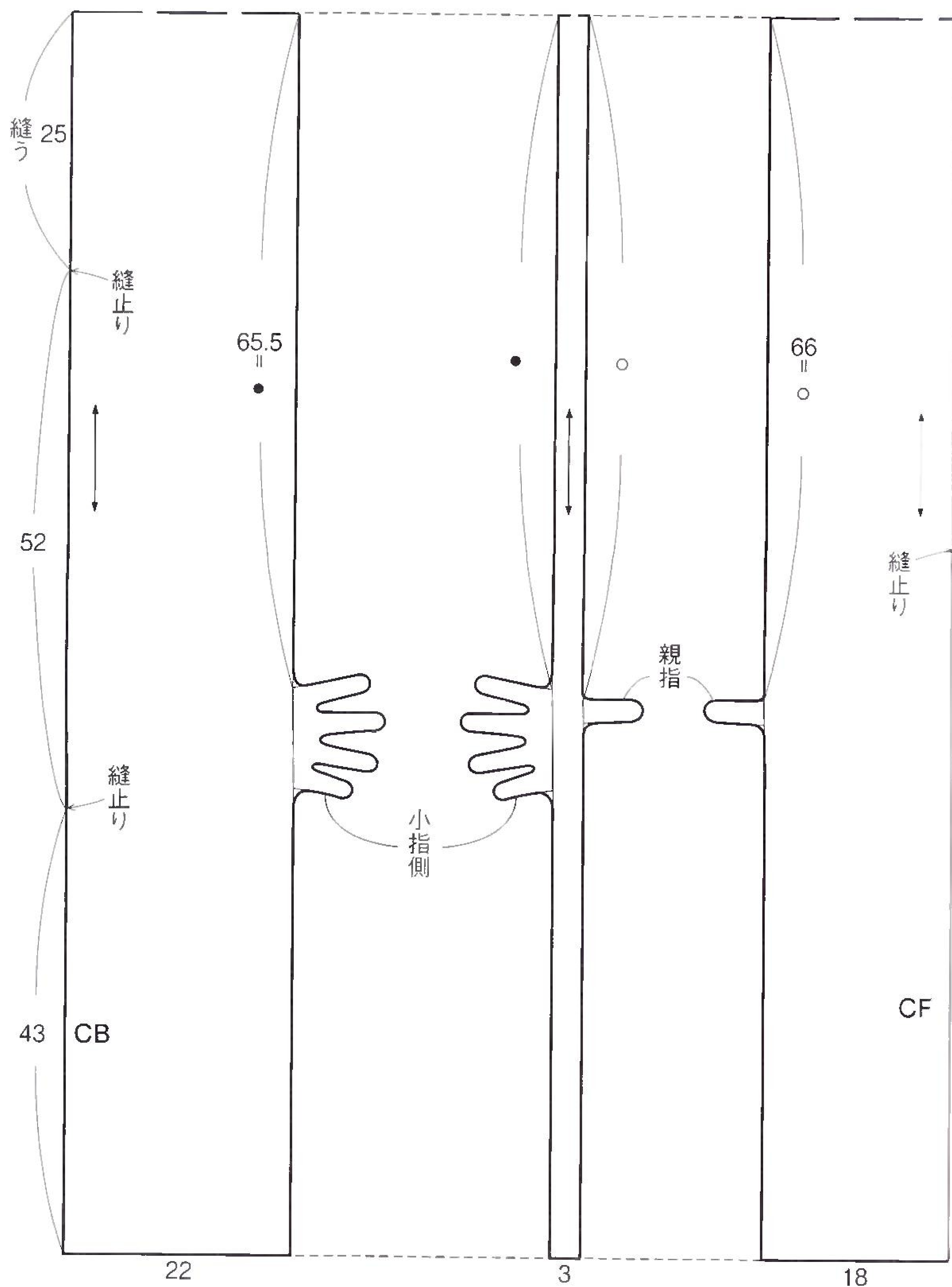


❶ 手の輪郭を写す。



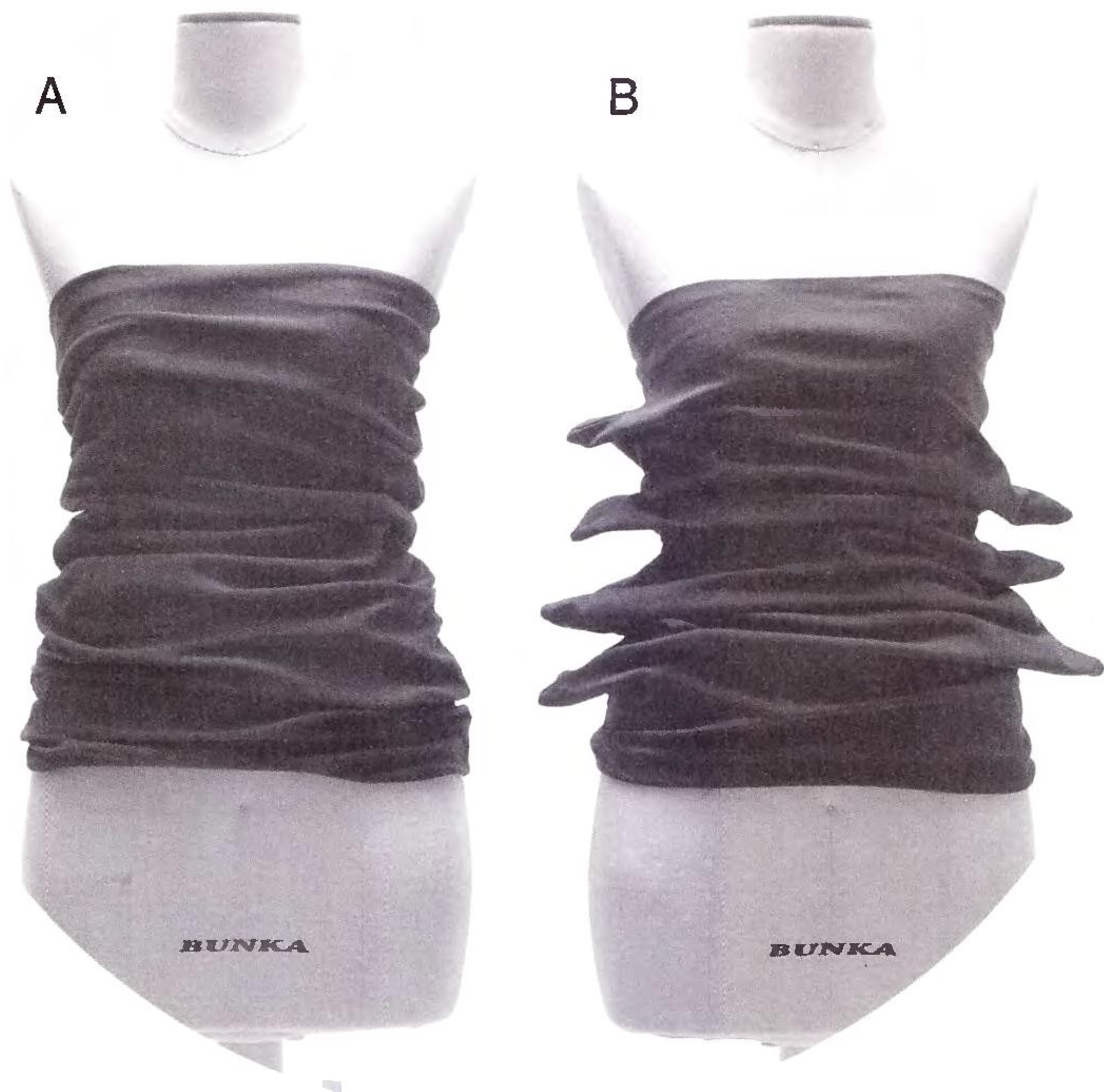
❷ 手がリアルに表現できる位置でカット。
❸ 指の厚み分として0.3cm外側をつながりよくかく。

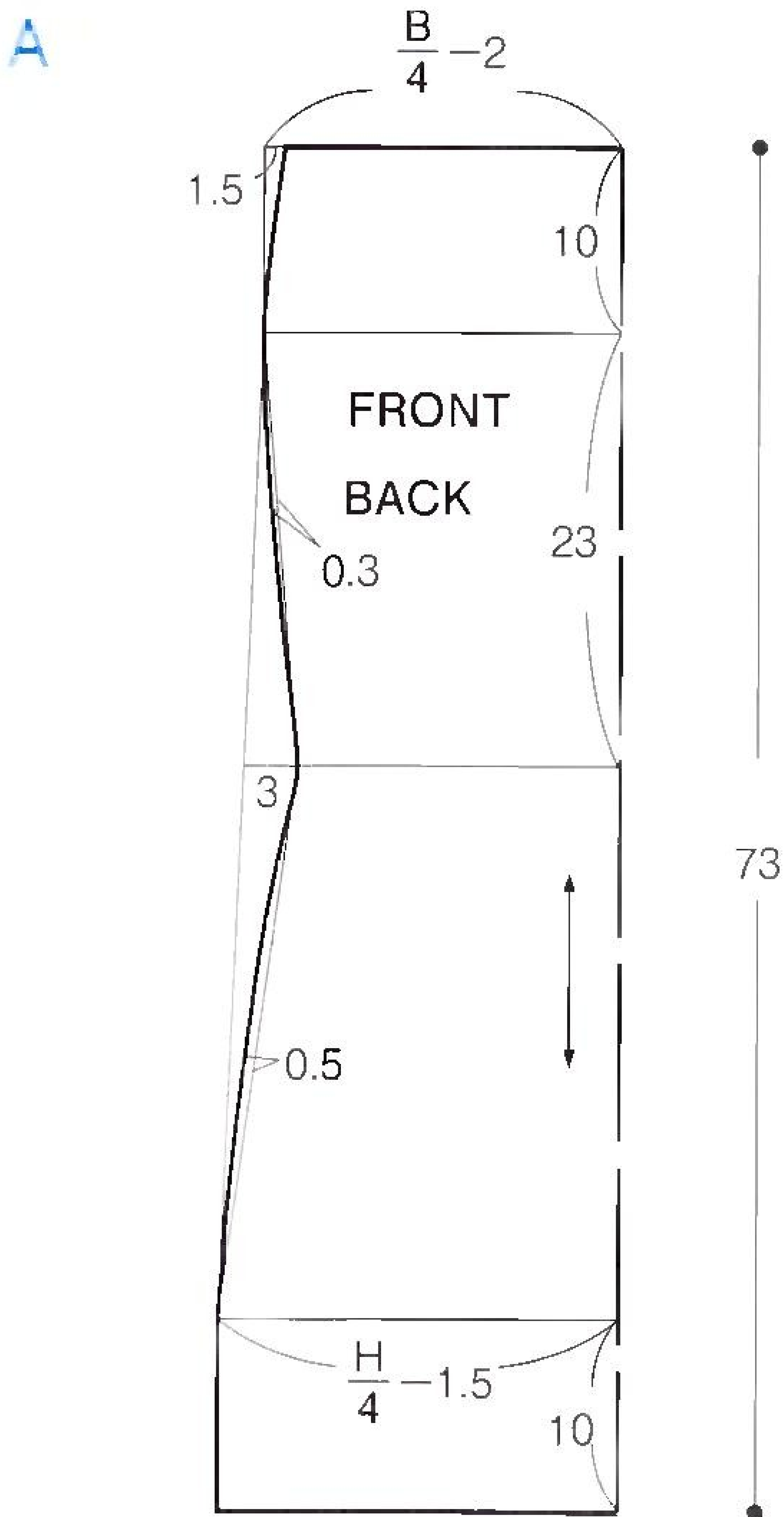
❹ 切替え線を利用して手を出すので、長方形に縦の切替え線を入れ、3枚のパーツに分ける。写し取った手をかき込み、縫止りをかく。



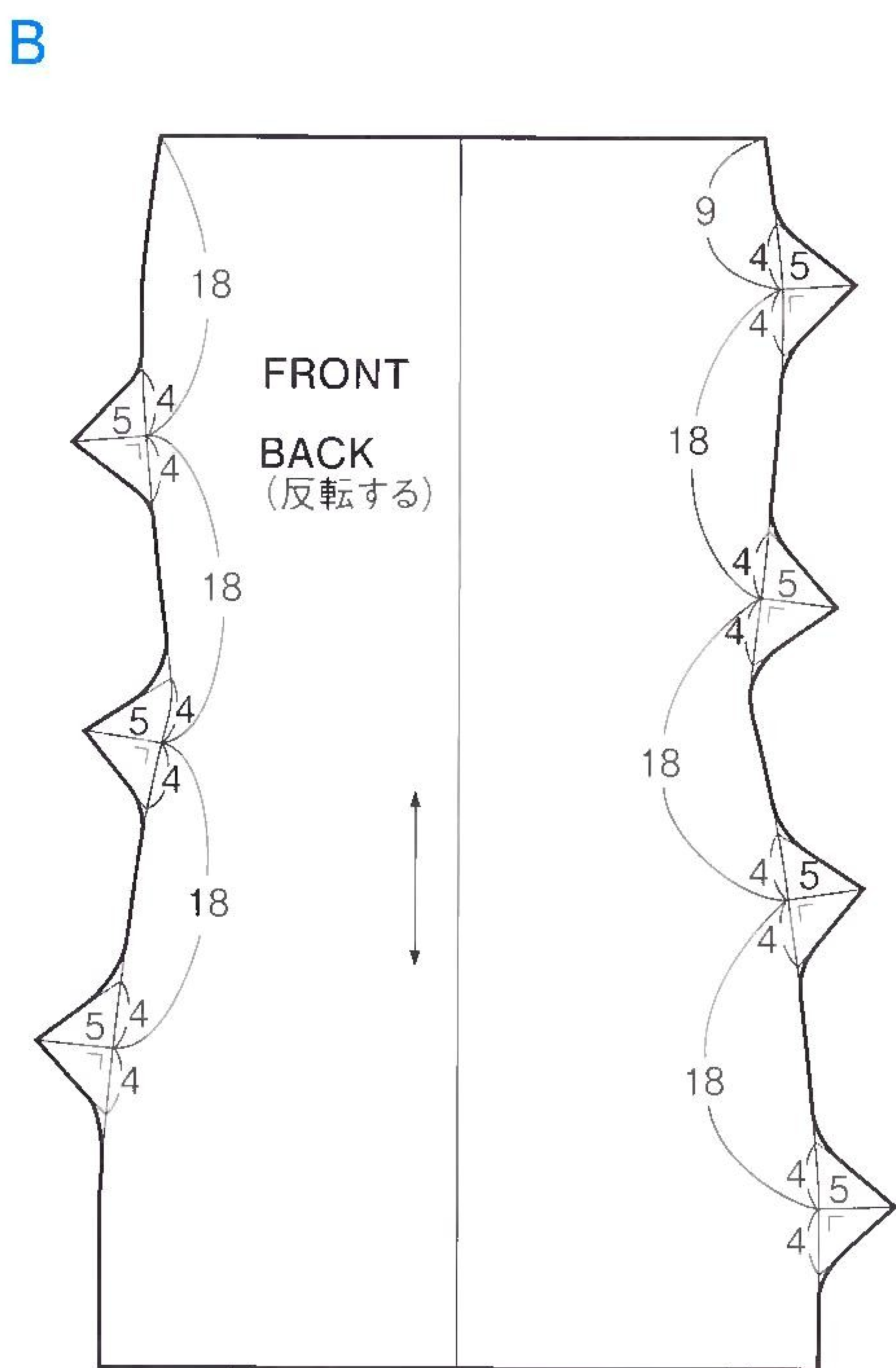
24ページ"つぶした空き缶"

長いチューブトップを縮めて着ると、
つぶした空き缶のようなドレープが。
布帛素材だったら
仕立てのテクニックが必要なところだが、
伸縮素材ならそのままでOK。
さらに脇に三角形をつけてみる。
つぶすとエッジができる。
つぶすほどにエッジはシャープになる。





身頃の作図をする。フィットさせるため、バスト、ヒップはマイナスのゆとりにする。前後同パターンとする。



Aのパターンを左右かき、脇に三角形をかく。後ろは反転する。

PATTERN MAGIC

Part 2
自由な素材の表現力

作品を作るときは、いつもわくわくする。

本で読んだこと、旅先で心動かされたもの、

人からかけてもらった言葉、子どものころの思い出……

いろいろなものからイメージされたアイディアが、

布を使って形になって、いくつもの服へと

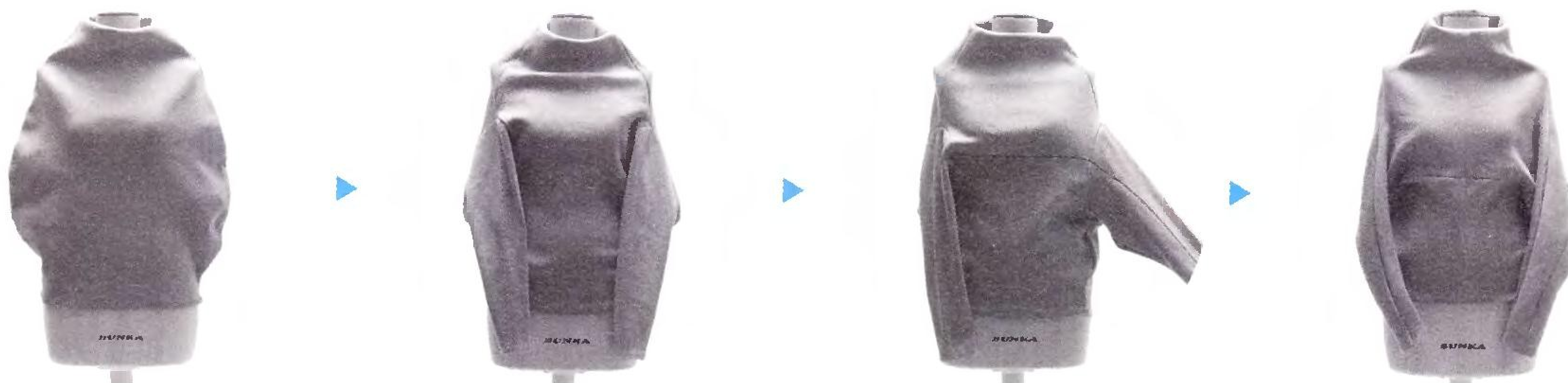
つながっていくときはうれしい。

伸縮素材の服は、作り手の気持ちにそっていく

やわらかな表現力があると思う。

自由な表現の立体を平面のパターンに置き換えるのは、

パズルを解いたときのような達成感がある。



ルーツ　解説66ページ





トゲトゲ A 解説70ページ



トゲトゲ B 解説71ページ



トゲトゲC

解説72ページ



トゲトゲ D 解説74ページ



りんごの皮 A

解説75ページ





りんごの皮 B 解説76ページ







飛び出た角

解説78ページ



円のドレープ

解説80ページ



ストッパー

解説82ページ





抜け穴

解説84ページ





直線と曲線 A

解説89ページ



直線と曲線 B

解説90ページ



カンガルー

解説92ページ





えい　解説96ページ



PATTERN MAGIC

“自由な素材の表現力”の
パターンを作る



45ページ"ルーツ"

複雑な形でも、少しずつひもといていくと、一つの単純な形に出会うことがある。

逆に単純な形からさまざまな形へと変化していくこともある。

服作りの過程も同じことが言える。

考え、工夫して少しずつおもしろいもの、より複雑で高度なものになっていく。

まず、バレルのような形から始めることにする。

ルーツ原型



ルーツA



ルーツA

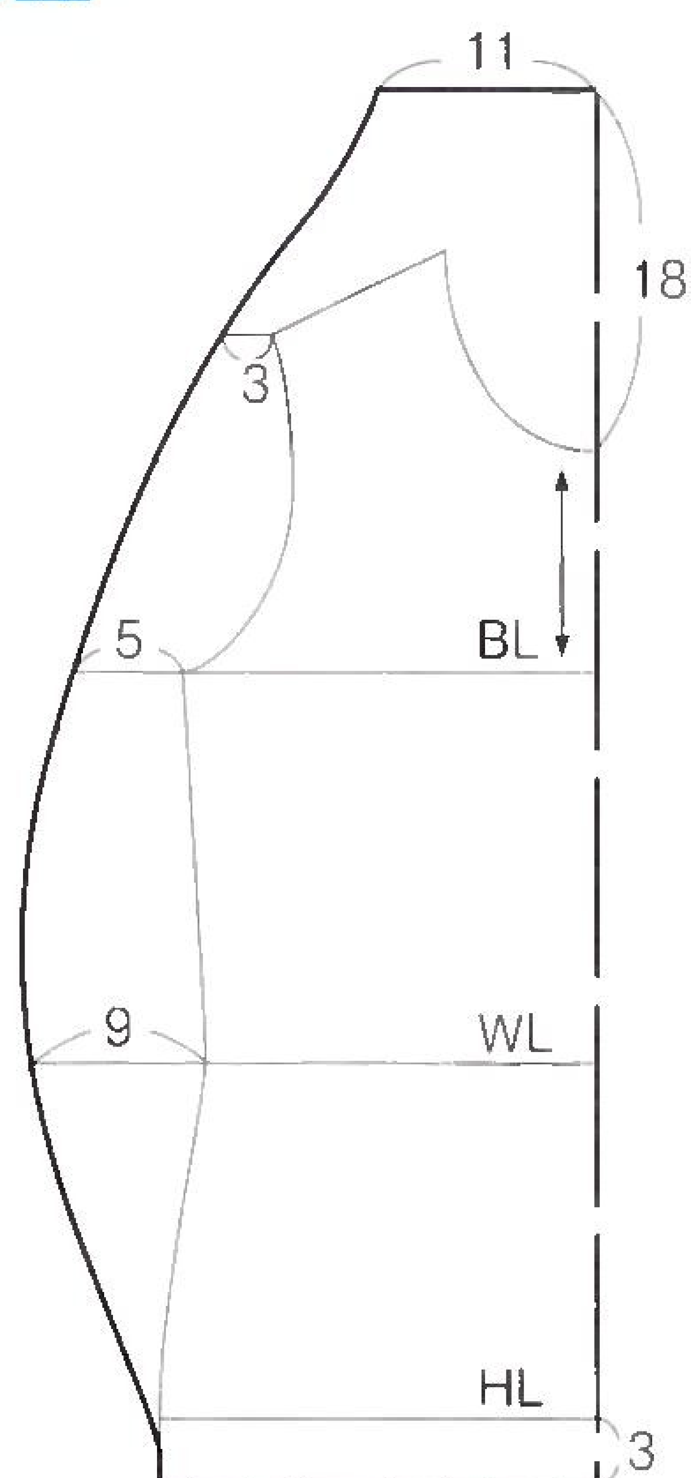


ルーツAの身頃と袖に切替え線を入れる。

ルーツB



ルーツ原型



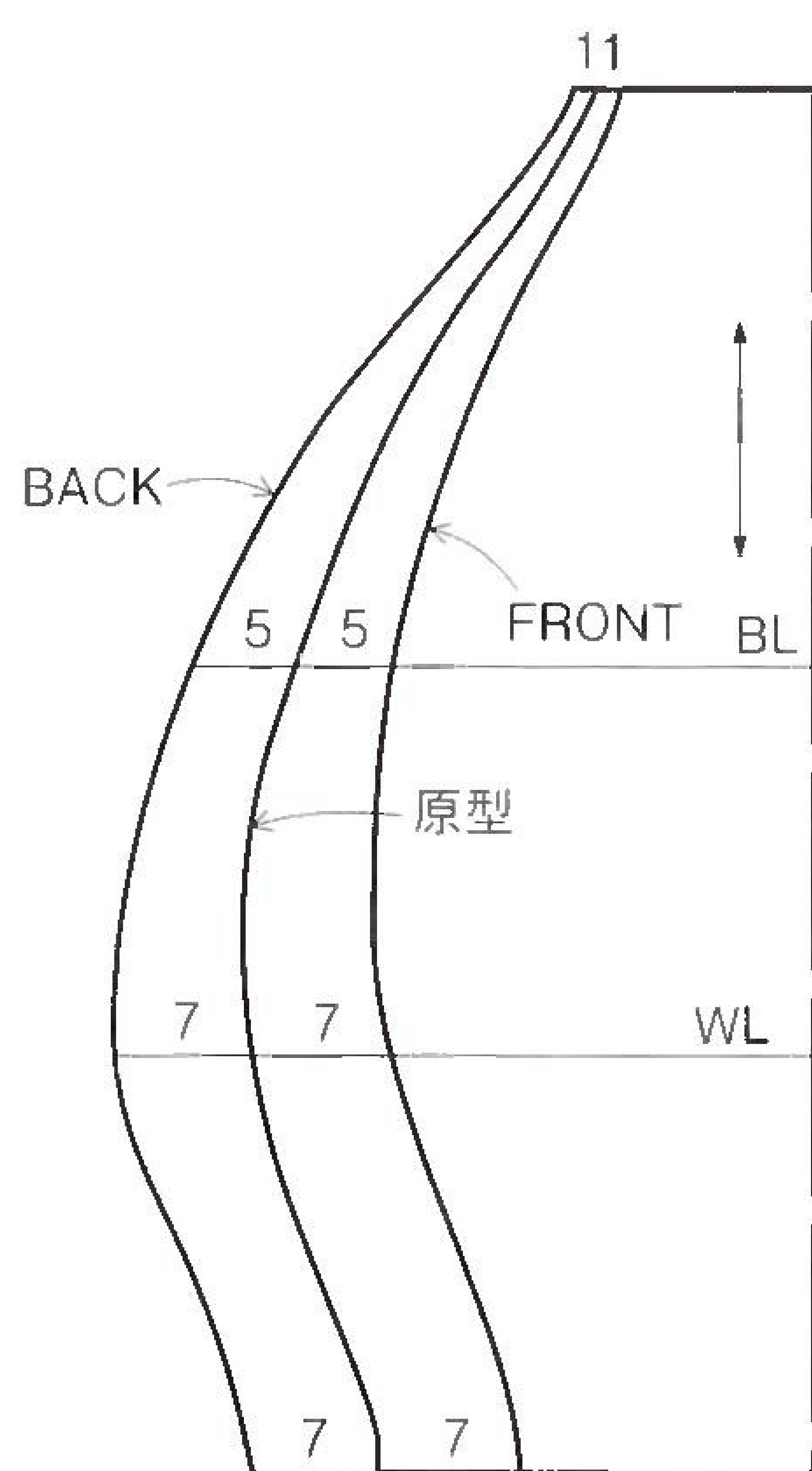




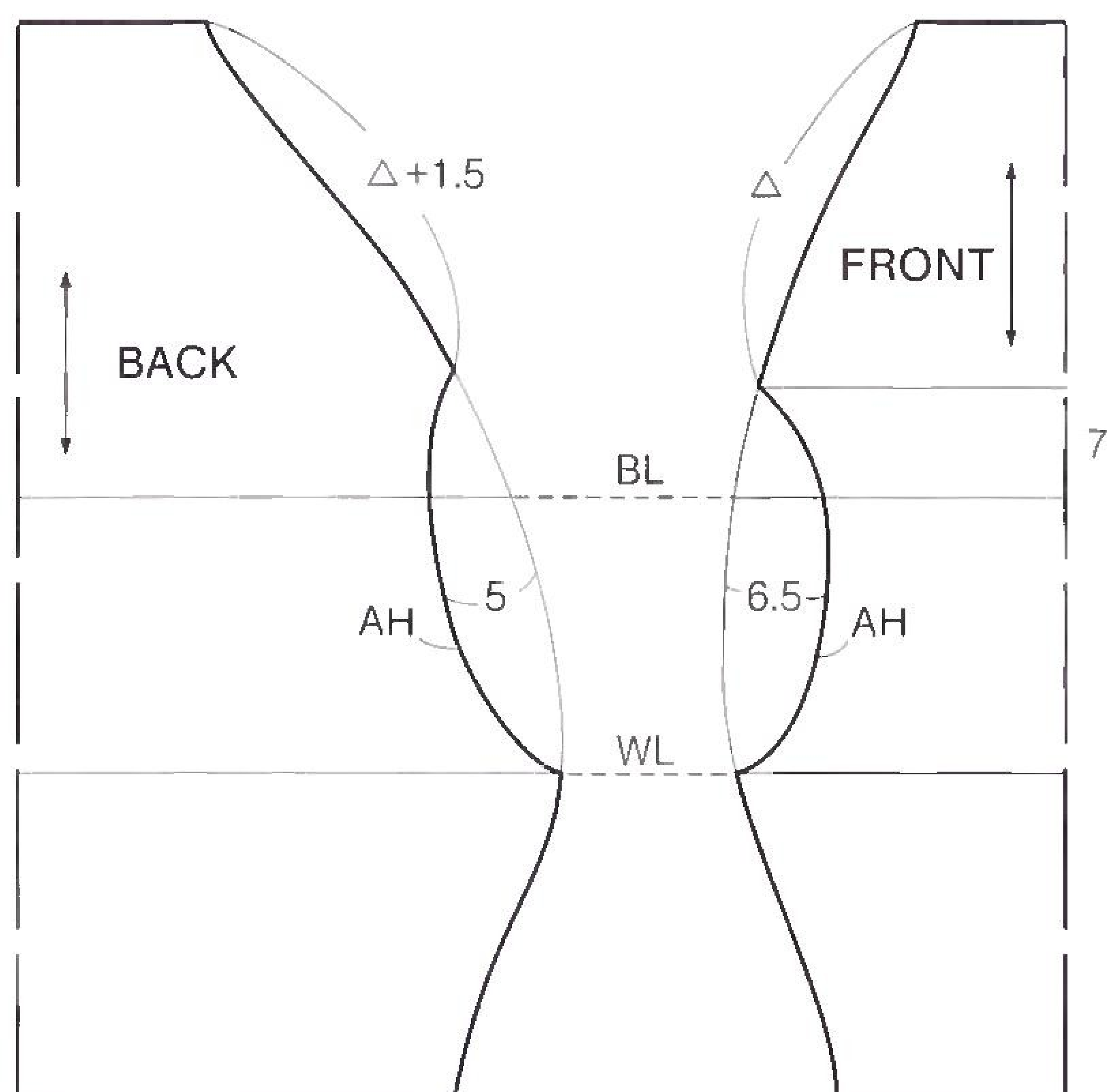
前スローパーのヒップから上をかく。バレル形の、前後2枚で構成する。

ルーツA

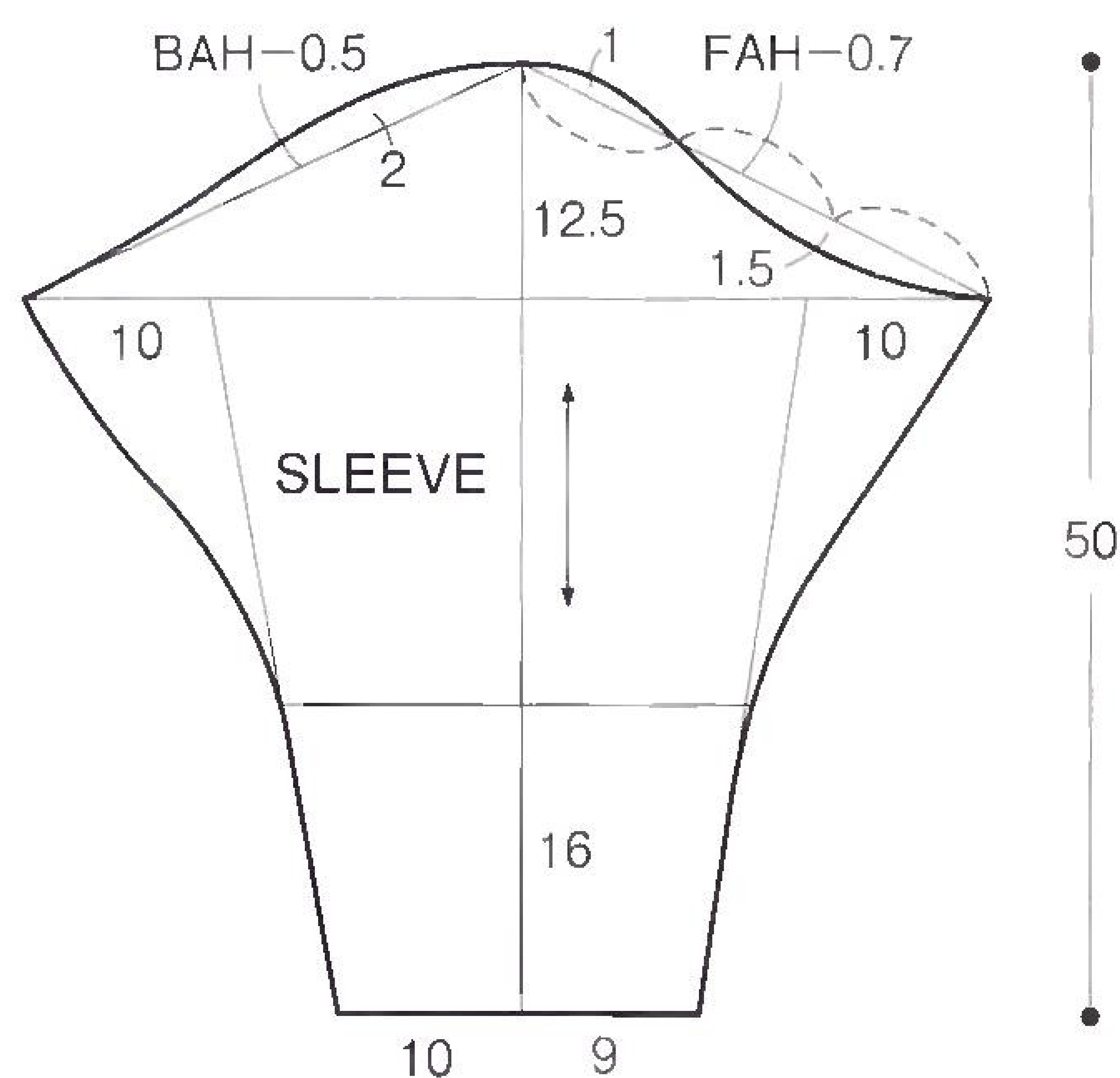
脇の切替え線を水平に移動し、シャツスリーブをつける。
袖がぐっと前につき、後ろにたっぷりとゆとりのあるシルエット。



ルーツ原型をかく。脇の切替え線を前身頃は内側に、後ろ身頃は外側に移動する。



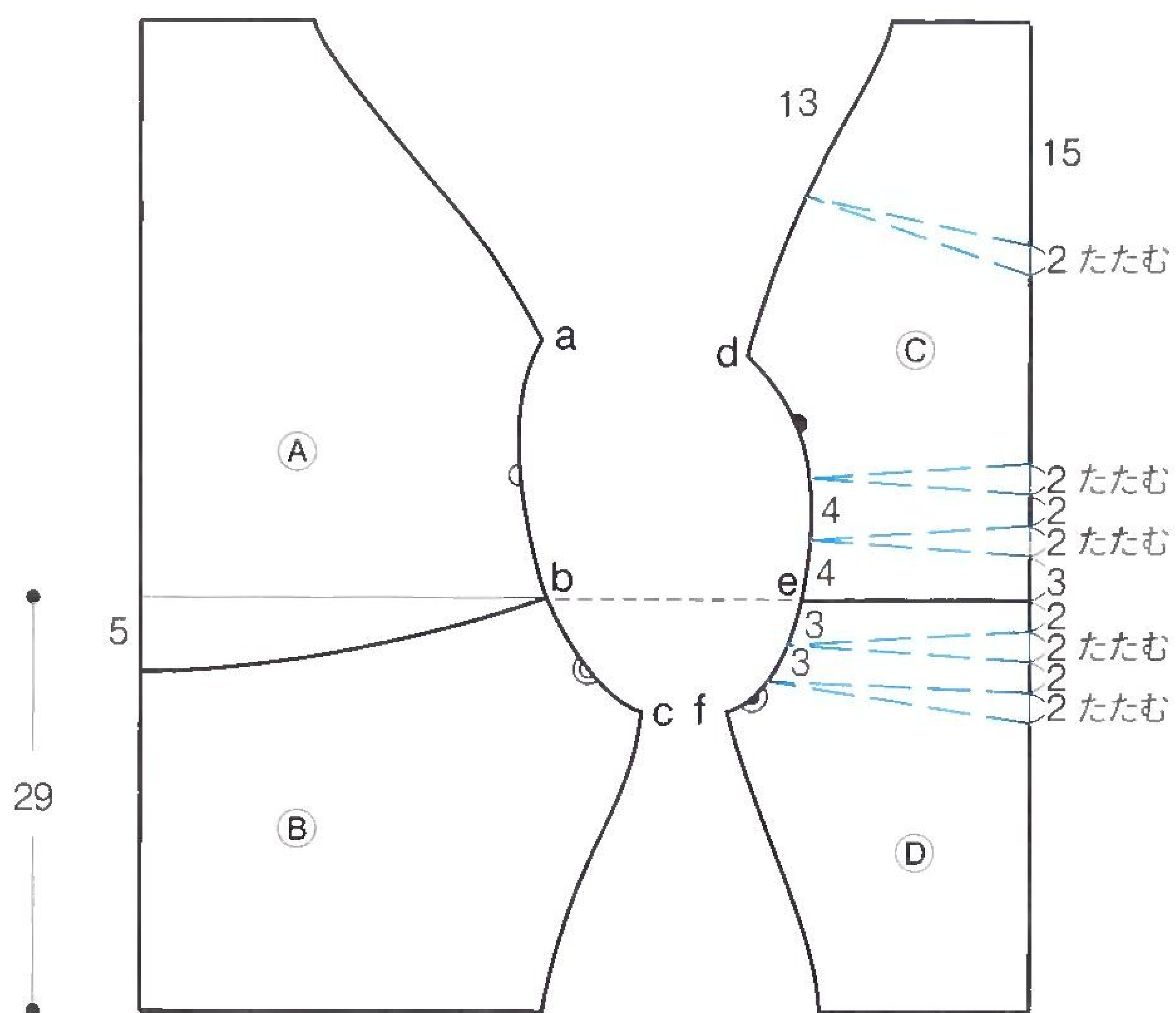
❷ 後ろ身頃は、反転してかく。ウエストラインから上にアームホールをかく。



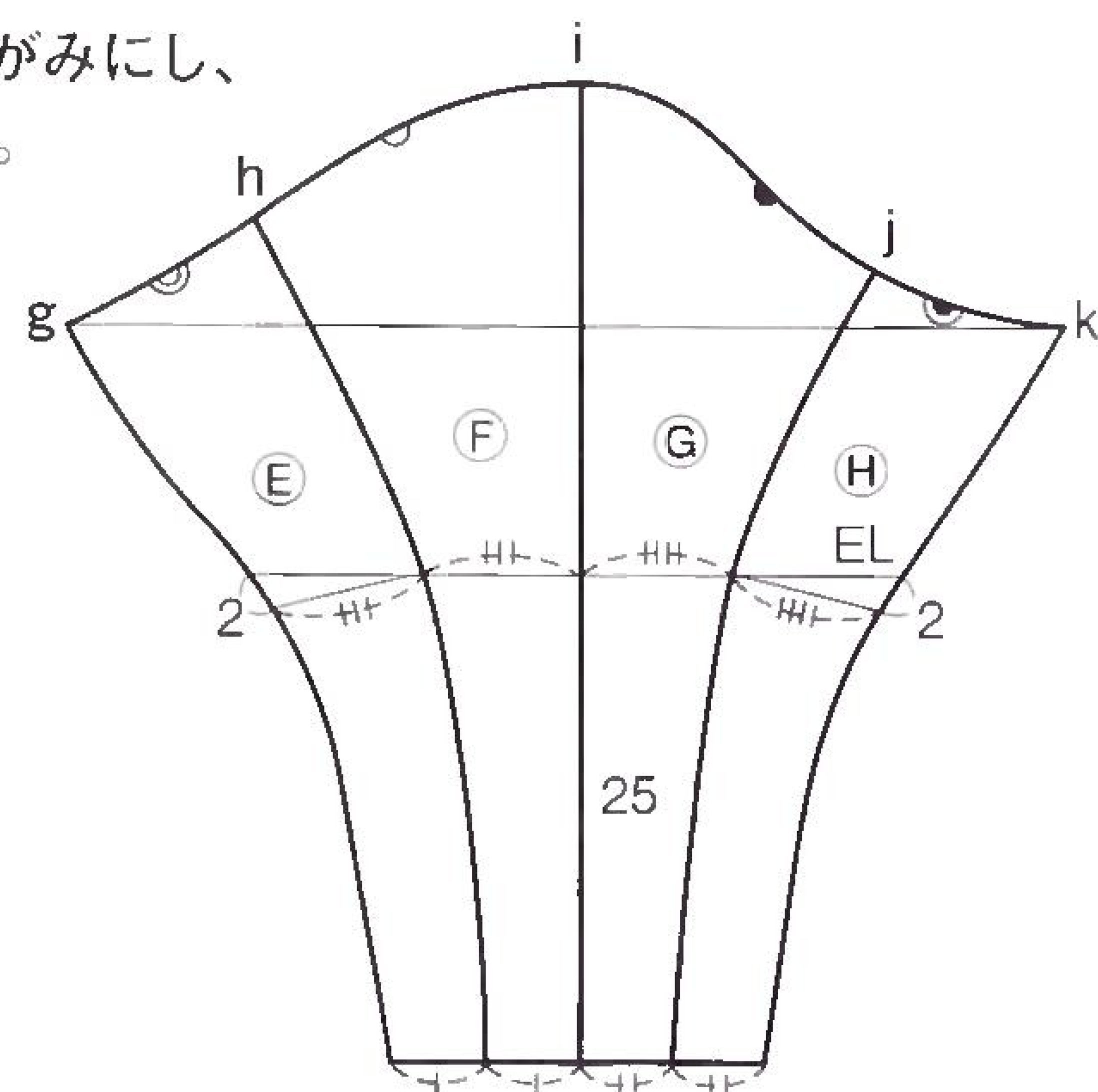
❸ シャツスリーブの作図をする。袖山はアームホールと同寸法になる。

ルーツ B

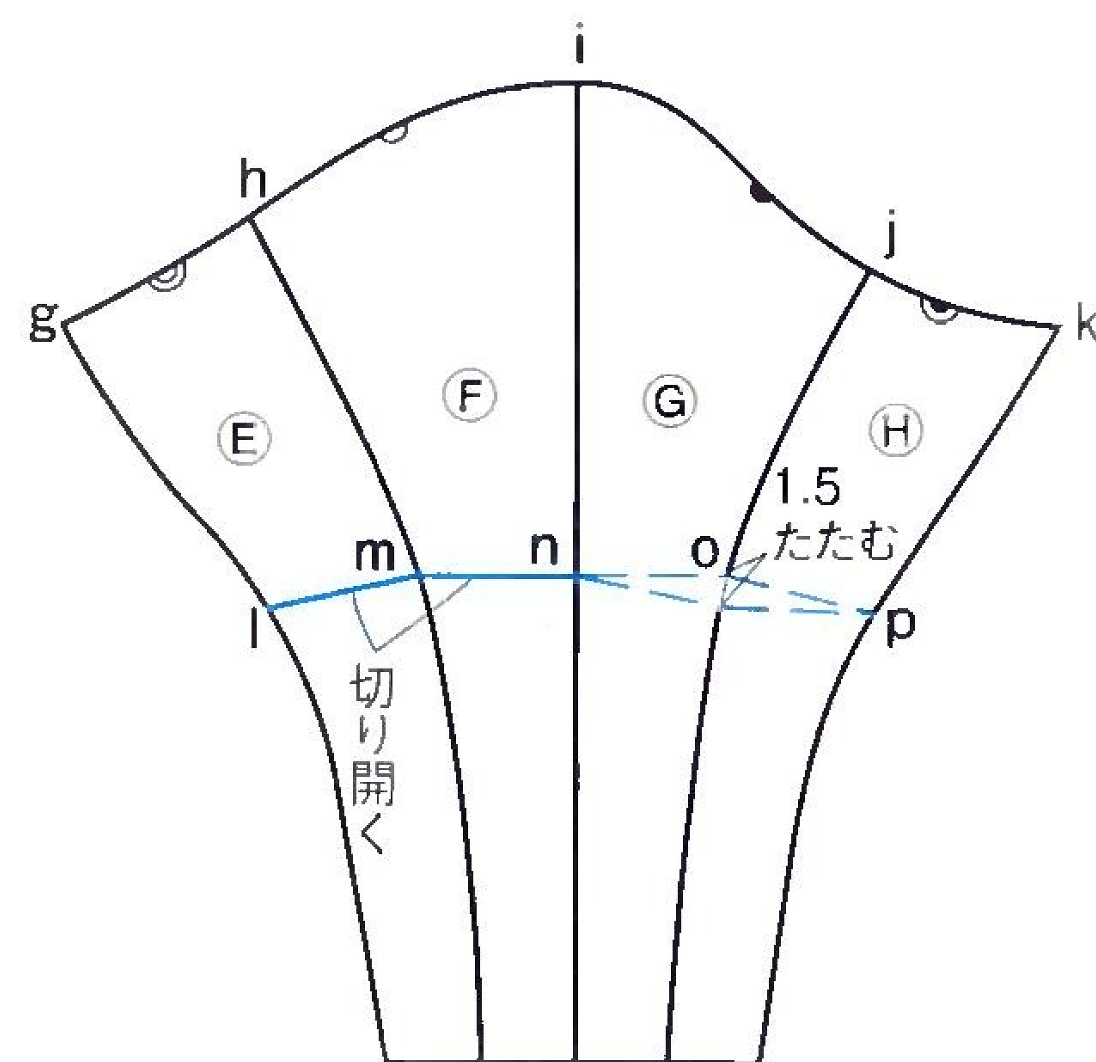
ルーツAの身頃から袖にかけて切替え線を入れる。前身頃をたたんで前かがみにし、袖は肘ぐせを入れ、より亀のようなシルエットにする。身頃と袖をつなげる。



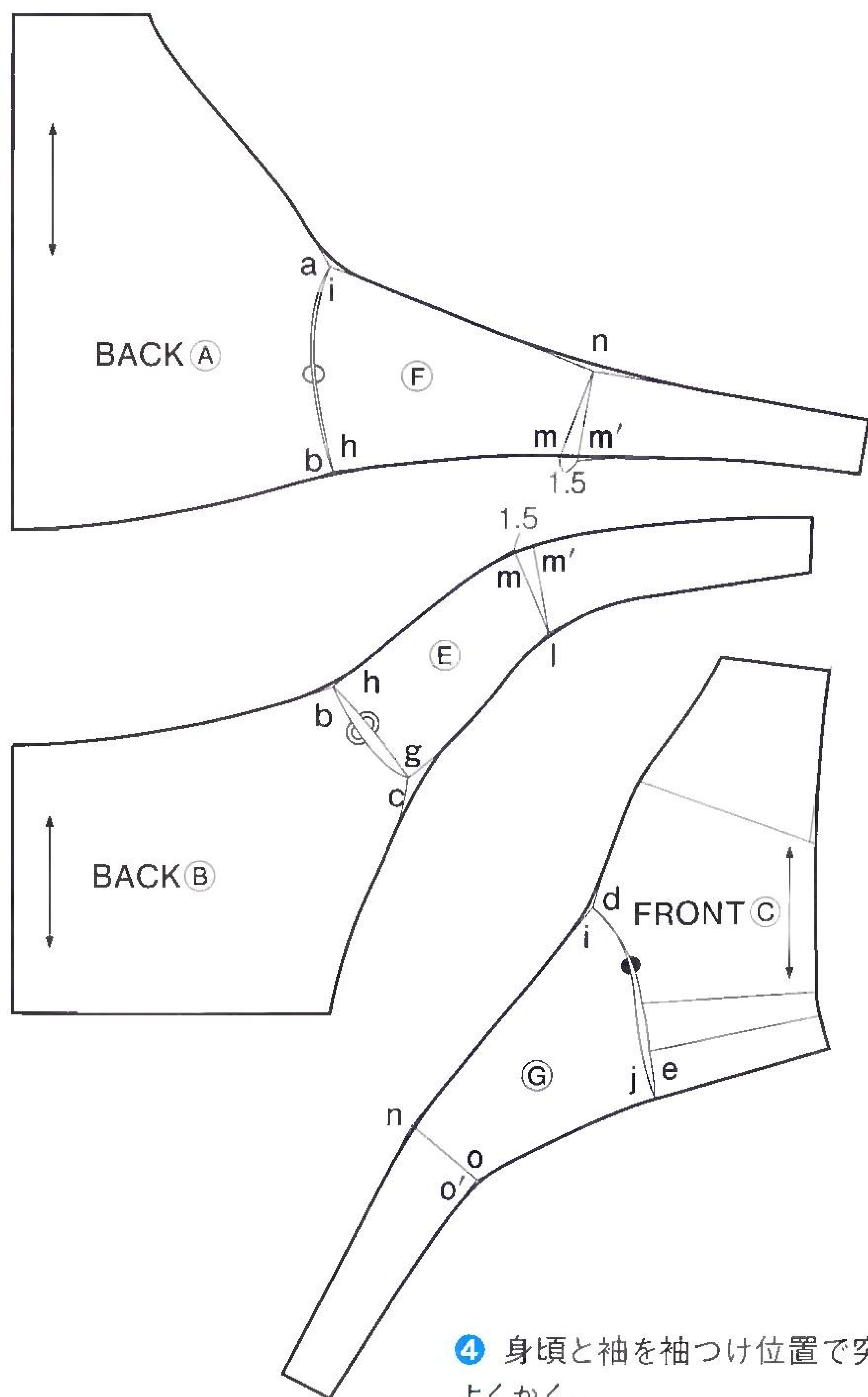
❶ ルーツAをかく。横の切替え線を入れ、前後身頃をⒶⒷⒸⒹに分ける。前かがみのシルエットを作るため、前中心をたたむ。

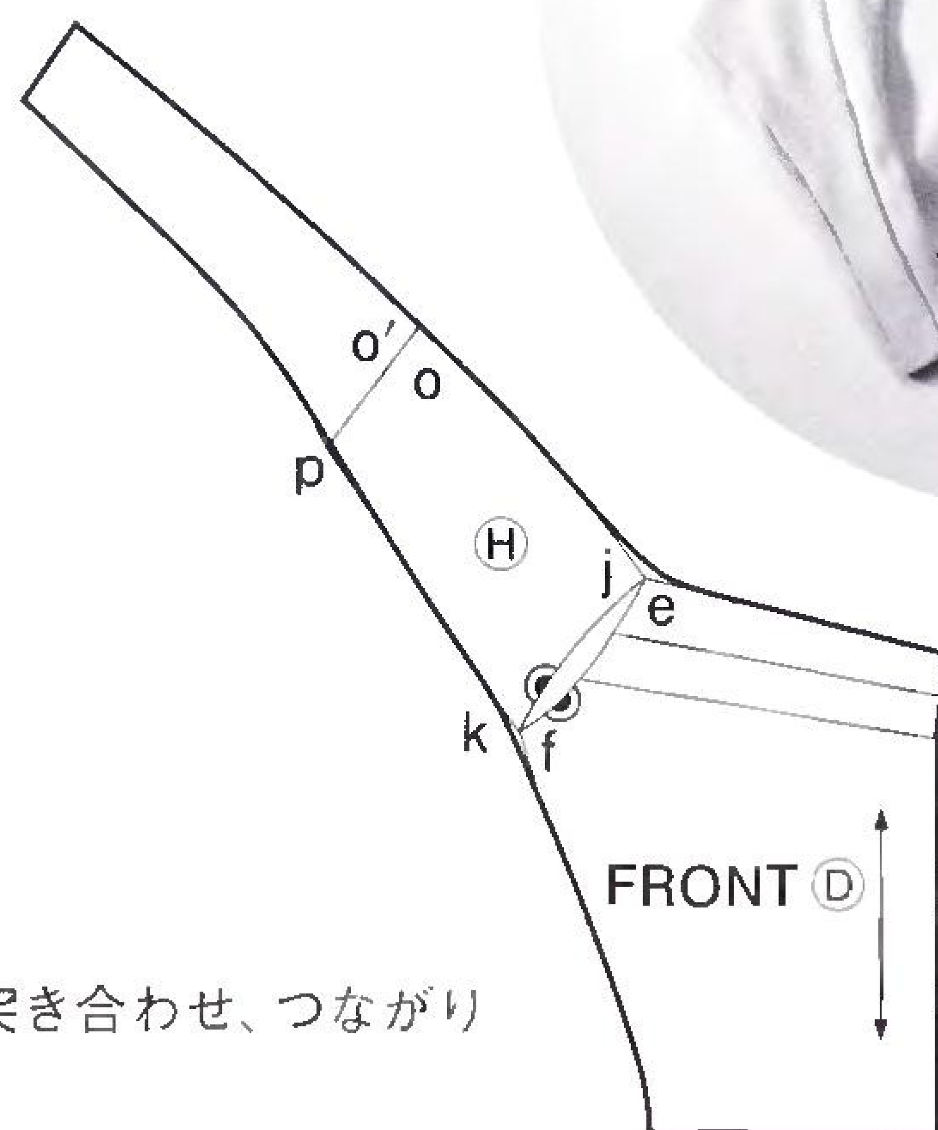


❷ 袖山に切替え線によって分けた袖ぐり寸法を写す。袖に縦の切替え線をかき、ⒺⒻⒼⒽに分ける。




❸ エルボーライン上で肘ぐせをとる。







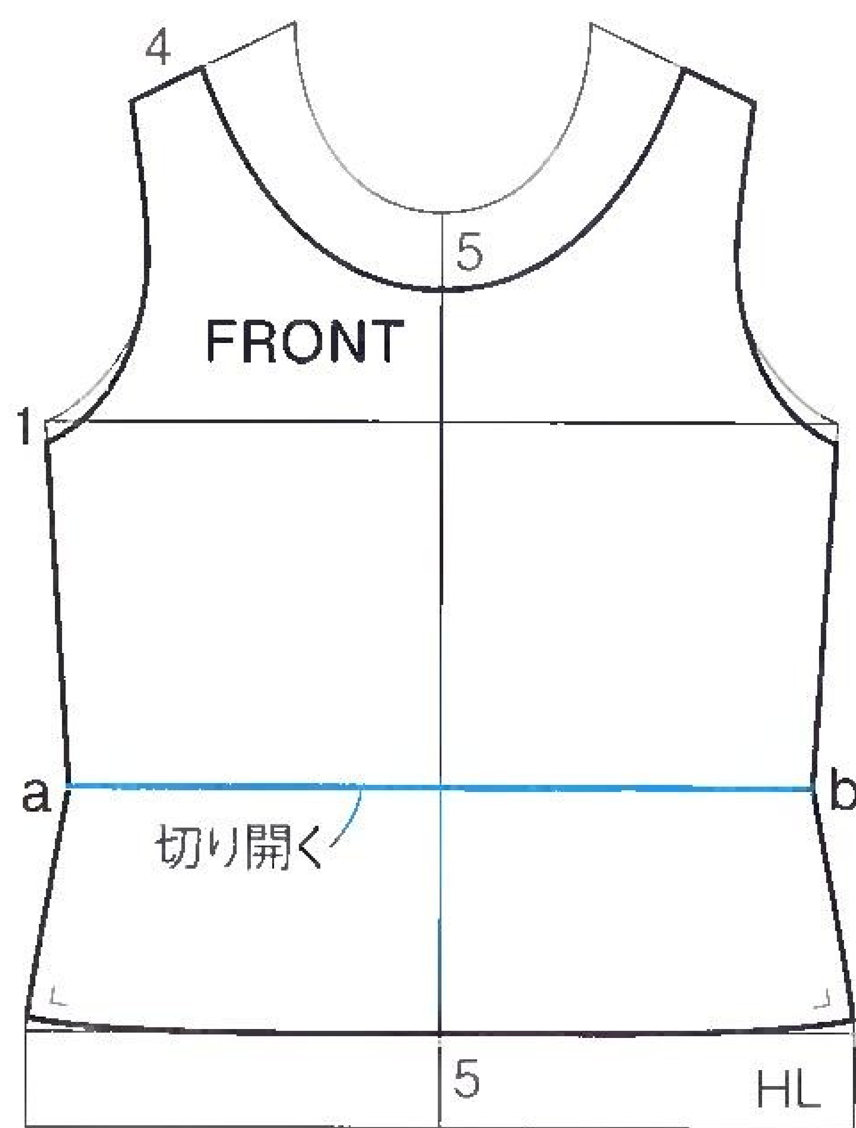
❹ 身頃と袖を袖つけ位置で突き合わせ、つながりよくかく。



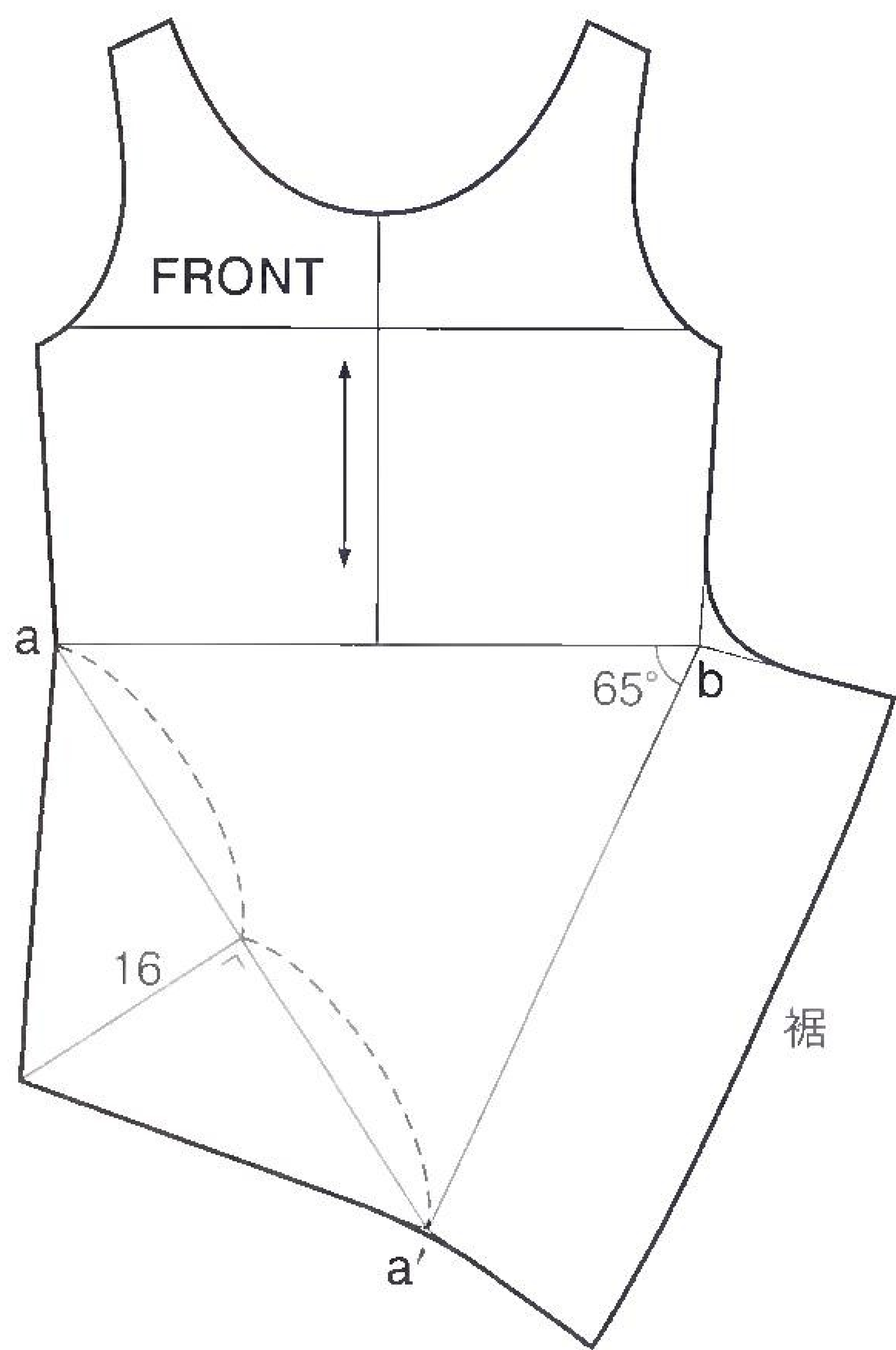
46ページ"トゲトゲA"

パターンを切り開いて、
そこから三角形のトゲを一つ出してみた。
伸縮素材でボディをフィットさせるから
トゲがきりっと突き出るように見える。

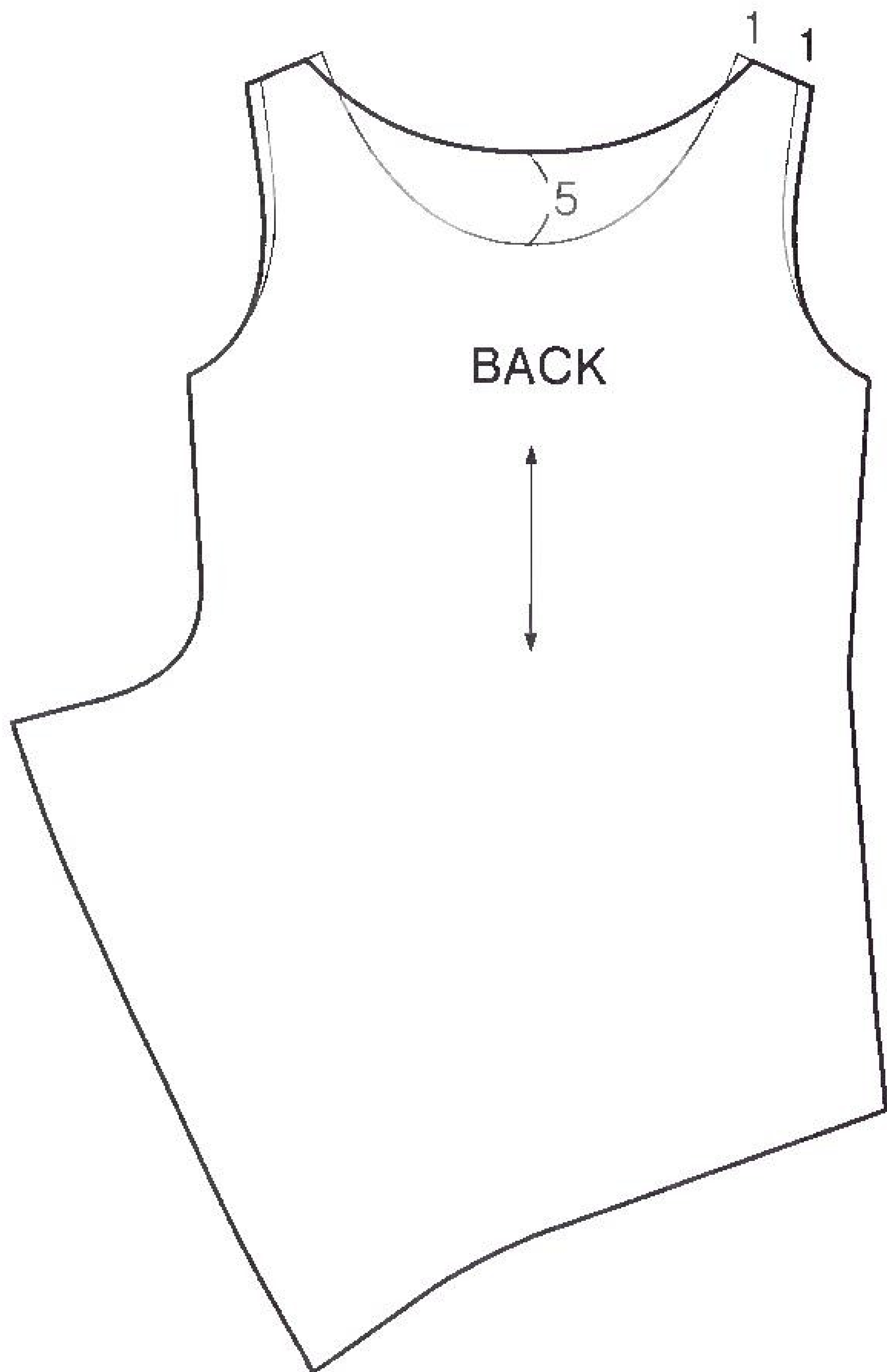




❶ 前スローパーのヒップラインから上をかき、身頃の作図をする。切開きの位置をかく。



❷ bを基点として65度切り開く。a～a′を底辺とした二等辺三角形をかく。着用するとこれがトゲになる。



❸ 後ろ身頃は、❷でできた前パターンを反転する。

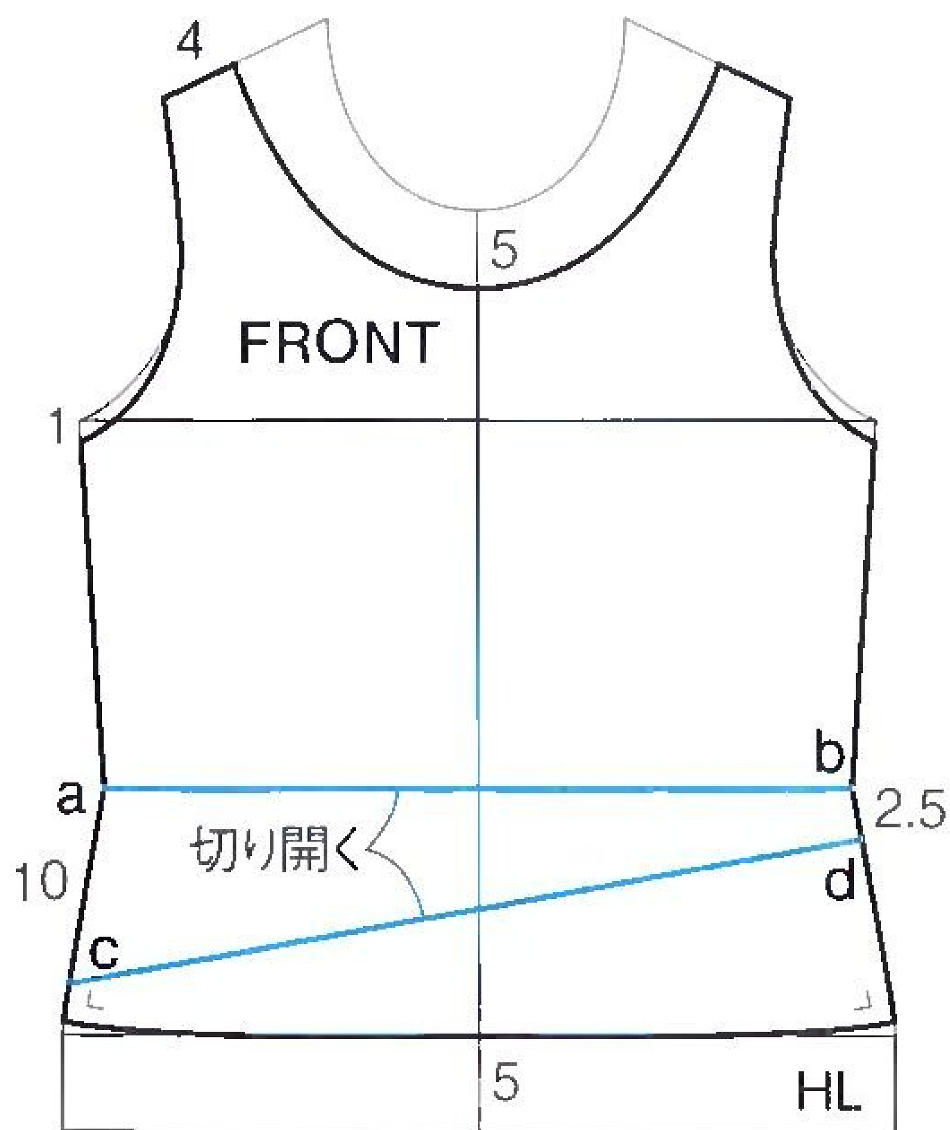
47ページ"トゲトゲB"

右に2本、左に1本トゲを出す。

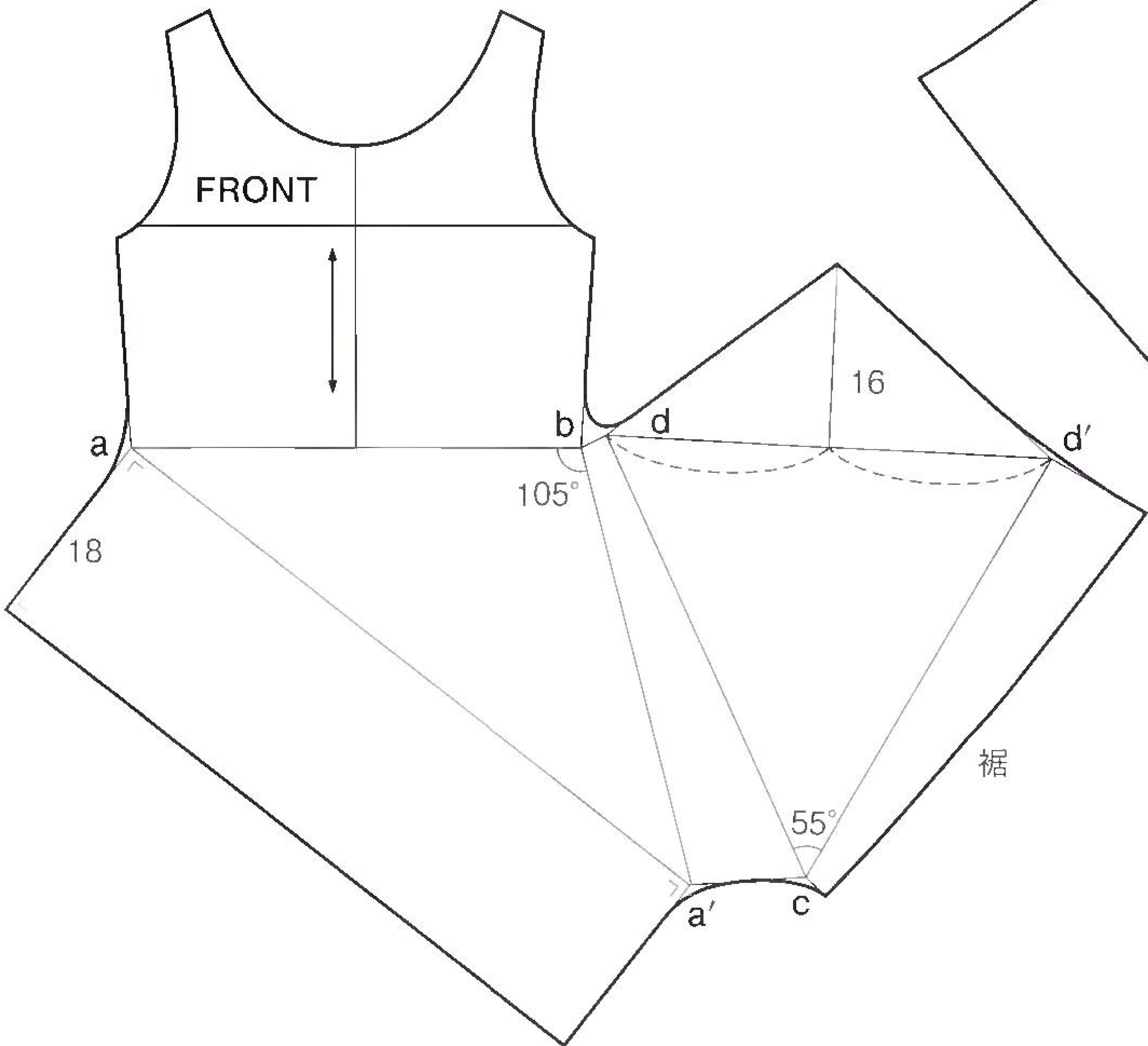
長方形にすれば一度に2本のトゲを出すことができる。

長方形と三角形、合わせて3本のトゲになった。

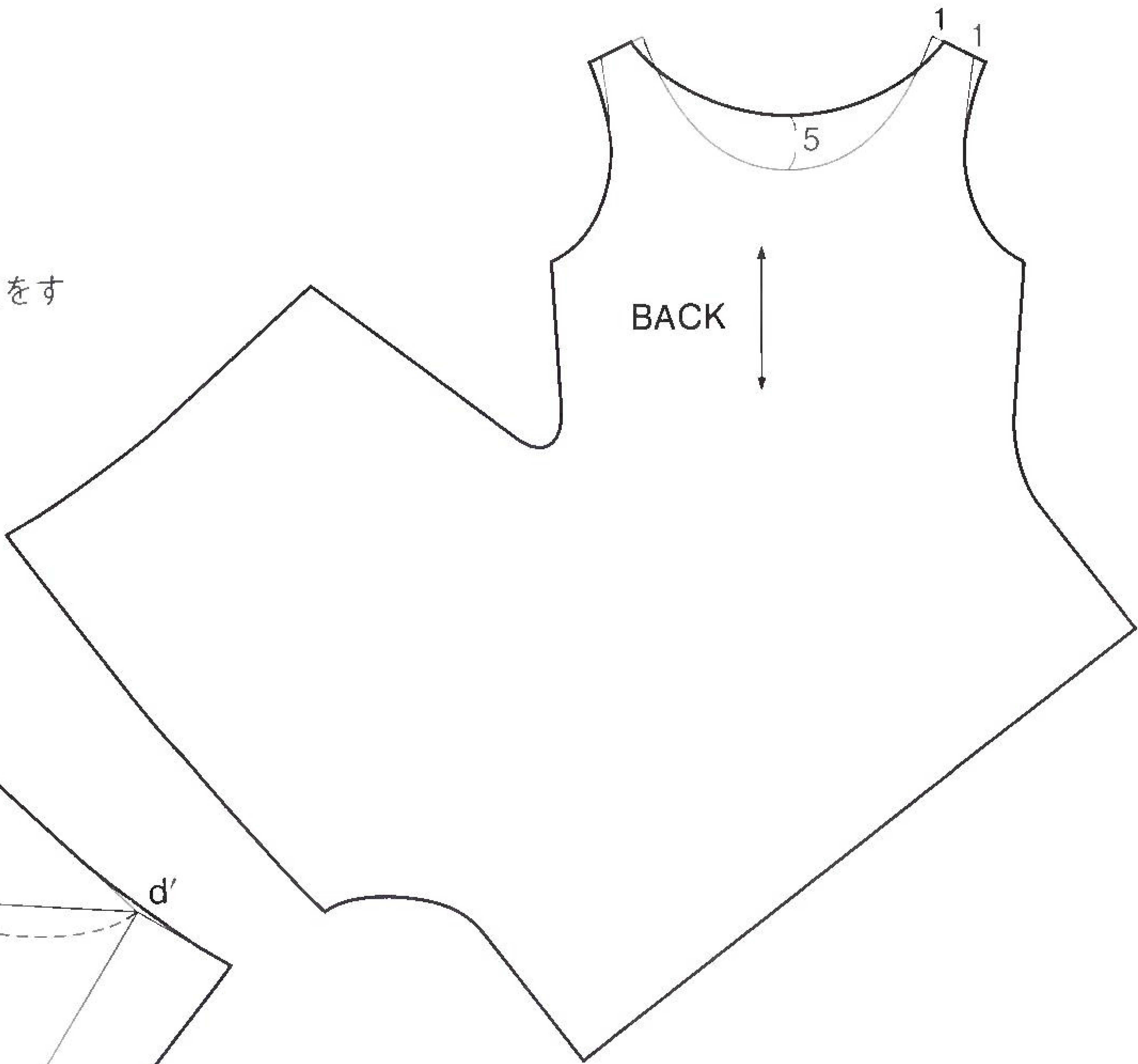




❶ 前スローパーのヒップラインから上をかき、身頃の作図をする。切開きの位置をかく。



❷ bを基点として105度切り開く。a～a′を一辺とする長方形をかく。cを基点として55度切り開く。d～d′を底辺とする二等辺三角形をかく。着用するとこれがトゲになる。



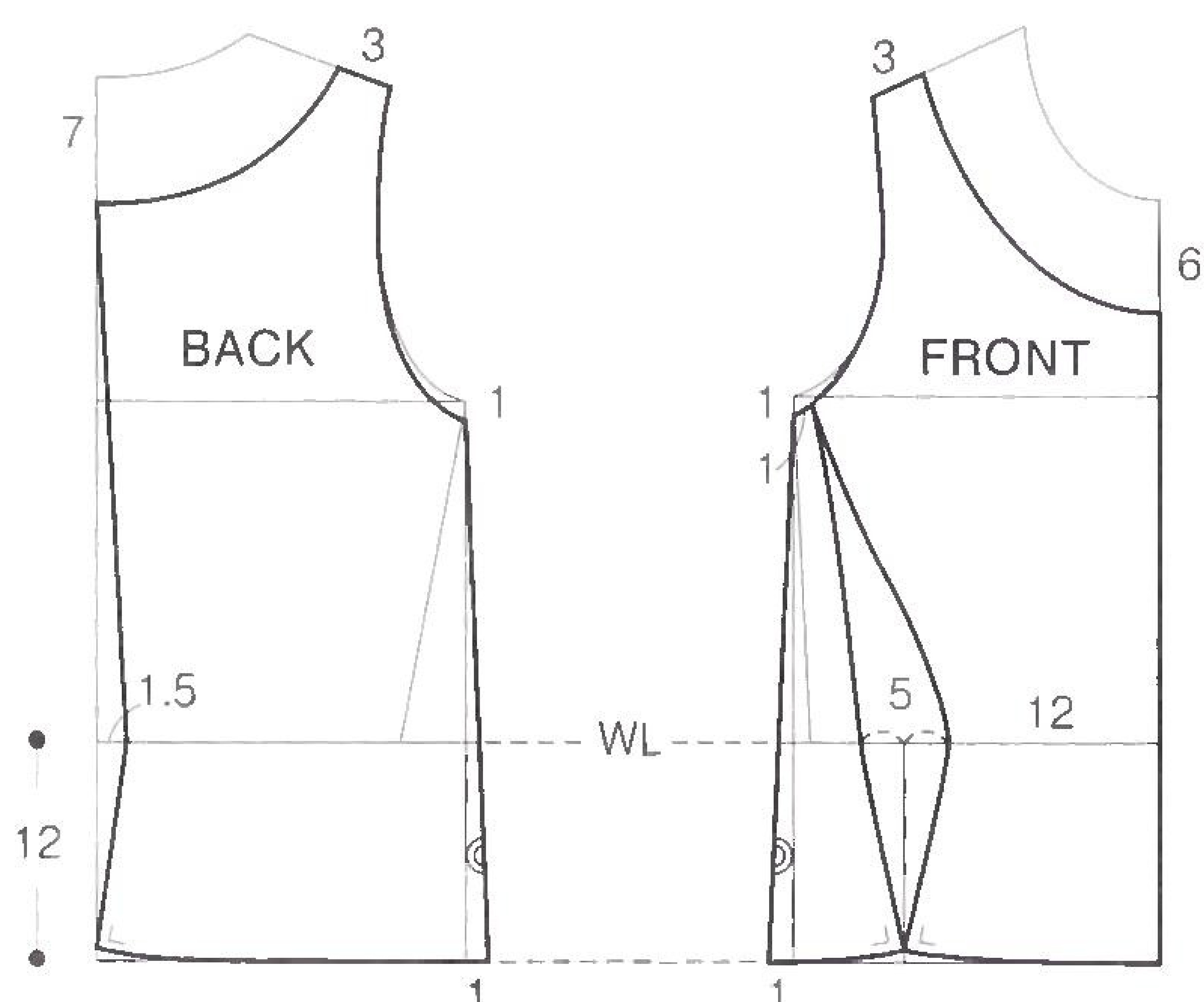
❸ 後ろ身頃は、❷でできた前パターンを反転する。

48ページ"トゲトゲC"

左右に4本ずつトゲを出す。

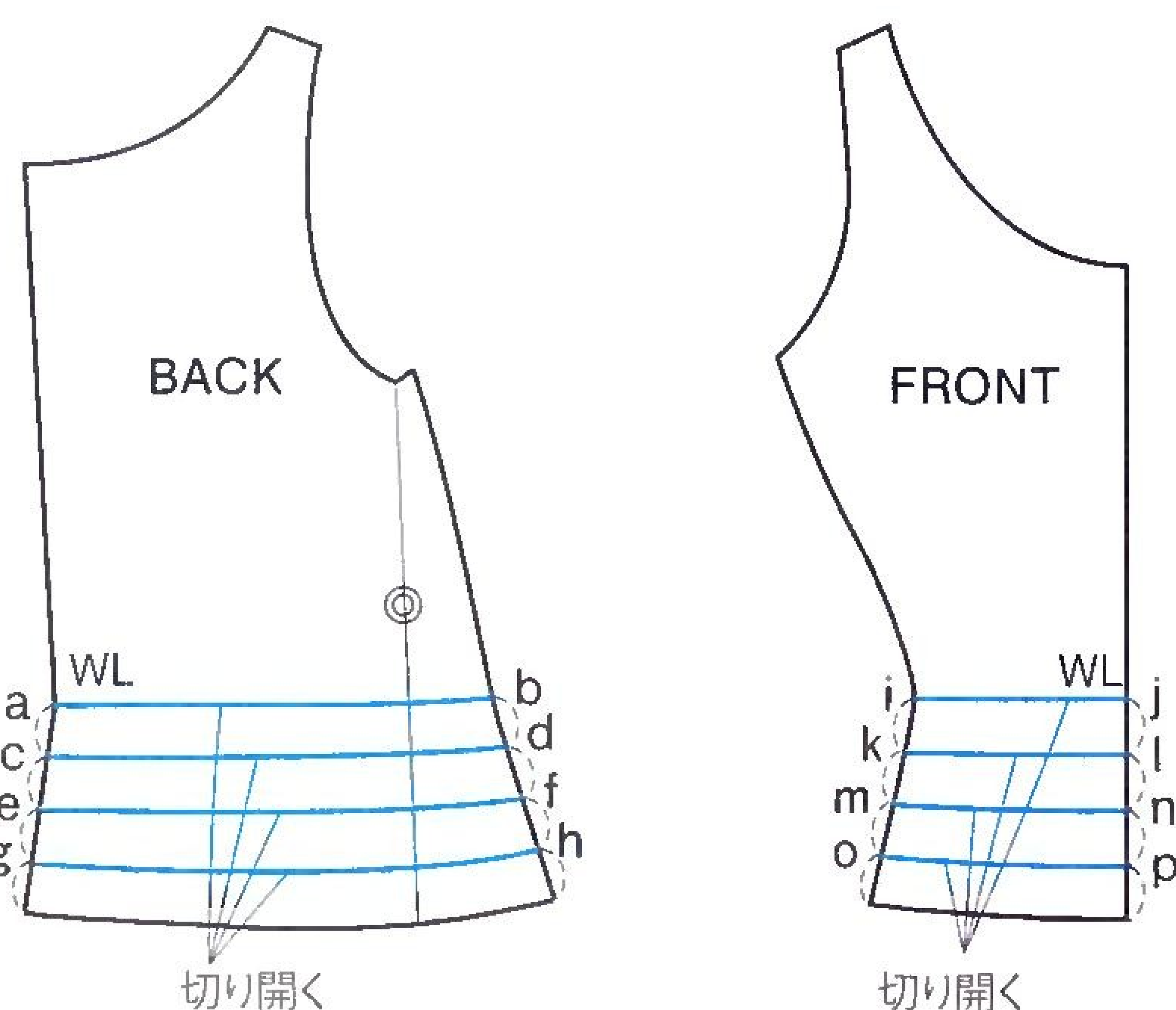
腰回りがチュチュのように広がって華やかになった。





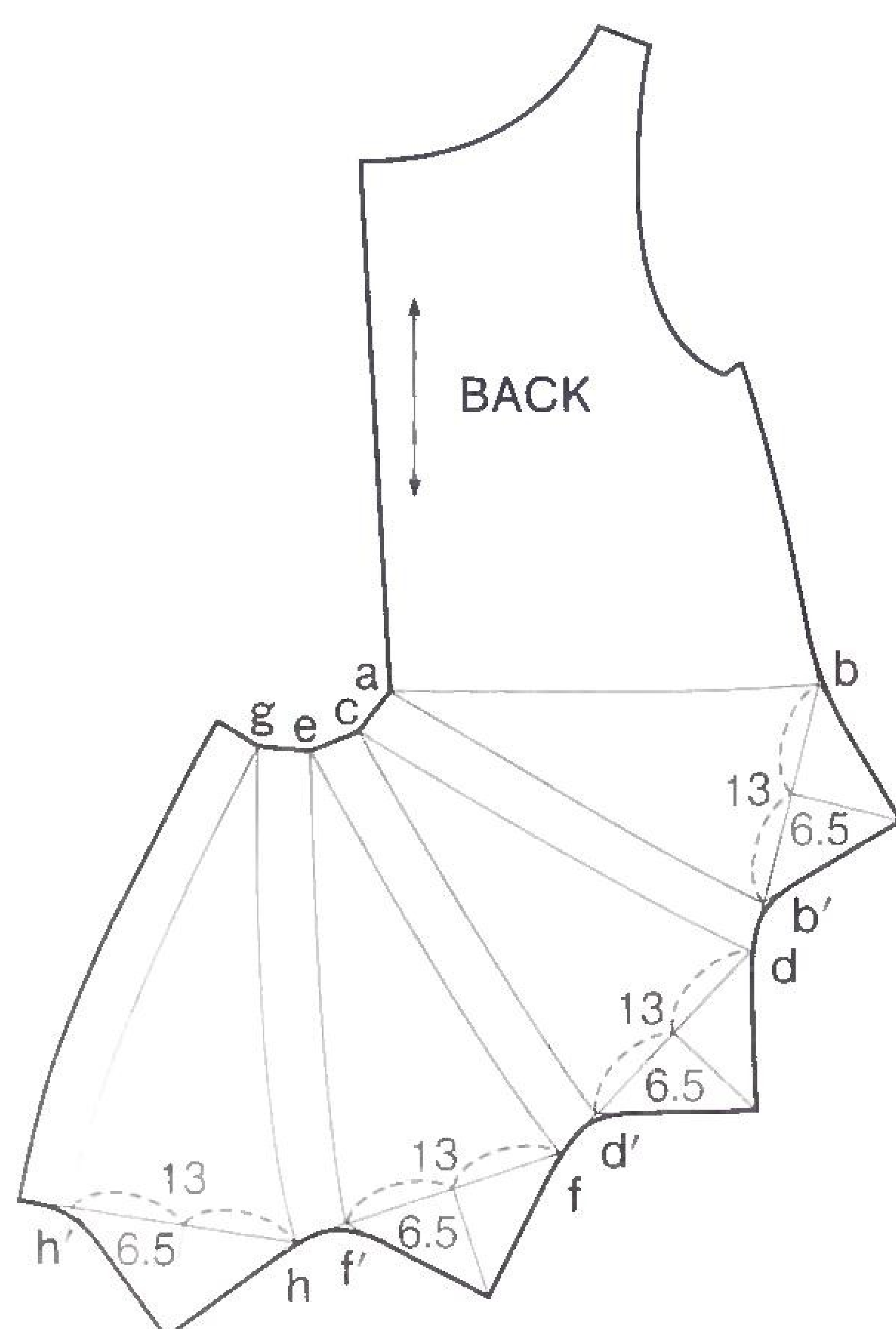
❶ 後ろスローパーのウエストラインから上をかき、後ろ身頃の作図をする。

❷ 前スローパーのウエストラインから上をかき、パネルラインを入れた前身頃の作図をする。

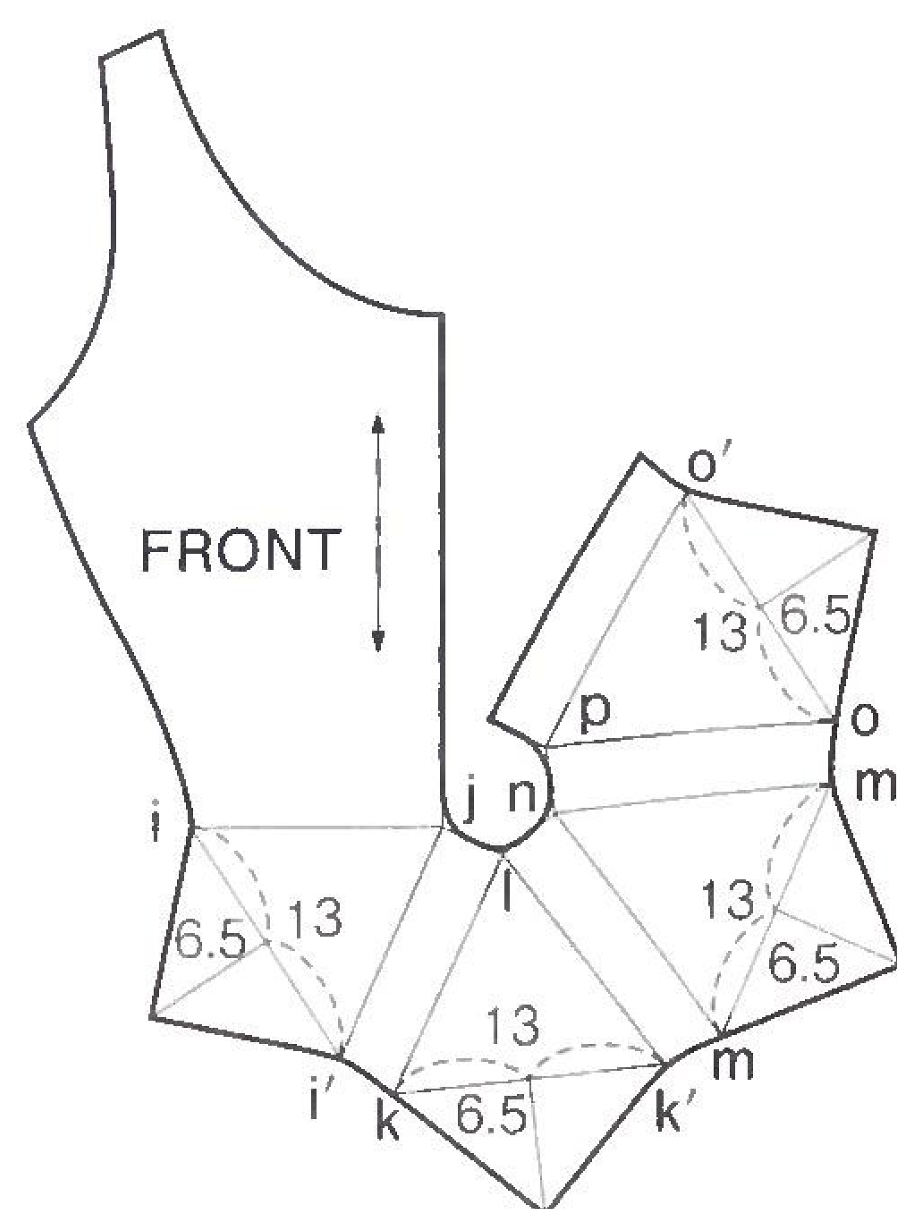


❸ 前の脇を後ろ身頃と突き合わせる。切開きの位置をかく。

❹ 前身頃にも切開きの位置をかく。



❺ aを基点として13cm開く。b〜b′を底辺とする二等辺三角形をかく。ほかの切替え線も同様に切り開く。



❻ 前身頃も同様に切り開く。

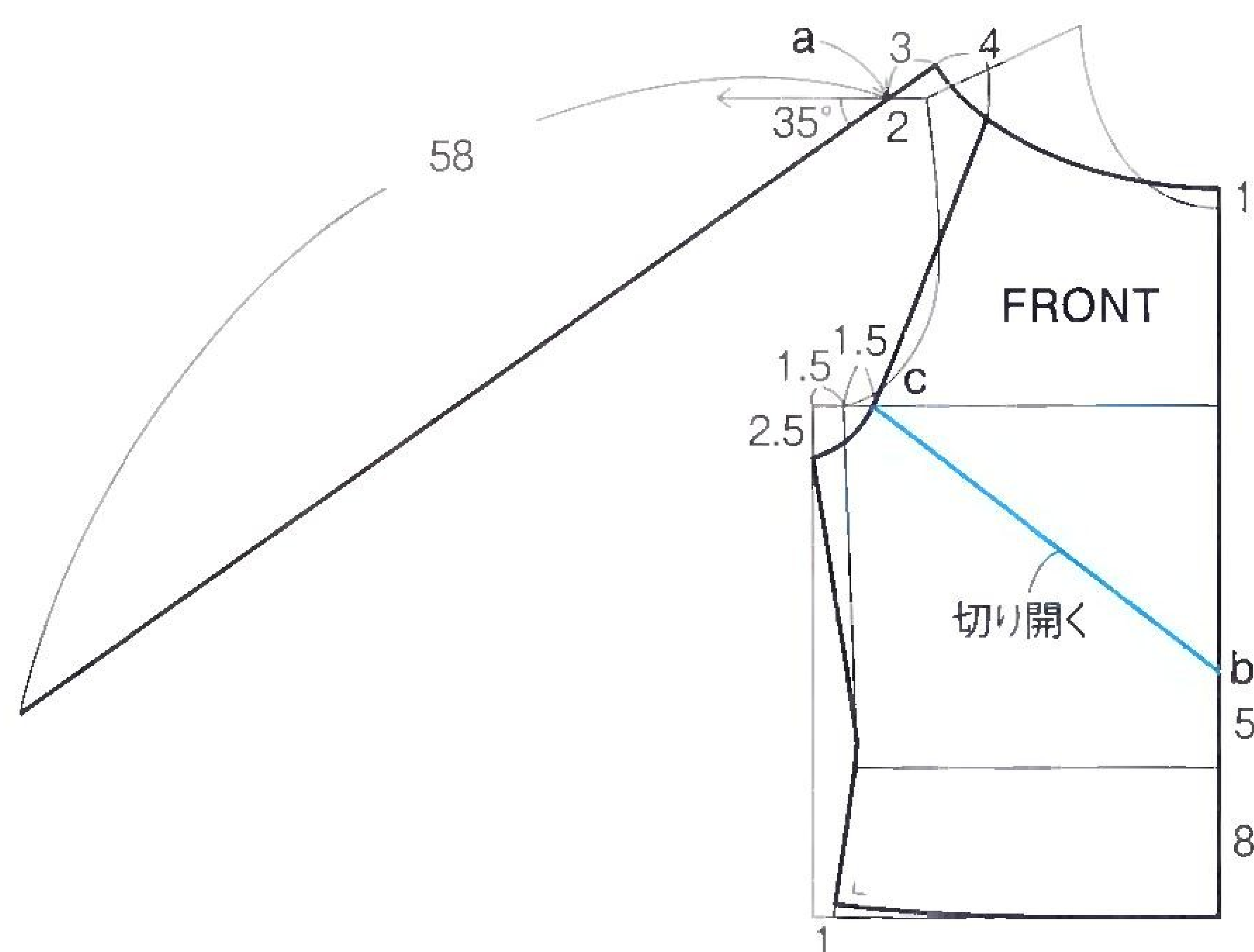


49ページ"トゲトゲD"

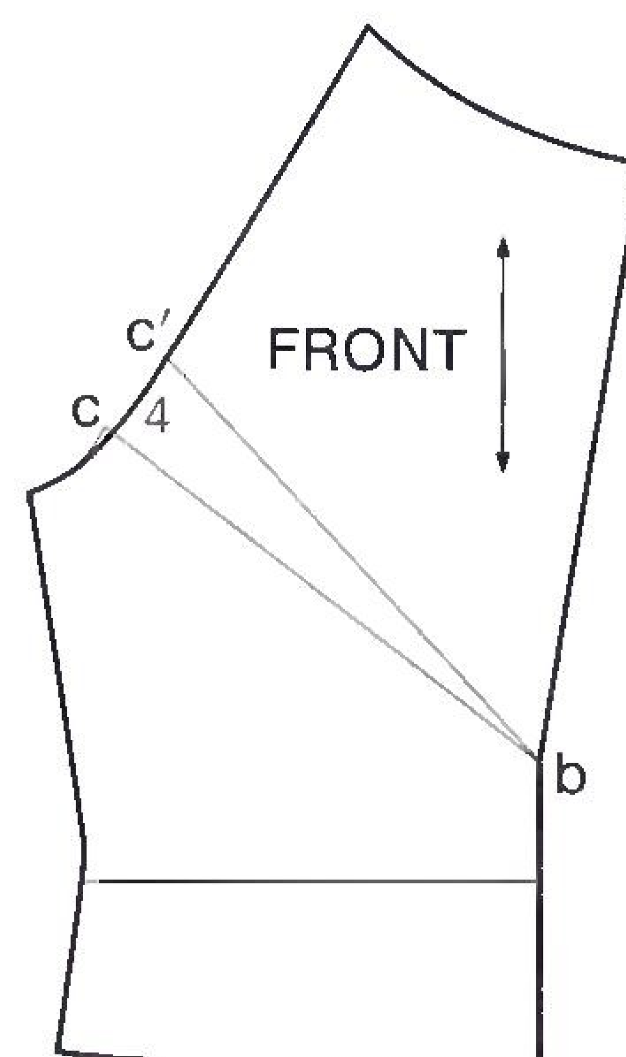
袖にトゲを出す。

ラグランスリーブから、肩章のようなりりしいトゲが出た。

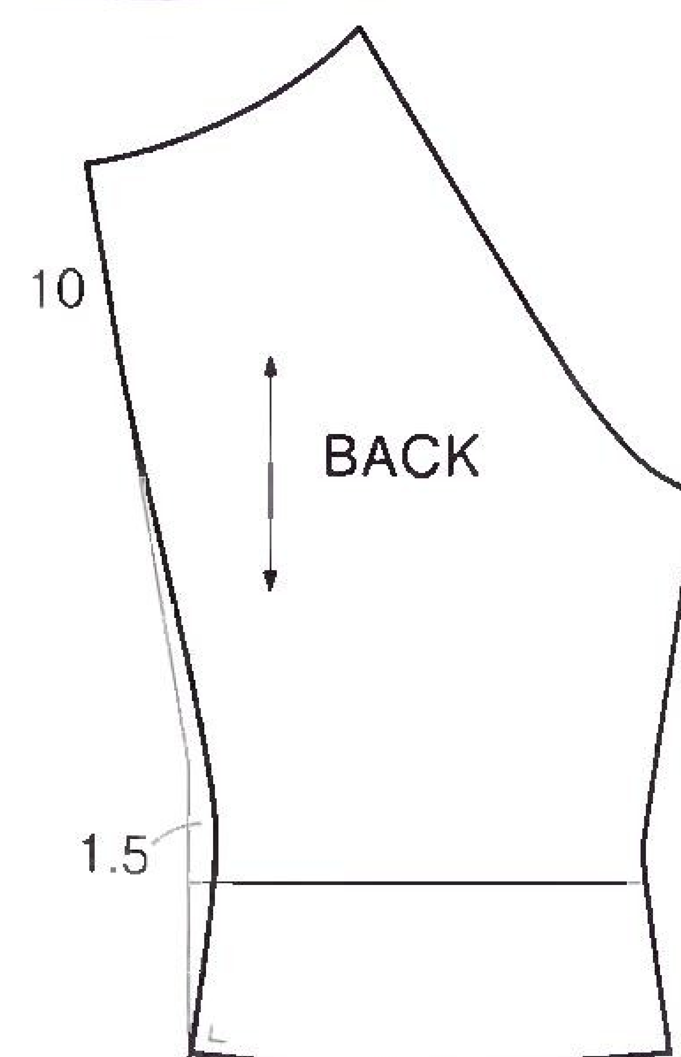




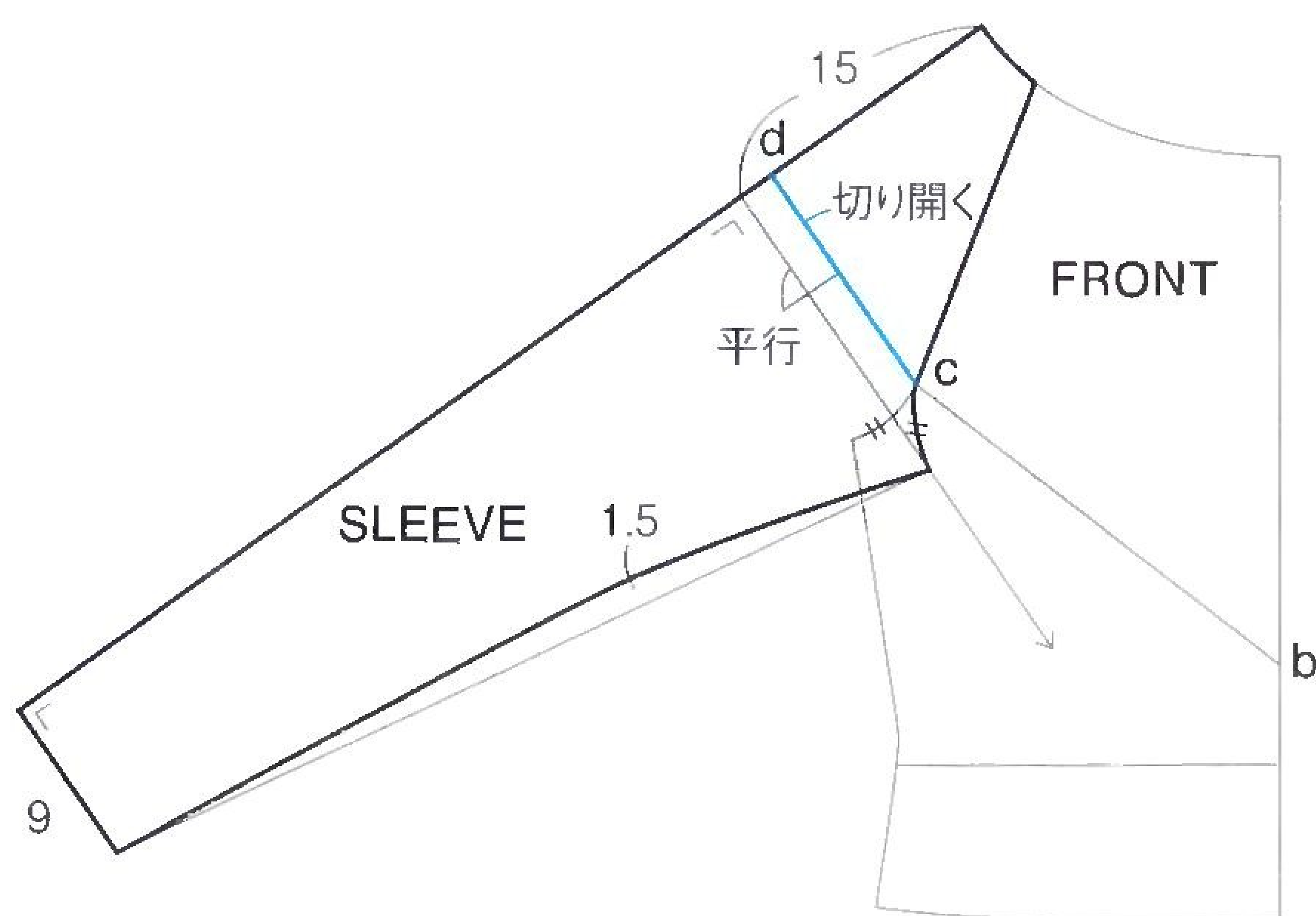
❶ 前スローパーのウエストラインから上をかく。aを基点にして35度の傾斜をつけ、袖丈を決め、ラグラン線をかく。身頃に切開き線をかく。



❷ 前身頃を切り開き、ゆとりを入れる。

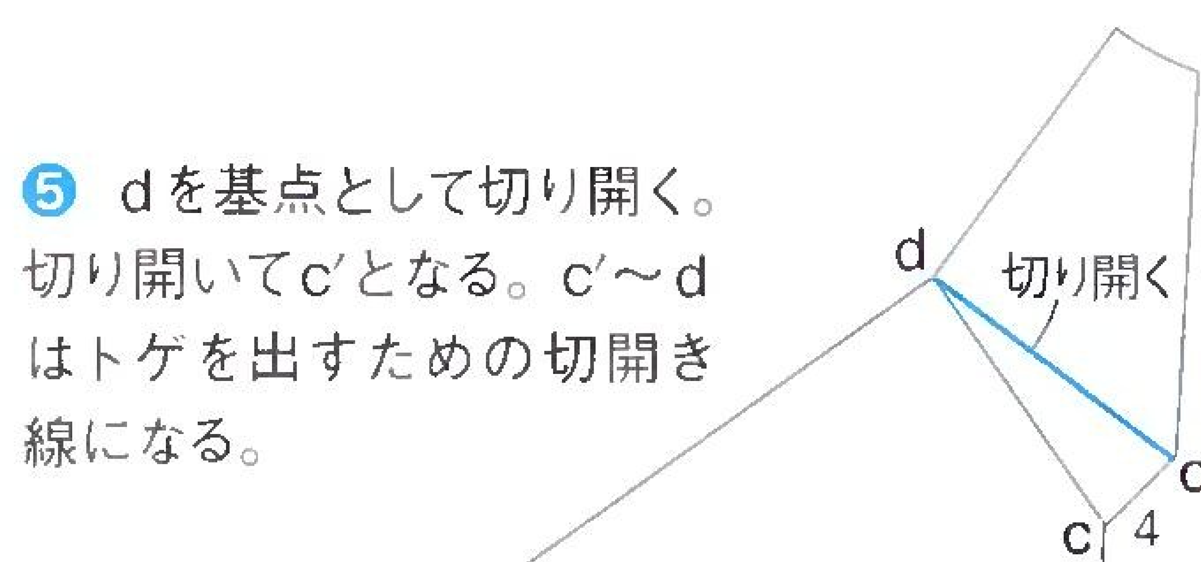


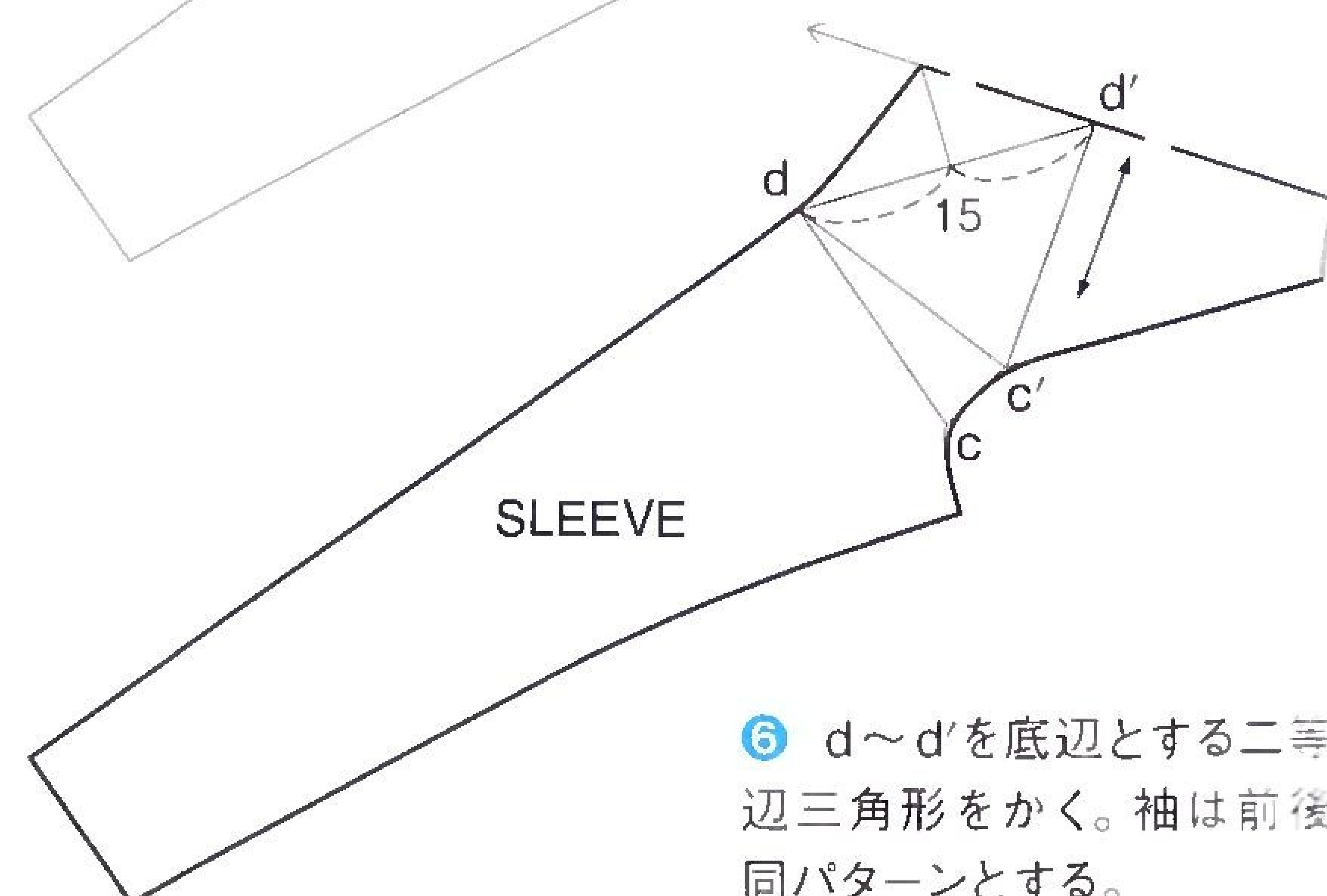
❸ 後ろ身頃は❷の前身頃を反転する。ウエストを後ろ中心で絞る。



❹ ❶に続けて袖の作図をし、❷の身頃のゆとりに合わせるため、切開き線c～dをかく。

❺ dを基点として切り開く。切り開いてc′となる。c′～dはトゲを出すための切開き線になる。





❻ d～d′を底辺とする二等辺三角形をかく。袖は前後同パターンとする。

50ページ"りんごの皮A"

丸ごとむいたりんごの皮は、くるーんと丸まって渦巻きができる。

両端を持って伸ばすと、渦巻きの外側がひらひらと波を打つ。

袖をりんごの皮に見立てて作ってみる。

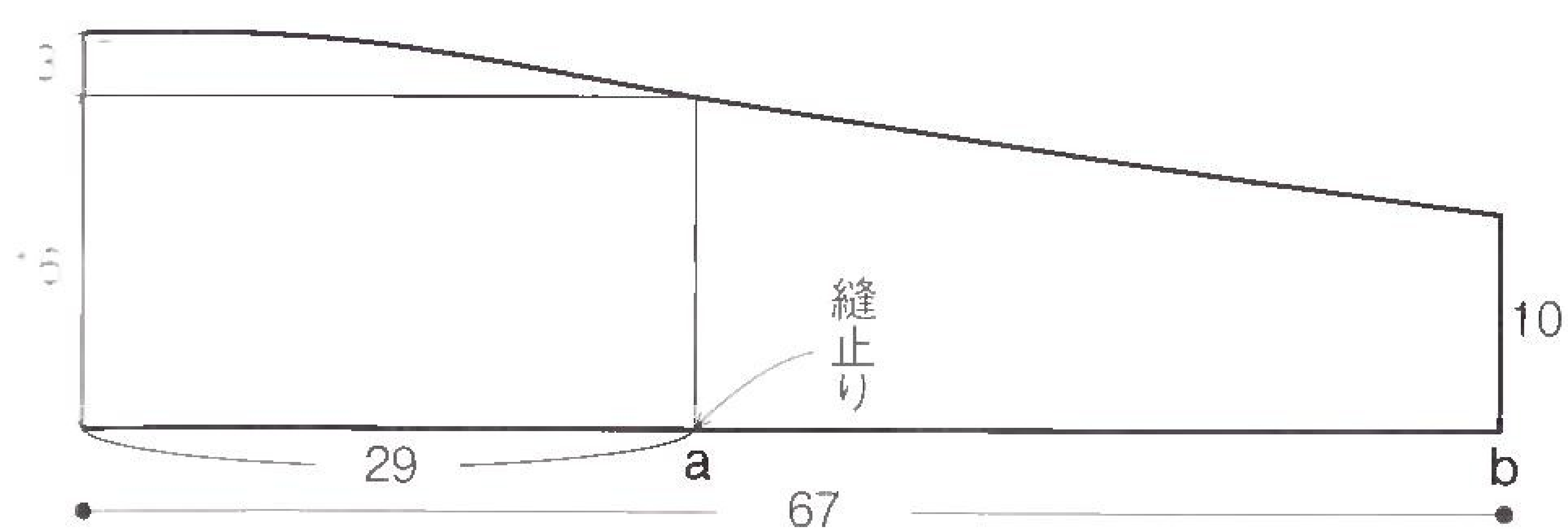
切替え線をいっぱい入れて、りんごの皮のようにまあるく切り開く。

円が小さければ小さいほどひらひらはいっぱい出る。

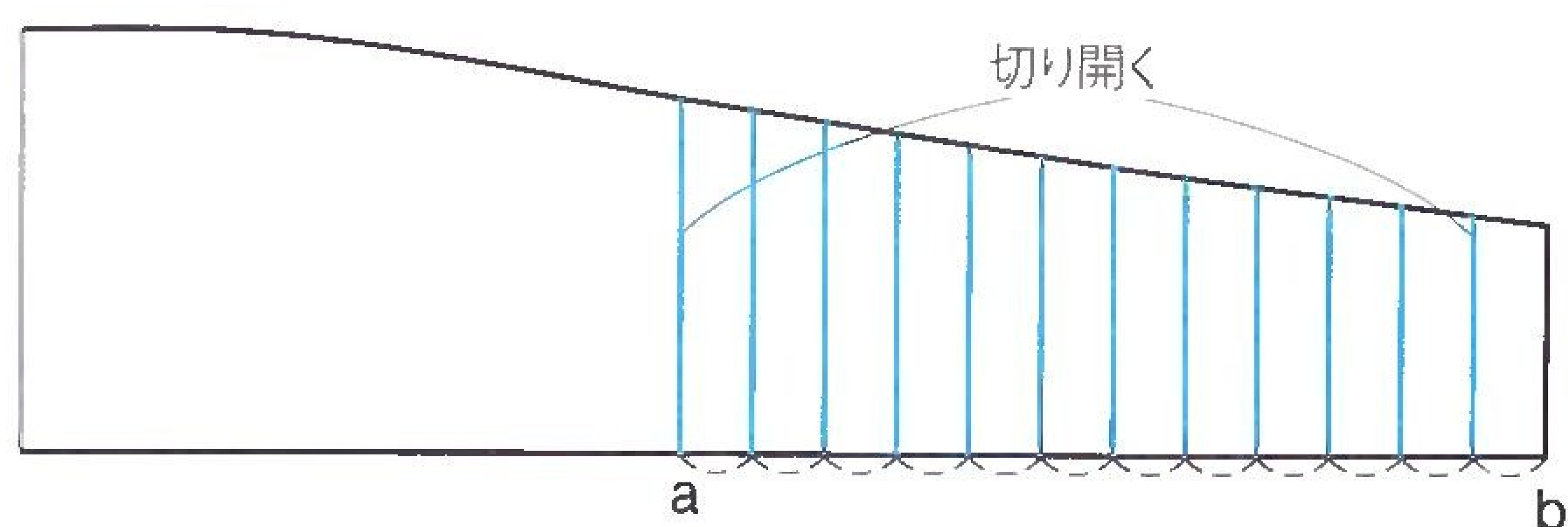
まあるい袖も腕を通すとひらひらのドレープがたくさんできる。



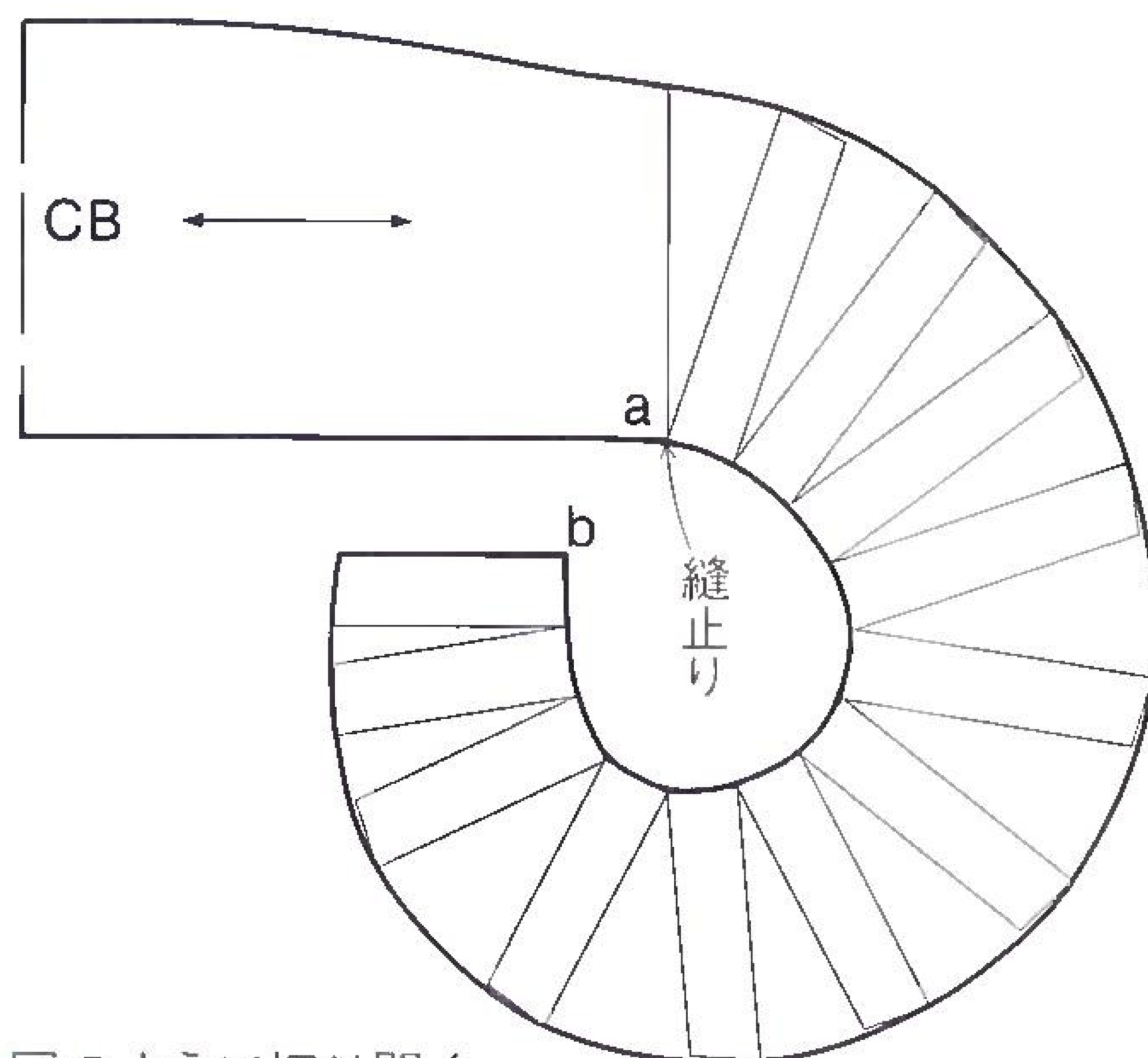




❶ ボレロの作図をする。a～bは袖になるが、カーブの縫い目は伸びるので短めに設定する。



❷ 切開き線をかく。



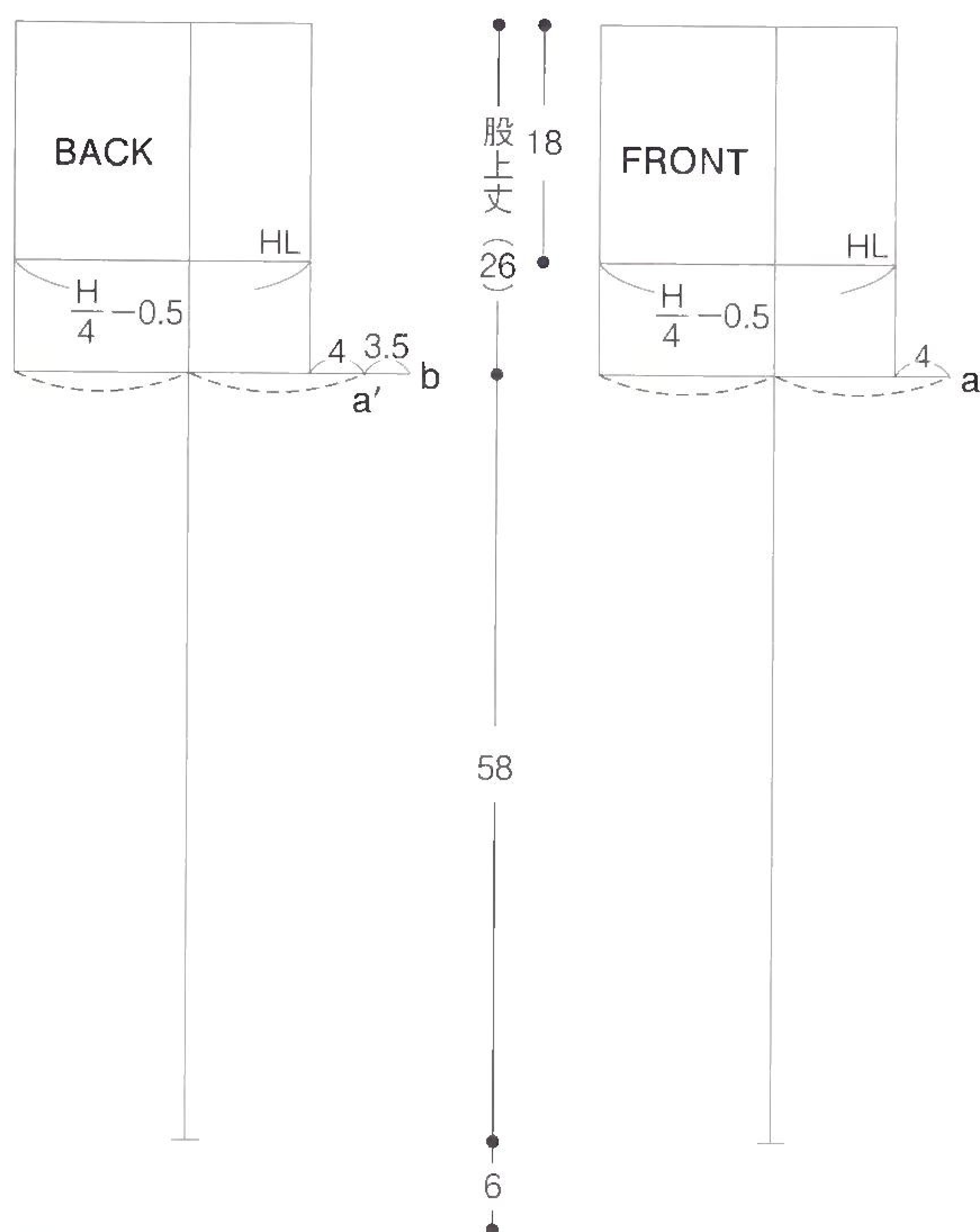
❸ 図のように切り開く。

52ページ"りんごの皮B"

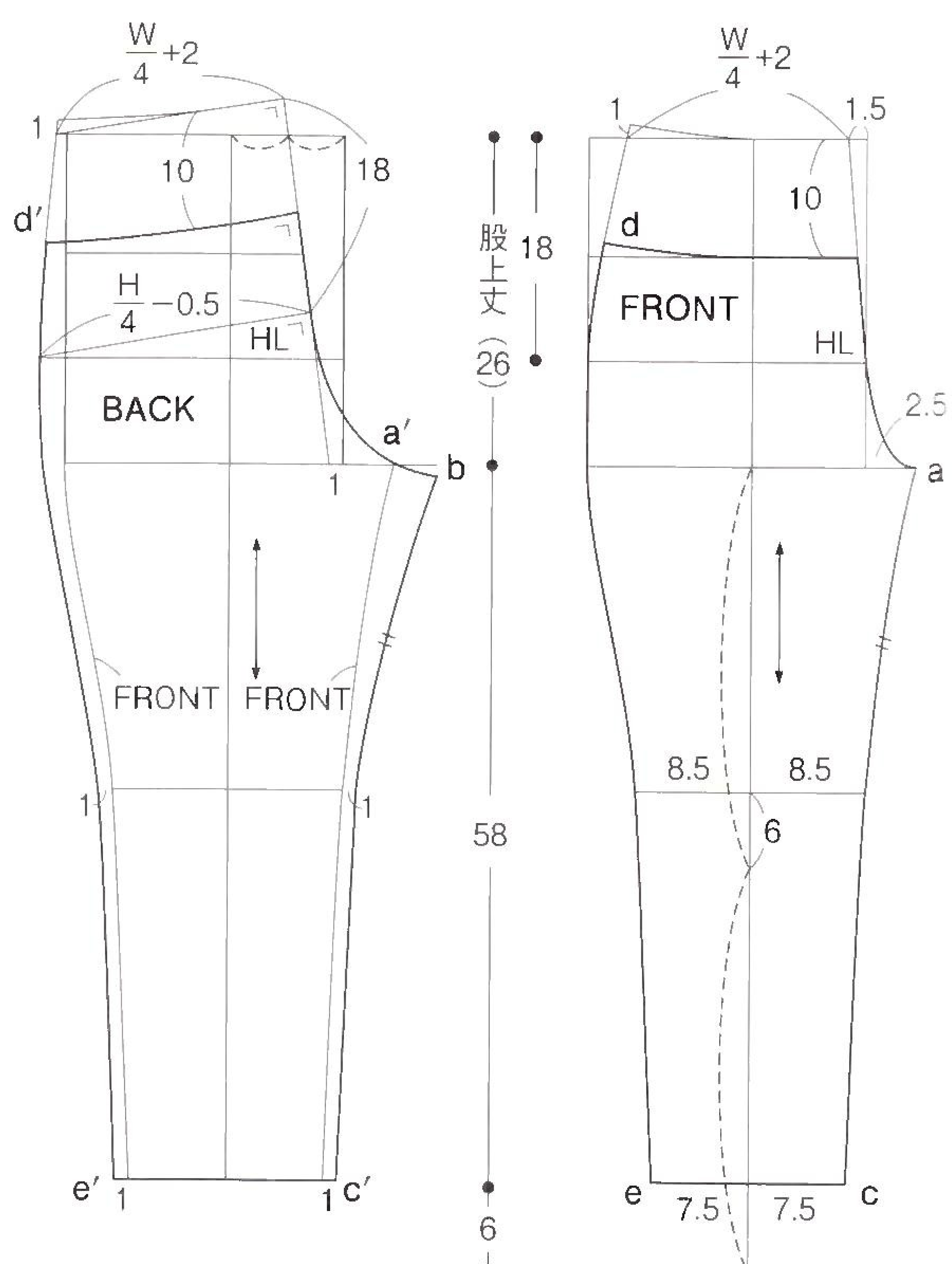
"りんごの皮"をパンツに応用した。

かたつむりのようなパターンになった。

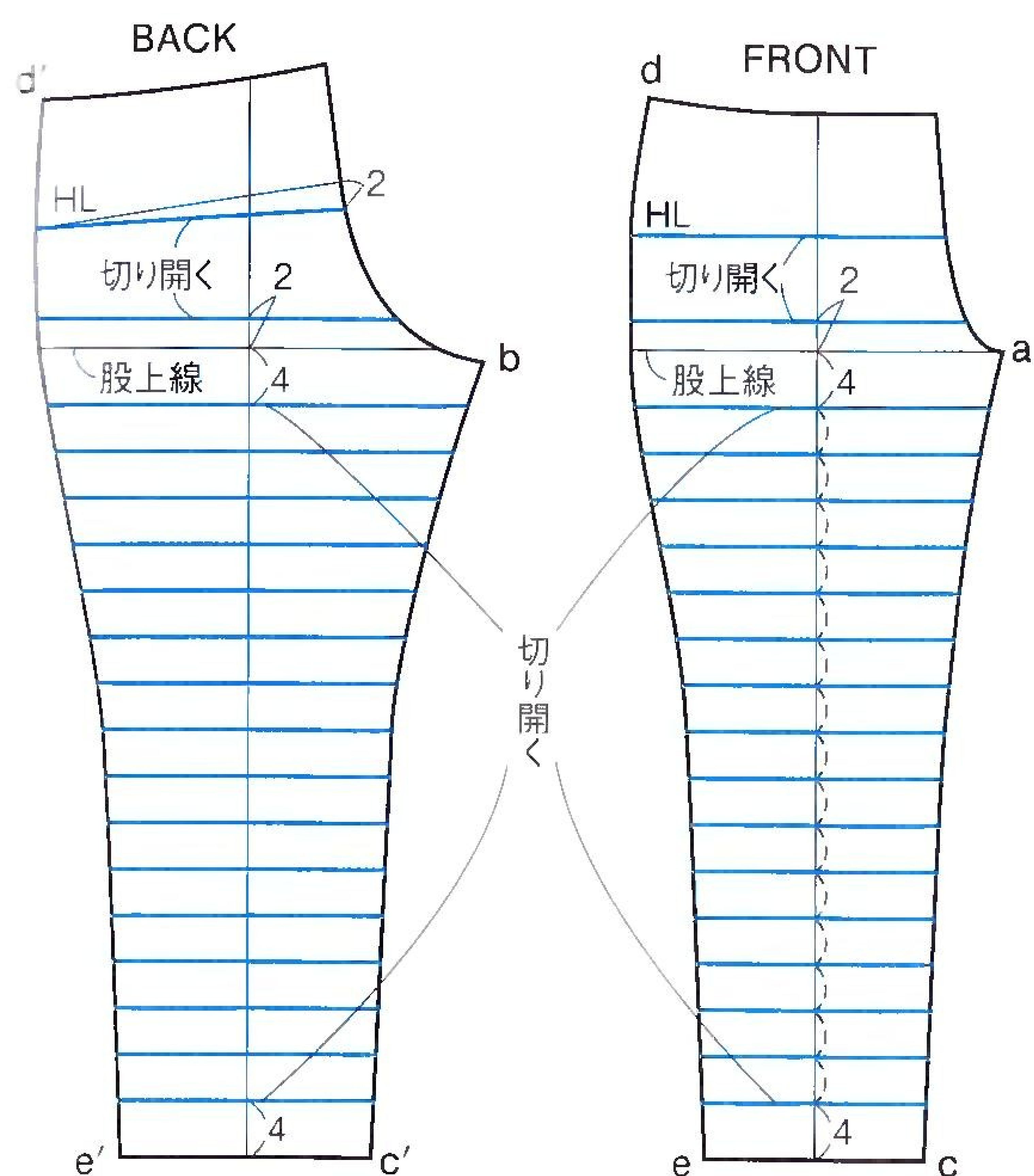




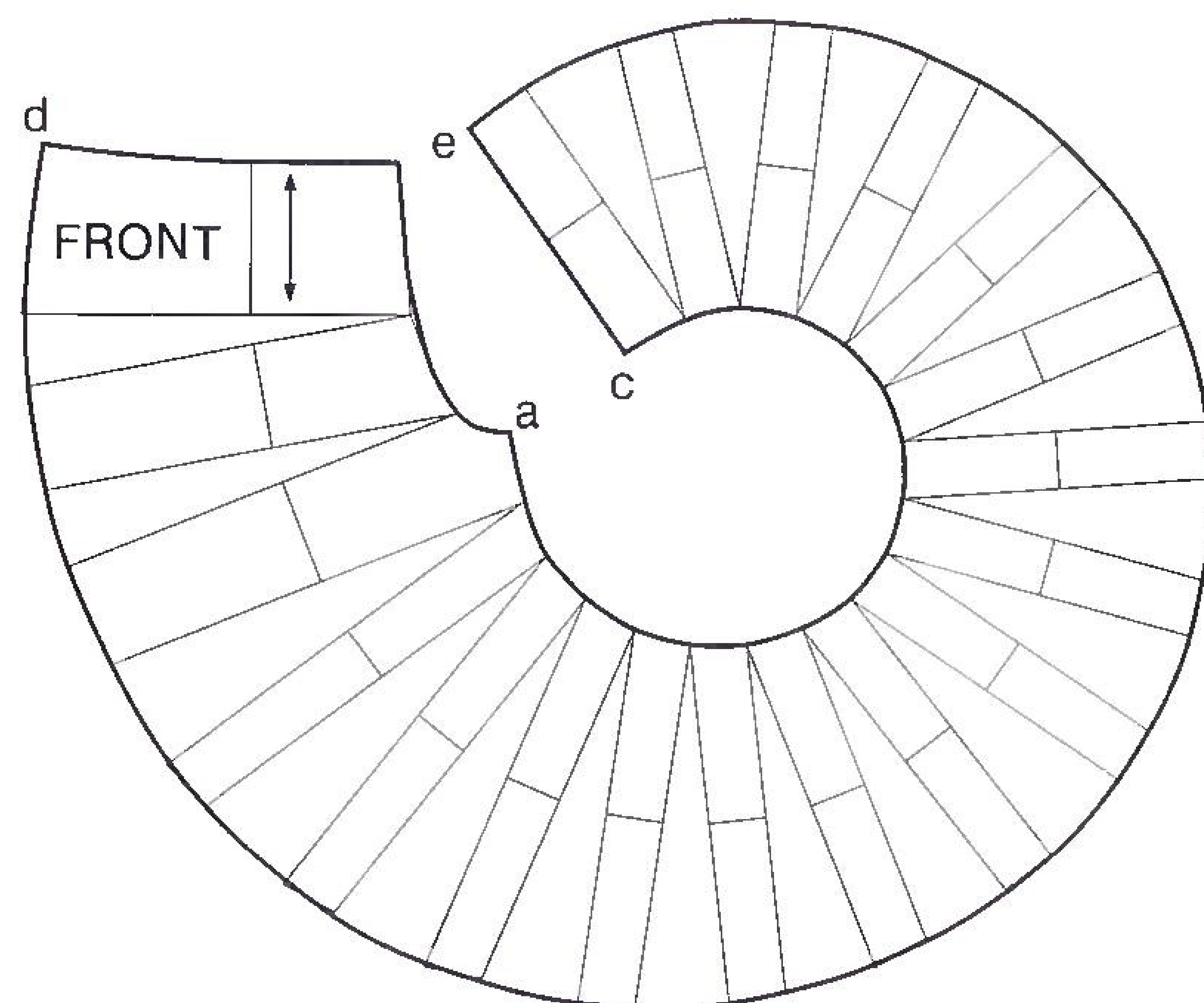
❶ パンツの基本線をかく。パンツ丈は切り開くと伸びるので、短く設定する。

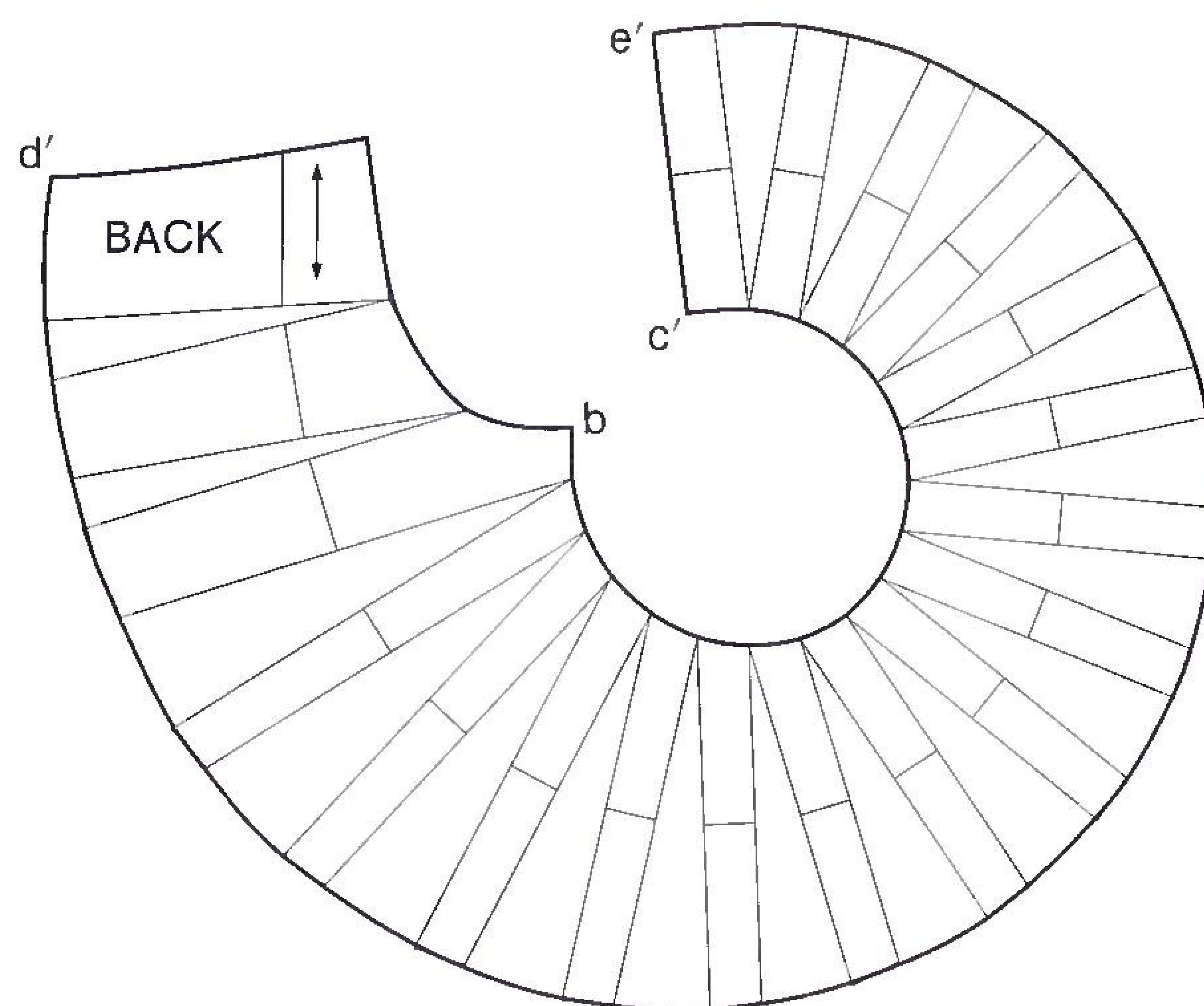


❷ 前から作図する。ローウエストとベルトをつける分とでウエストを10cm下げている。

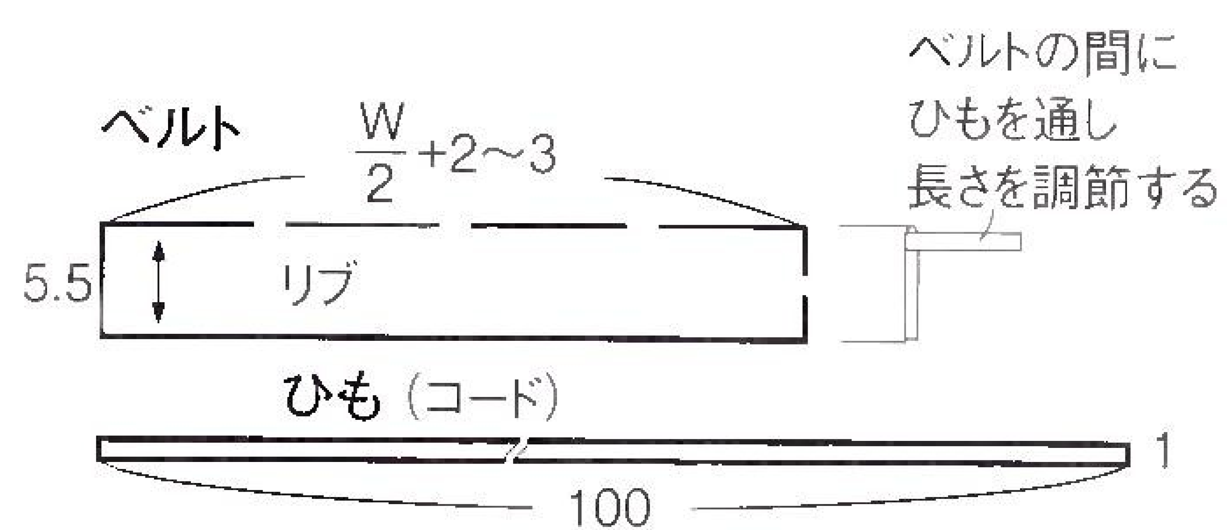


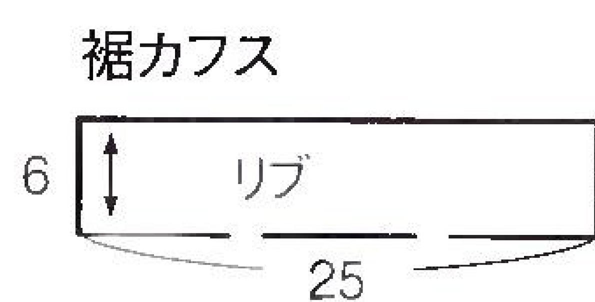
❸ 切開き線をかく。





❹ 前から切り開く。後ろも図のように円く切り開くが、d〜eとd′〜e′が同寸になるように開く。





❺ ベルト、裾カフス、ひもの作図をする。ベルトの間にひもを通し、長さを調節する。



54ページ"飛び出た角"

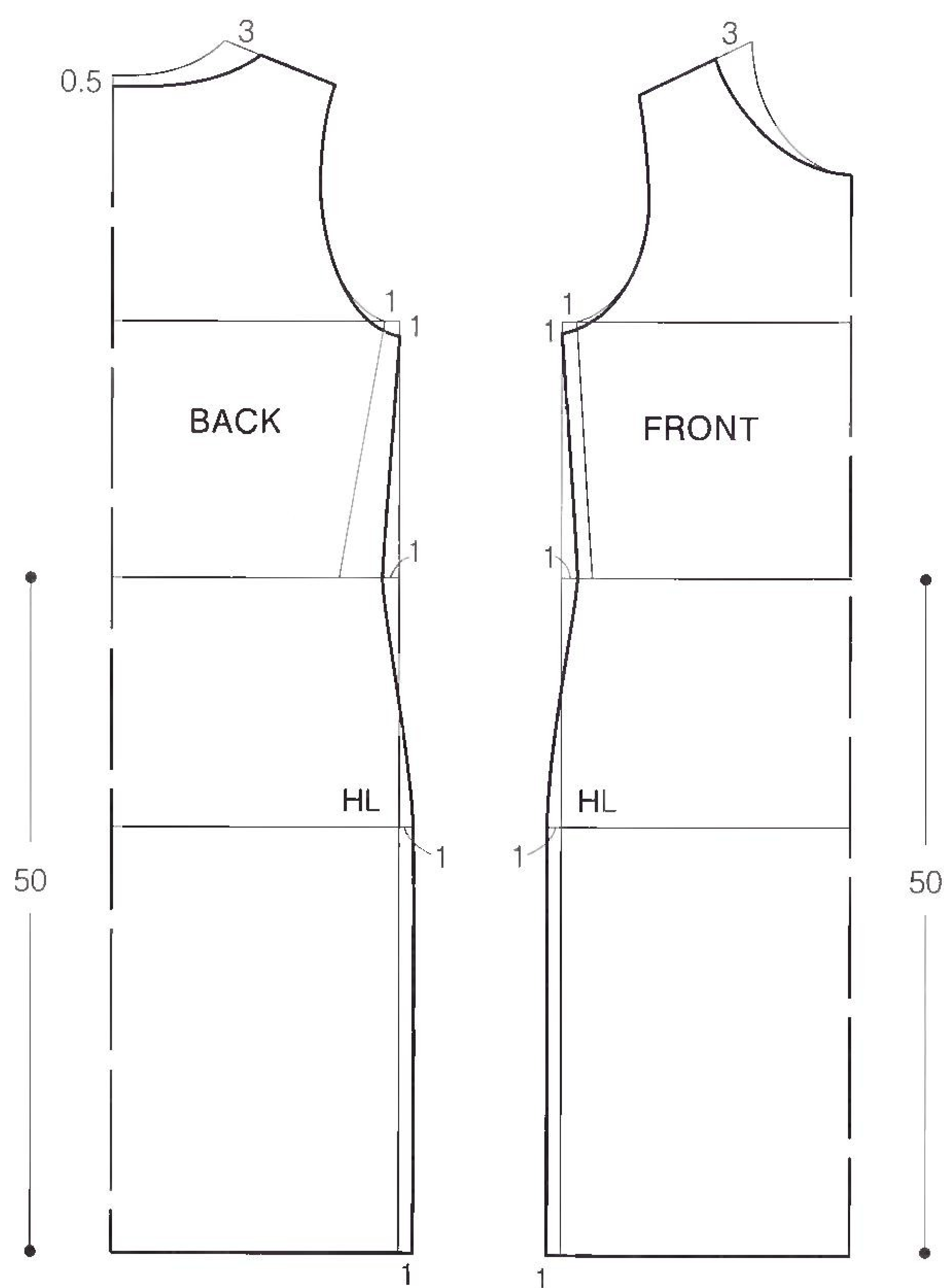
飛び出た角をつまみ上げ、

そして放すとどんなドレープが現われるのだろう。

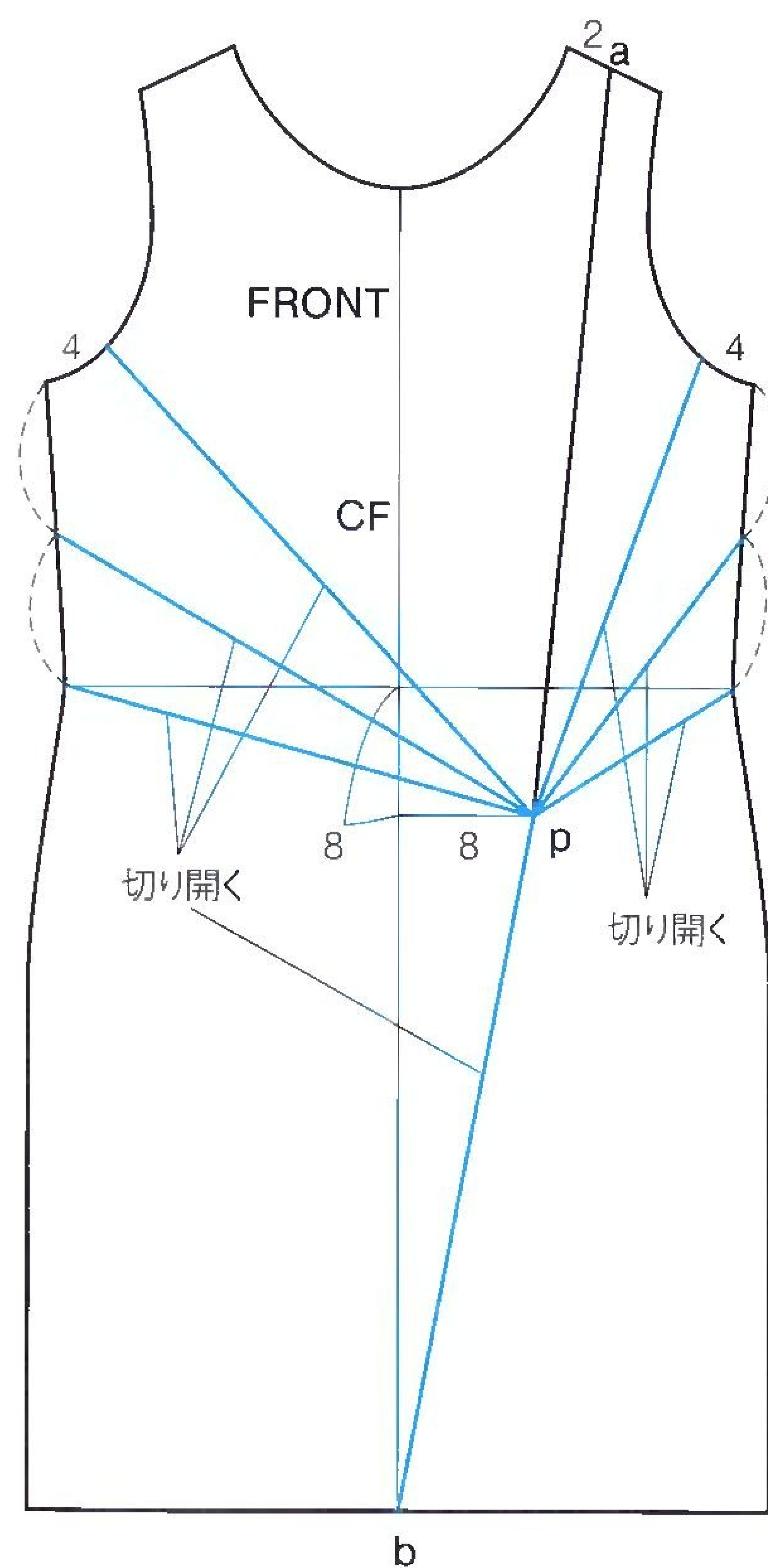
裾野が広がった富士山のような円錐形のフォルムは、

パターンではどうなるのだろう。

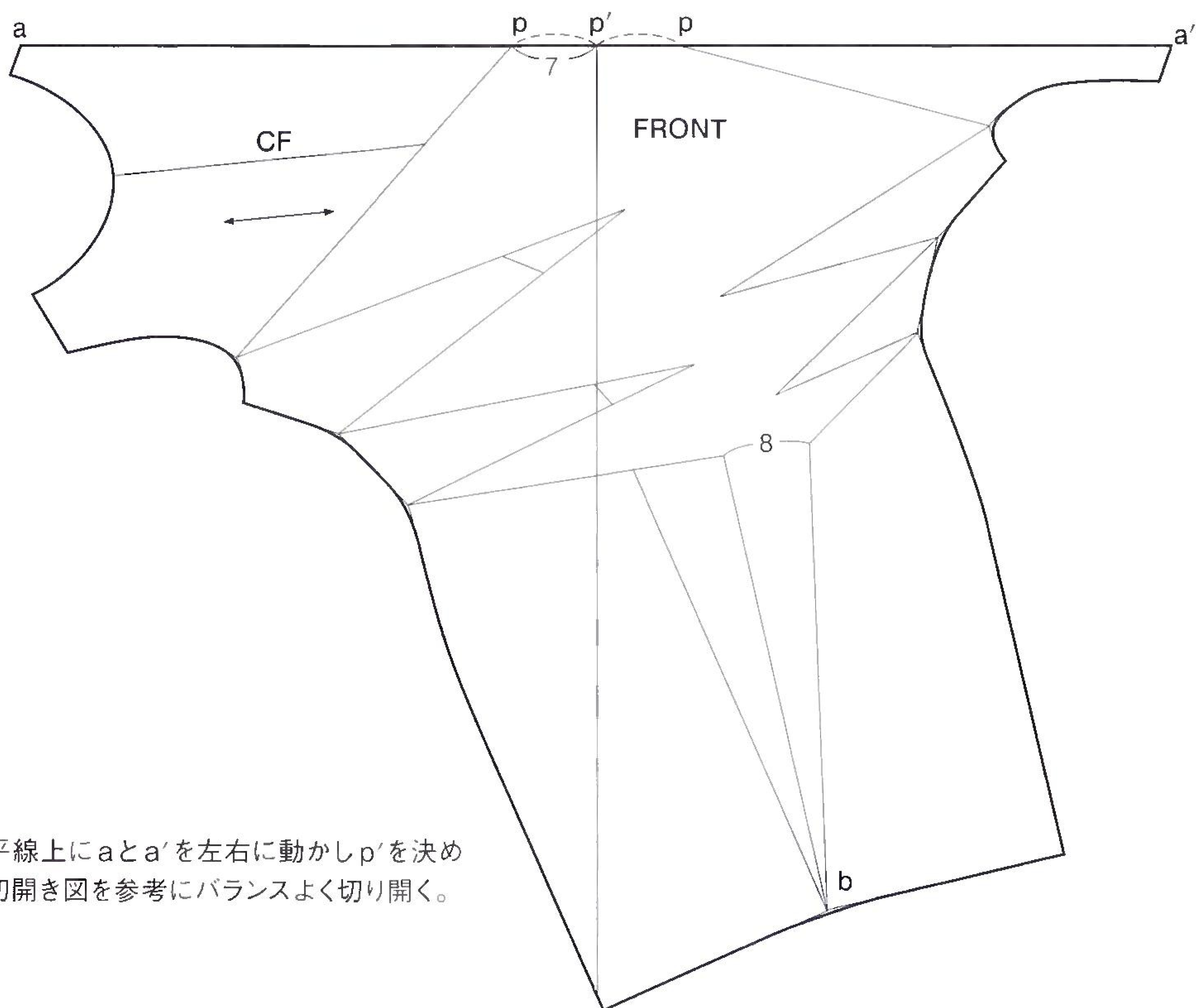




❶ 前後スローパーのウエストから上をかく。前後身頃の作図をする。



❷ 前身頃に切替え線と切開き線をかく。飛び出た角の位置をpとする。pを基点に切り開くことで、高さが出て飛び出してくるので、pの位置は高めに設定する。a～pは切替え線になる。



❸ 水平線をかき、水平線上にaとa′を左右に動かしp′を決める。次にbを動かす。切開き図を参考にバランスよく切り開く。

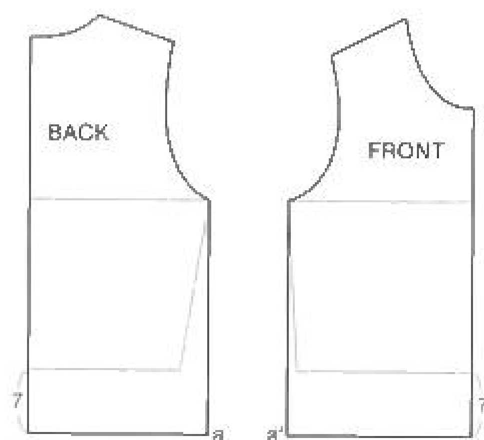


55ページ"円のドレープ"

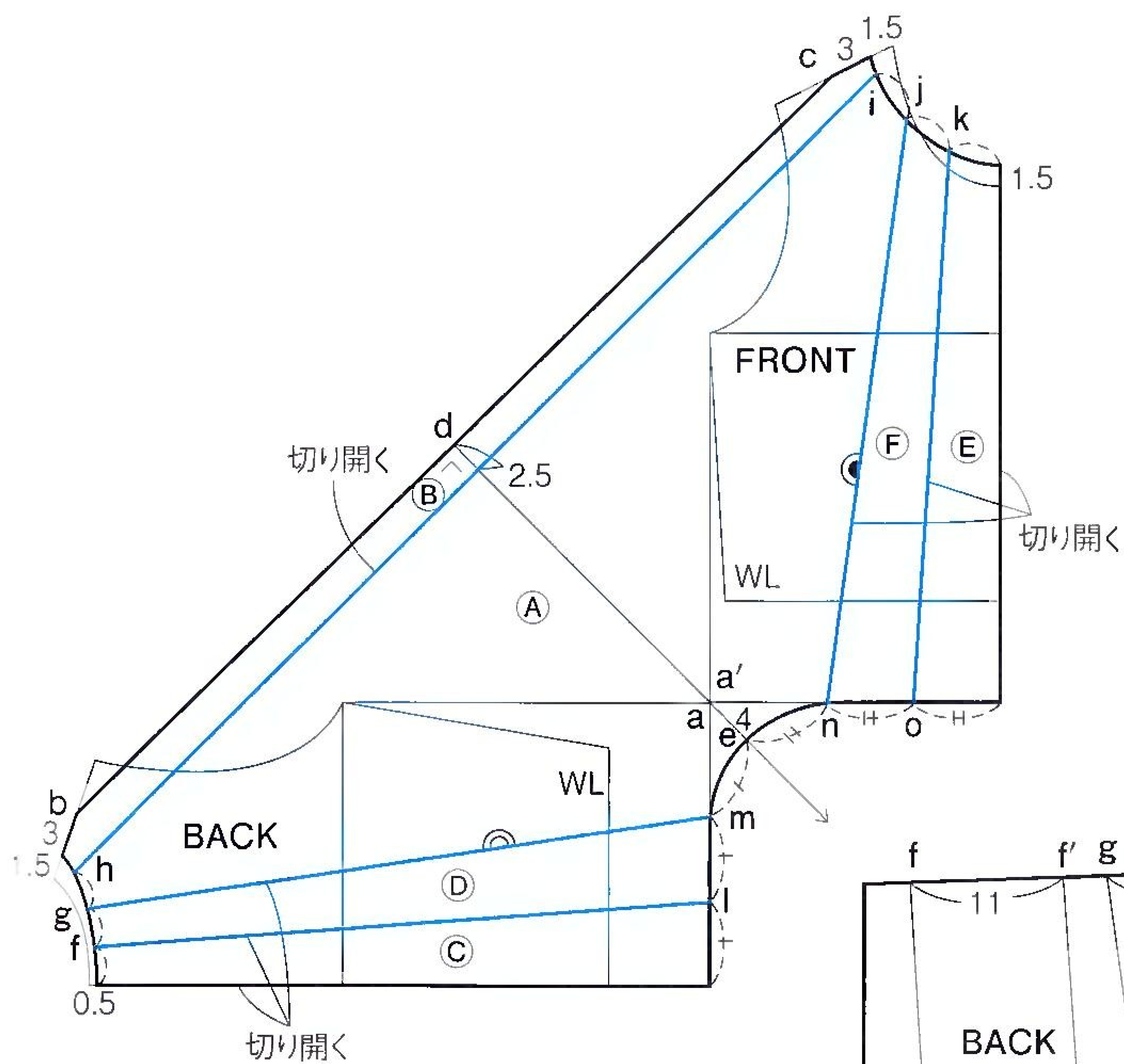


横から見ると、袖ぐりに大きな円のドレープができる。
神話に出てくる、神々の衣装のようだ。
衿ぐりから裾に、立体的なギャザーがいっぱい寄っている。
立体的なギャザーは、細かい縦ステッチをしっかりかけることで表現している。

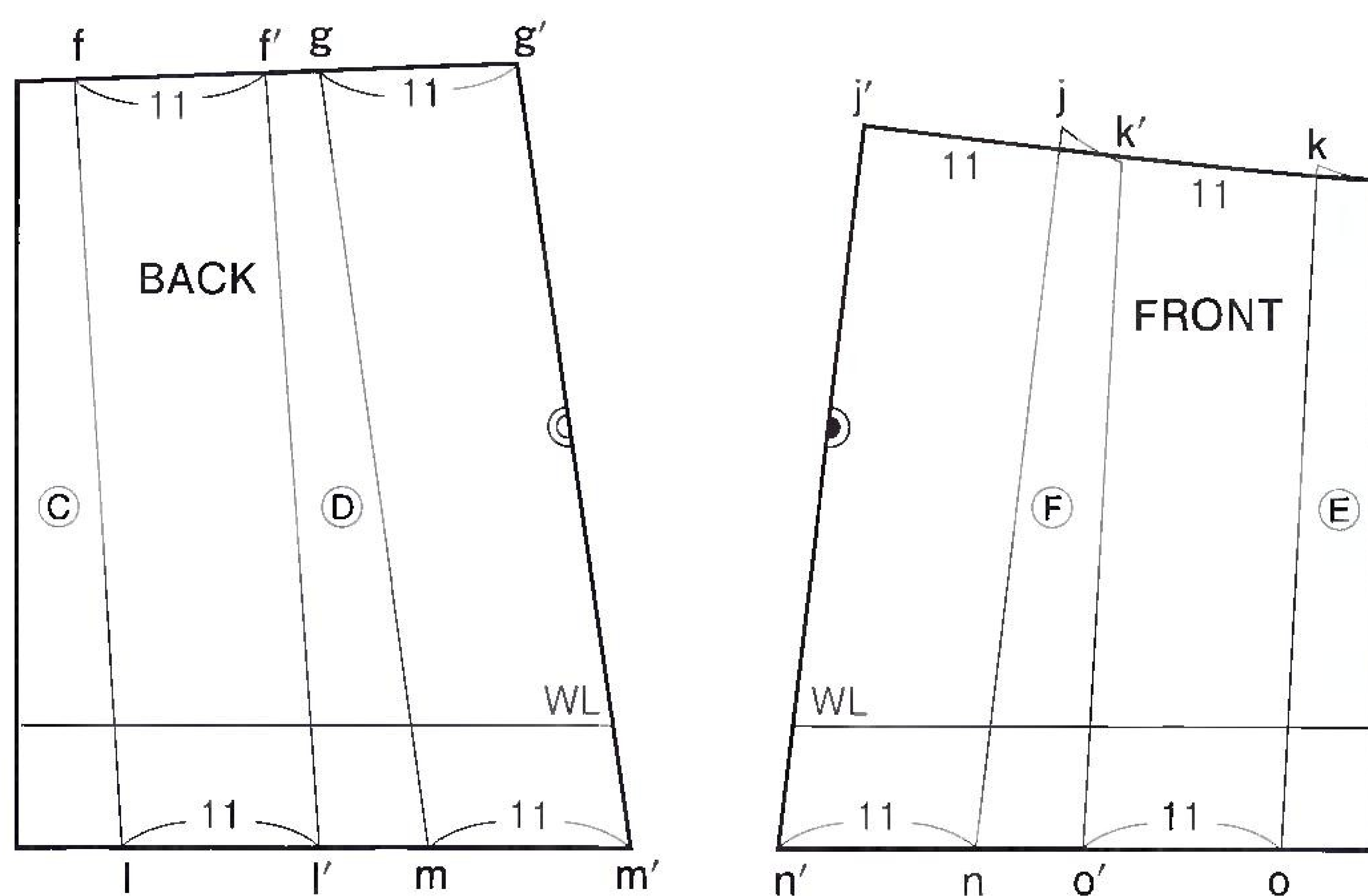




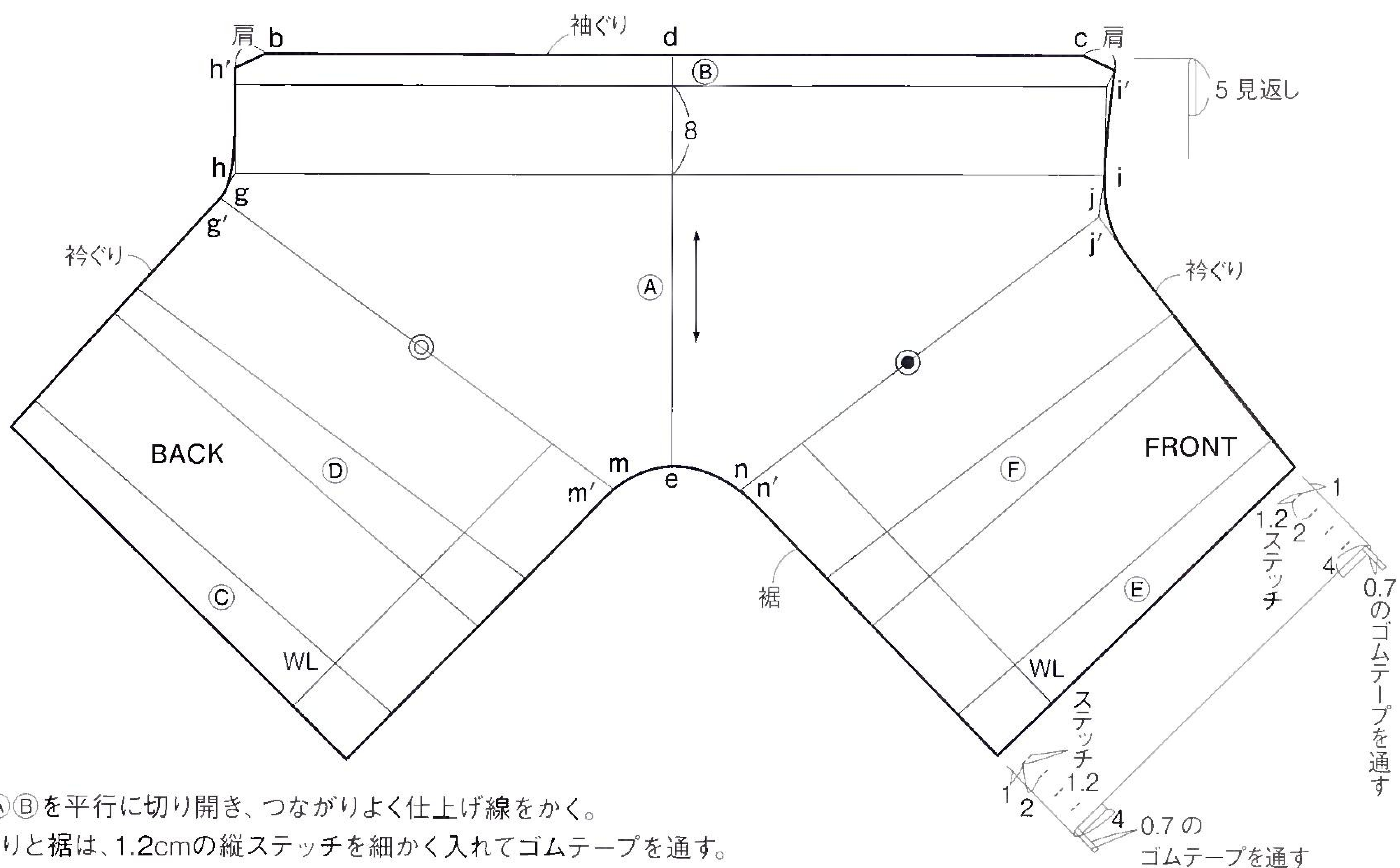
❶ スローパーのウエストから上をかき、前後身頃の作図をする



❷ 前後身頃のaとa′を合わせ、裾が直角になるようにセットし、前後がつながったパターンとする。切開き線を入れる。



❸ ⒸⒹⒺⒻを、ウエストライン上で水平に開く。

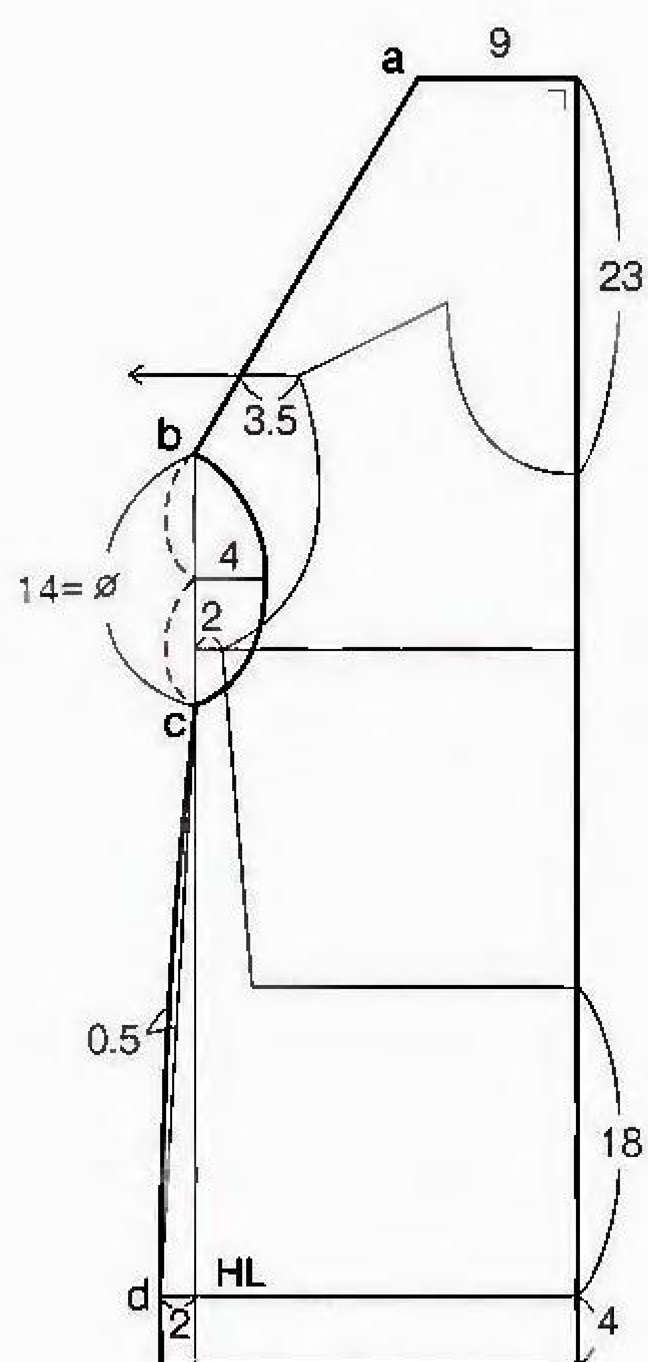


❹ ⒶⒷを平行に切り開き、つながりよく仕上げ線をかく。
衿ぐりと裾は、1.2cmの縦ステッチを細かく入れてゴムテープを通す。

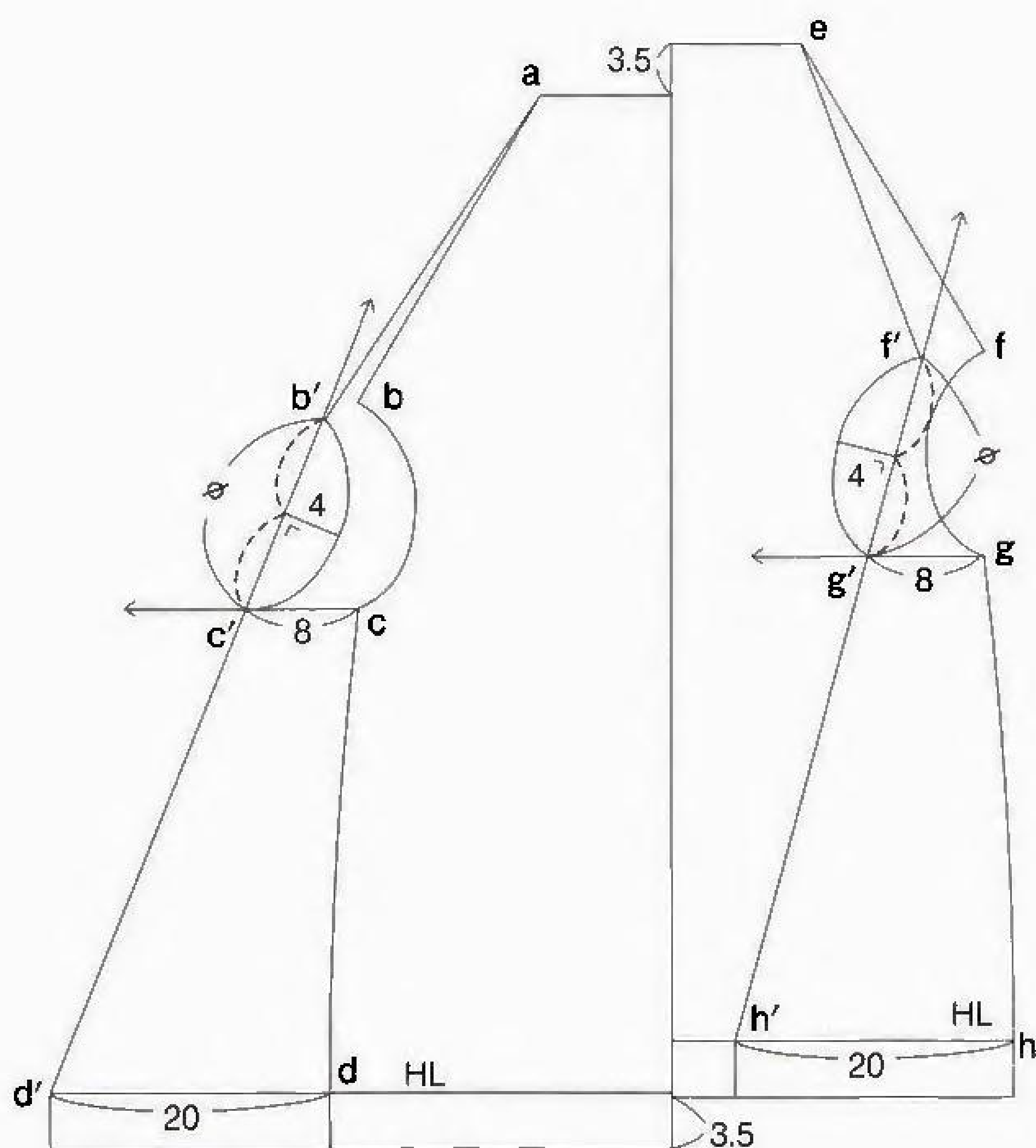
56ページ"ストッパー"

ねじりを入れた服は、元に戻ろうとする。
だからストッパーが必要。
首から裾にかけて、すべてねじったトップスだから
リブを衿ぐり、袖ぐり、裾につけてきれいなドレープを安定させた。
またリブは、ハイネック、袖の二役もこなしている。

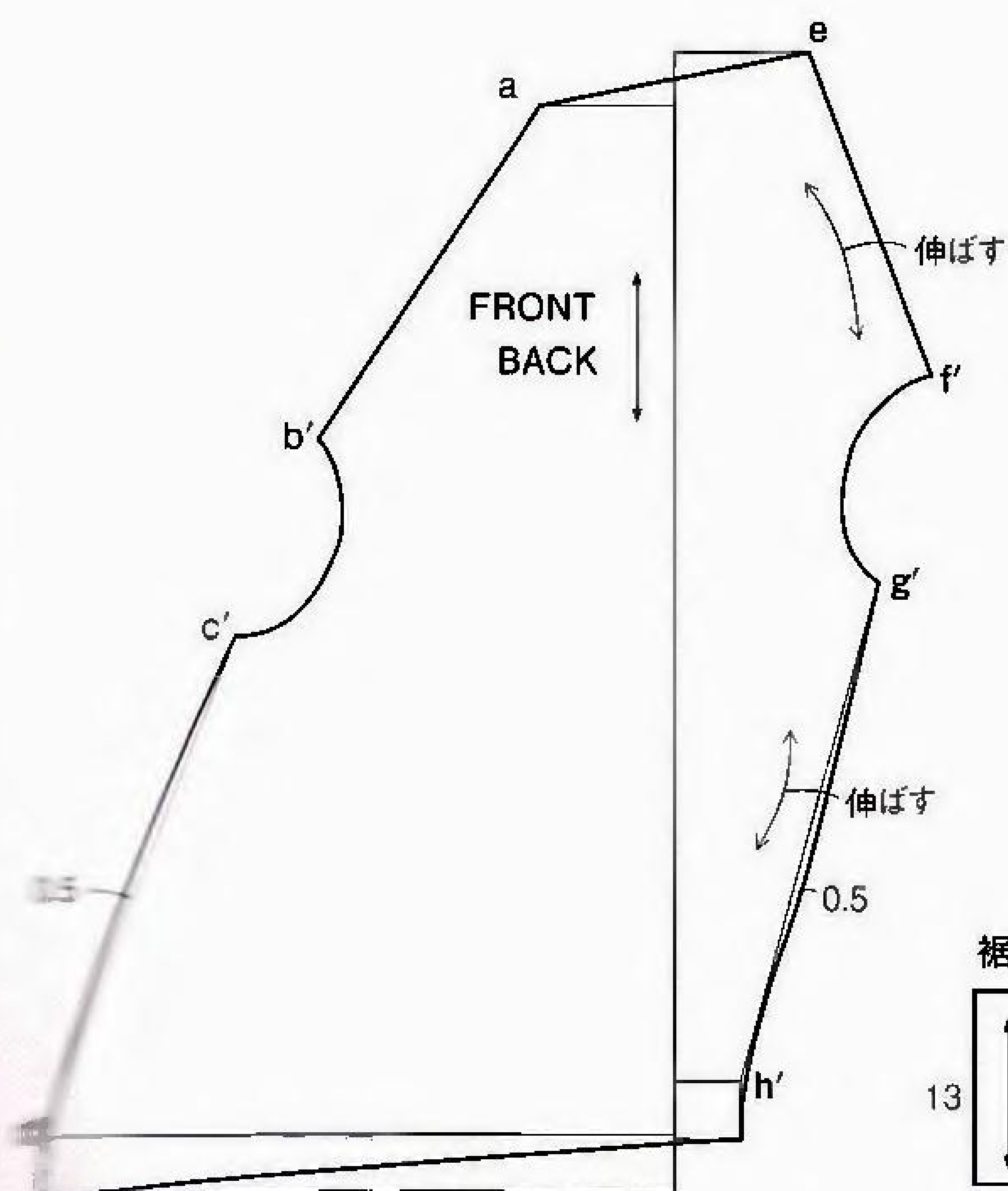




❶ 前スローパーのウエストから上をかく。ねじりを入れるためにシャツのボリュームは追加してある。

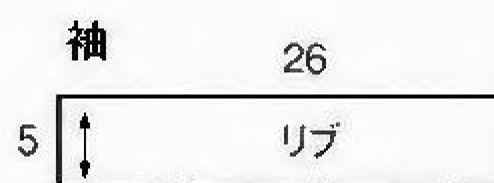


❷ 右から左にねじりを入れるので、左身頃を3.5cm上げてかく。右身頃の作図をする。dから水平に20cm、cから水平に8cmとり、直線で結び、袖ぐりを移動する。左身頃の作図をする。hから水平に20cm、gから水平に8cmとり、直線で結んで袖ぐりを移動する。これでパターン上でねじりが入った。



❸ つながりよく仕上げ線をかく。脇と肩は長いほうに合わせて伸ばして縫う。







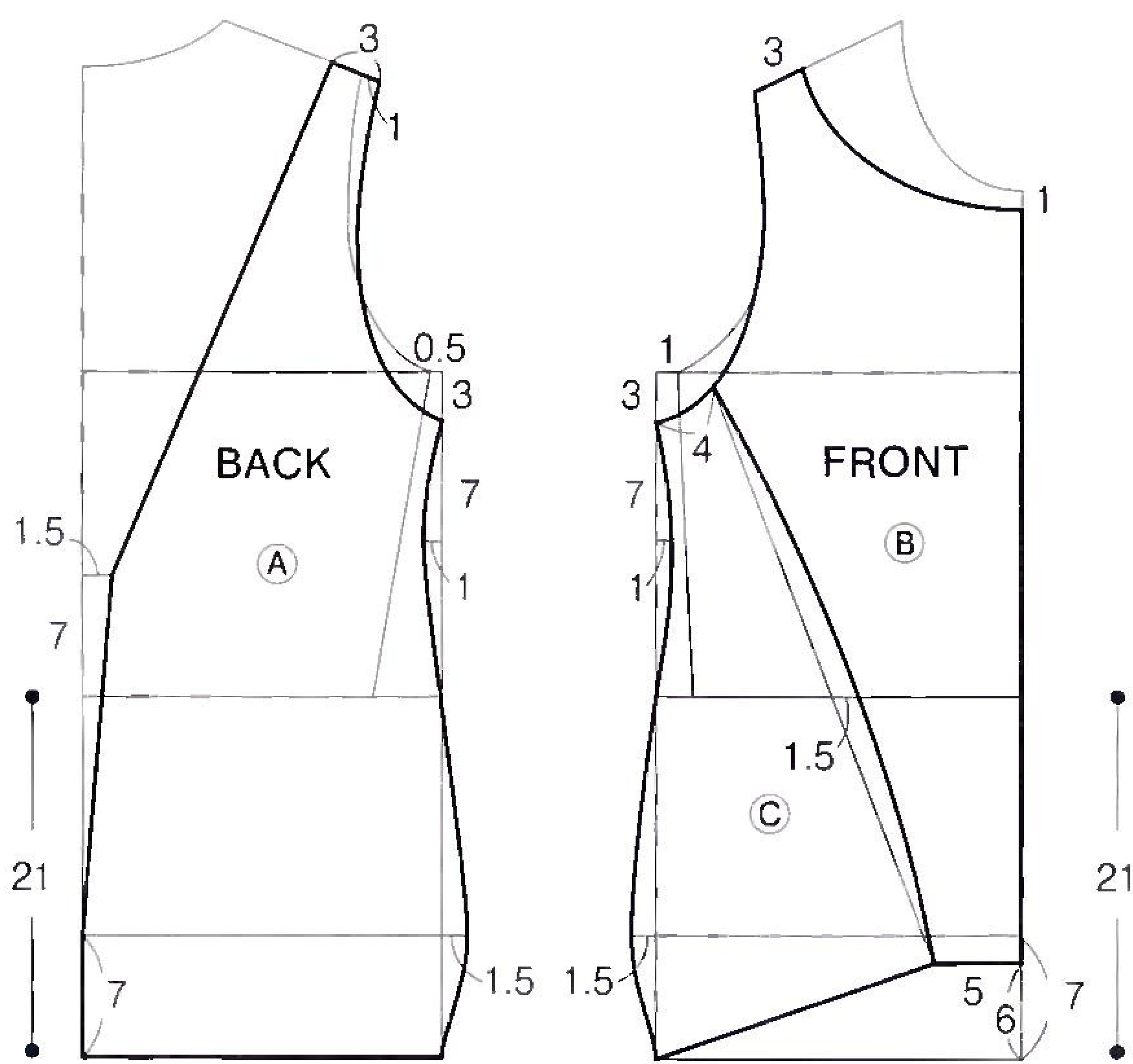
❹ 衿、袖、裾の作図をする。

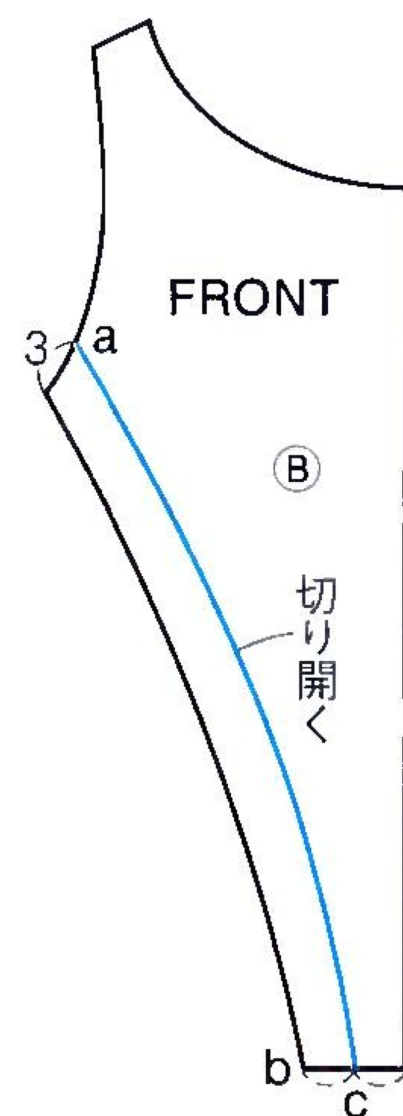
58ページ"抜け穴A"

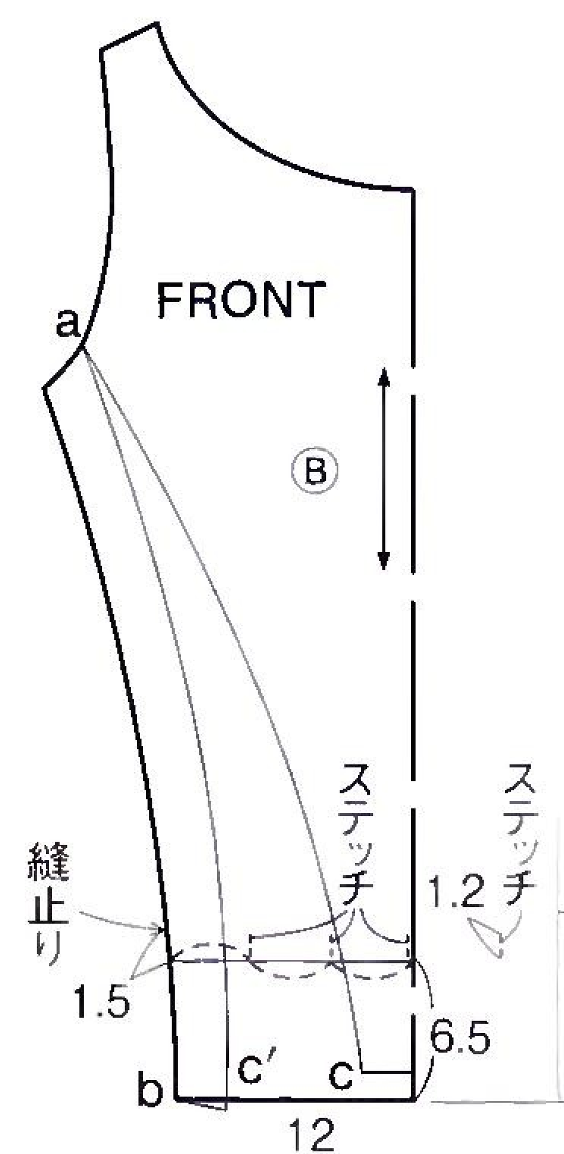
伸縮素材なら、狭い抜け穴も広げて
布は自由自在に通すことができる。
そして通った穴は
元に戻ろうと通せんぼして固定してくれる。
切替え線をうまく使って、
抜け穴、通り抜ける布を作ってみた。







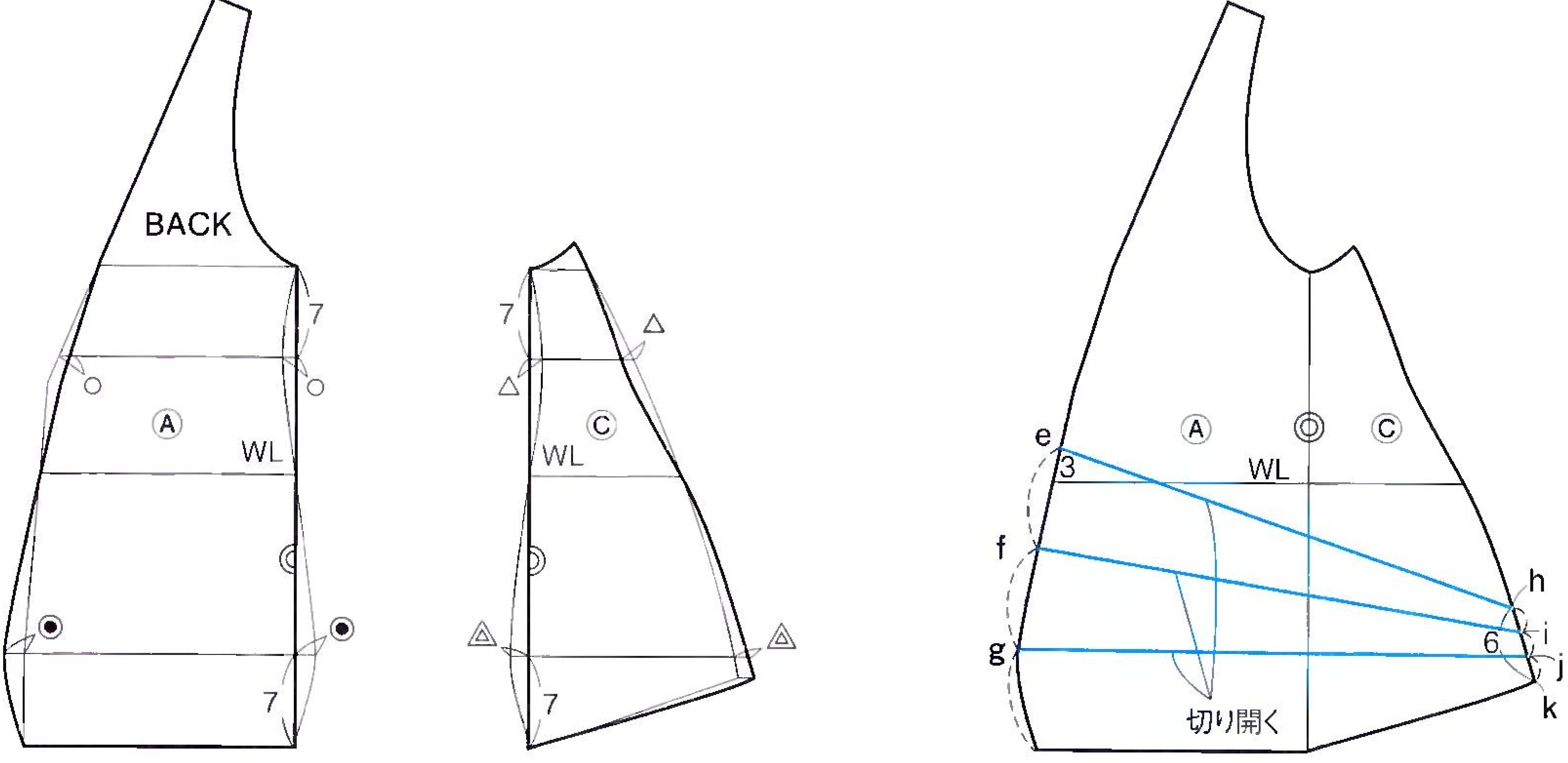




❶ 前後スローパーのウエストから上を写す。前後身頃の作図をし、ⒶⒷⒸとする。

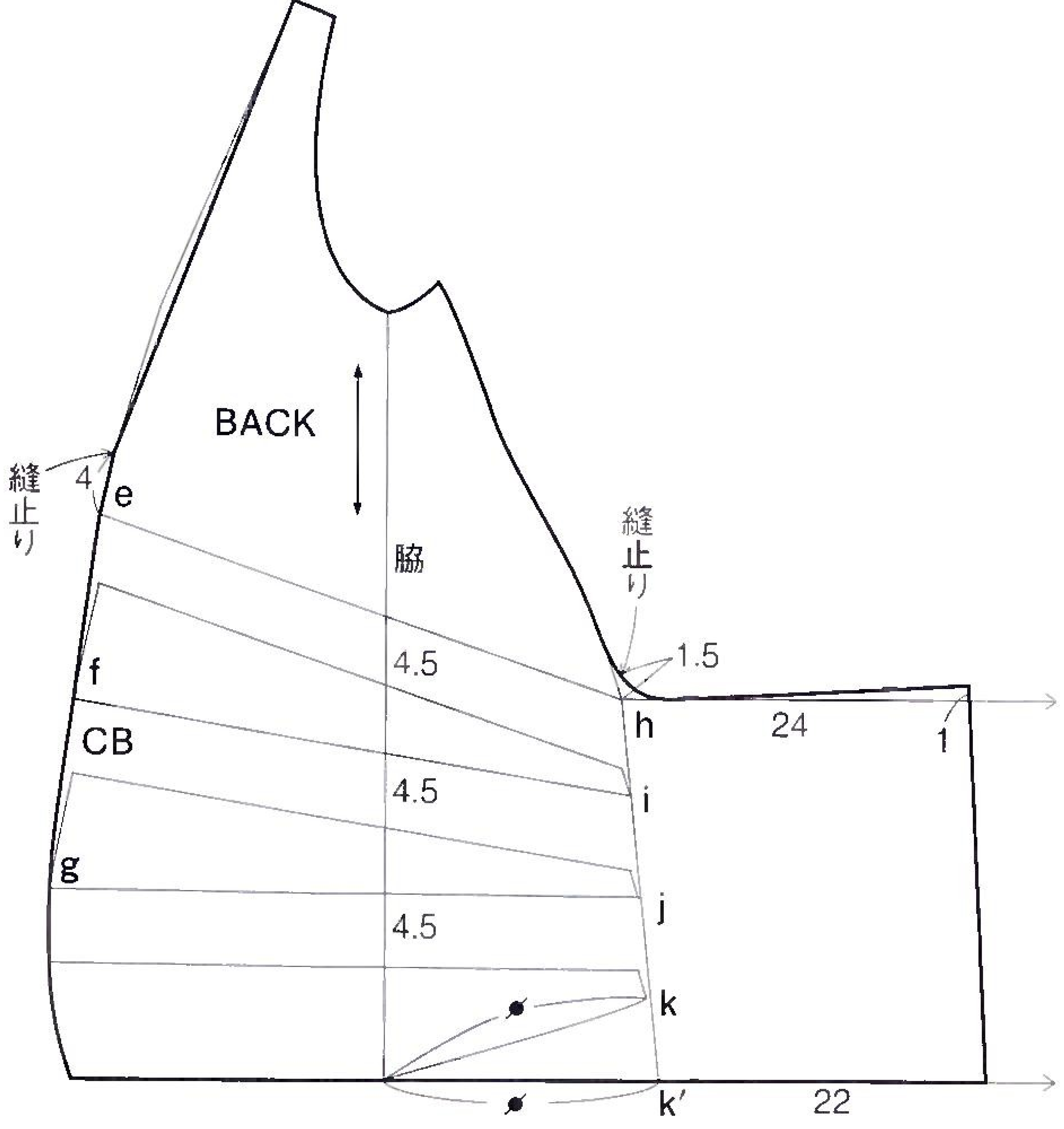
❷ Ⓑに切開き線をかく。

❸ aを基点に切り開き、縫止りをかく。抜け穴となる部分は、1本のステッチで筒にすると立体的にならないので、1.2cmの細かいステッチを穴に直角にかける。

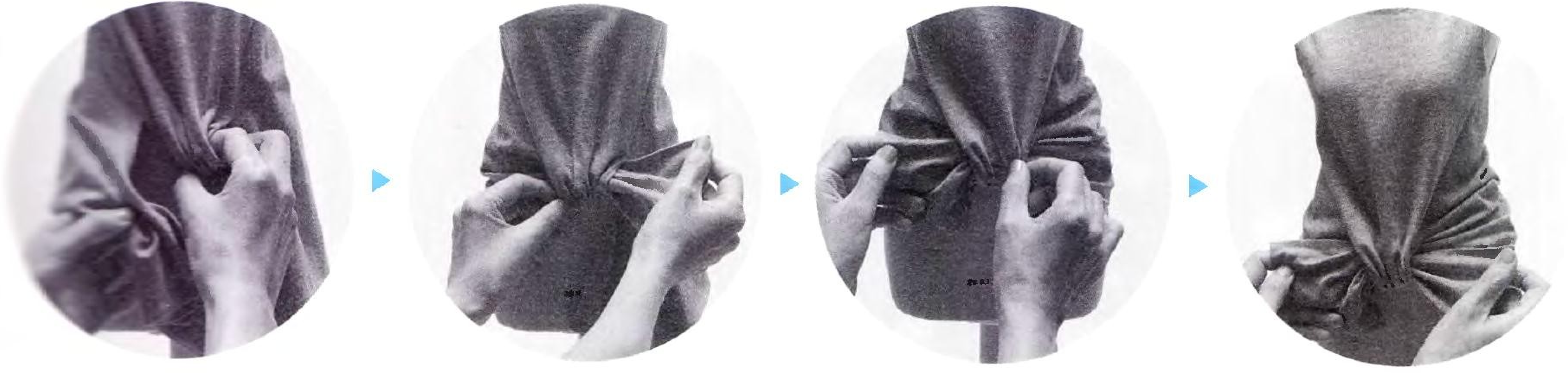


❹ 脇縫い目がないほうがドレープはきれいなので、前後の脇を突き合わせて1枚のパターンにするために、それぞれの脇の線を直線に訂正する。

❺ Ⓐ©を突き合わせる。切開き線をかく。



❻ 切開き線を平行に切り開く。抜け穴を通る布をかき、つながりよく仕上り線をかく。

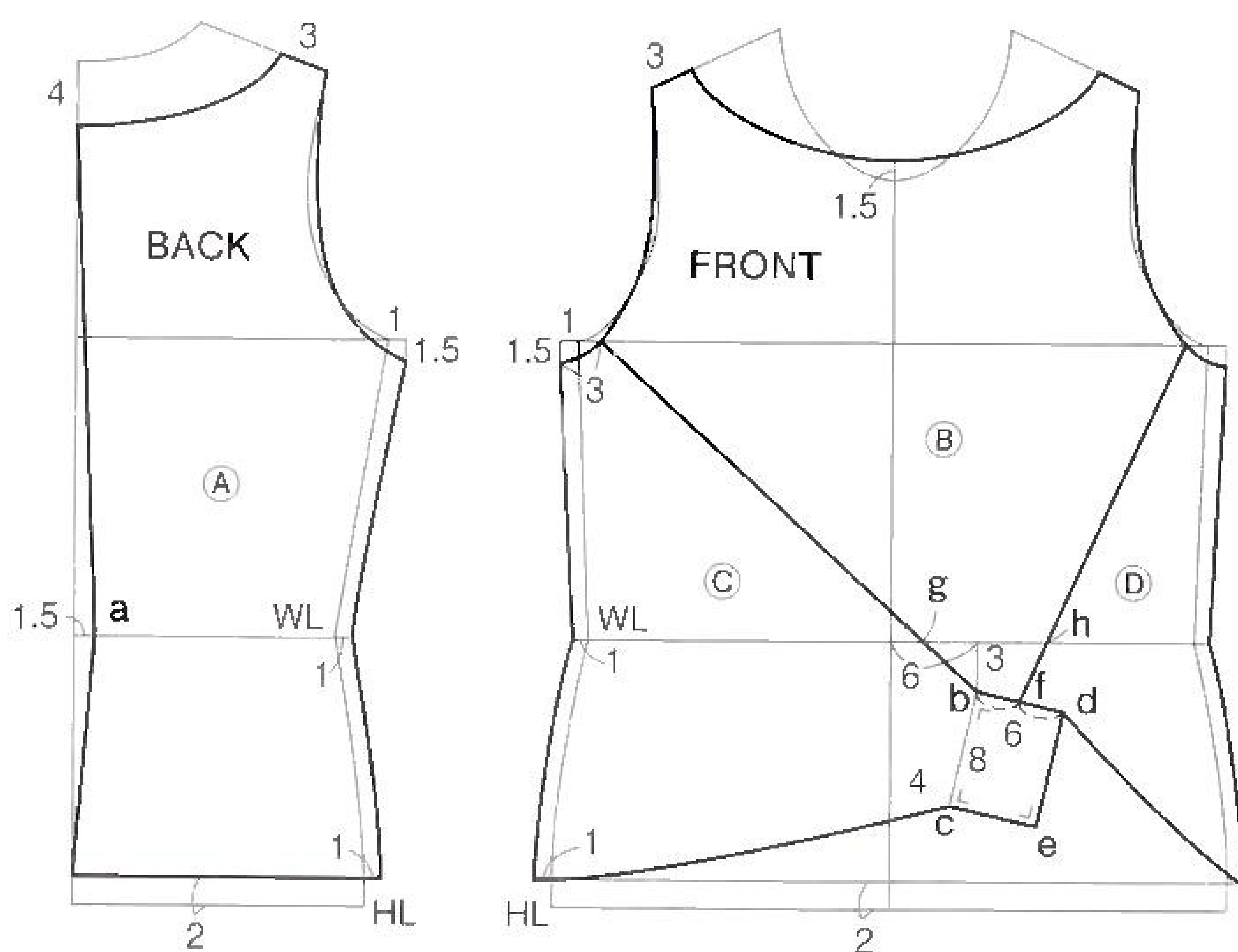


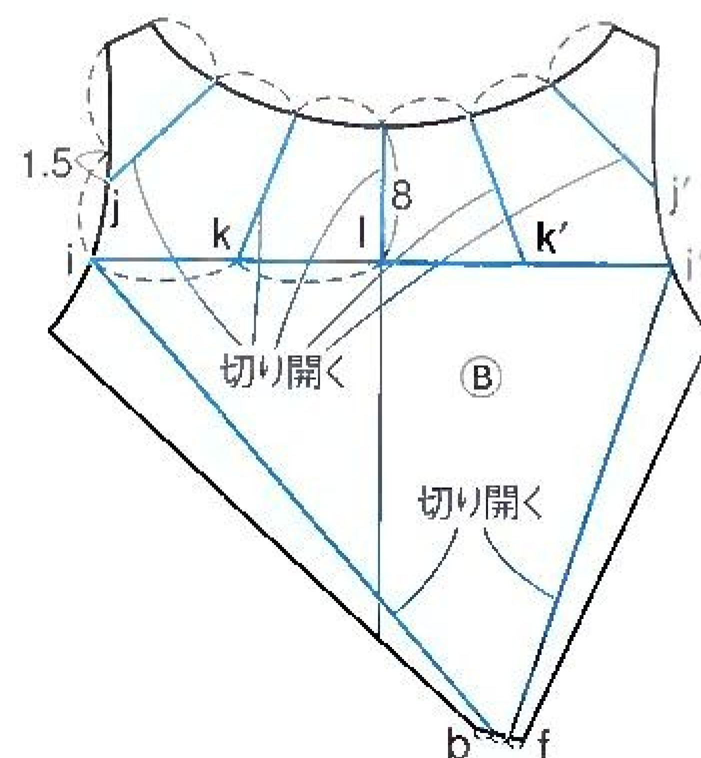
58ページ"抜け穴B"

抜け穴をアシメトリーにつけたら、モダンな感じになった。
脇の縫い目はなくして、
1枚の布で腰を包むようにデザインした。









❶ 前後スローパーのヒップラインから上をかく。後ろ身頃の作図をする。前身頃は左右かき、それぞれⒶⒷⒸⒹとする。抜け穴の作図をする。

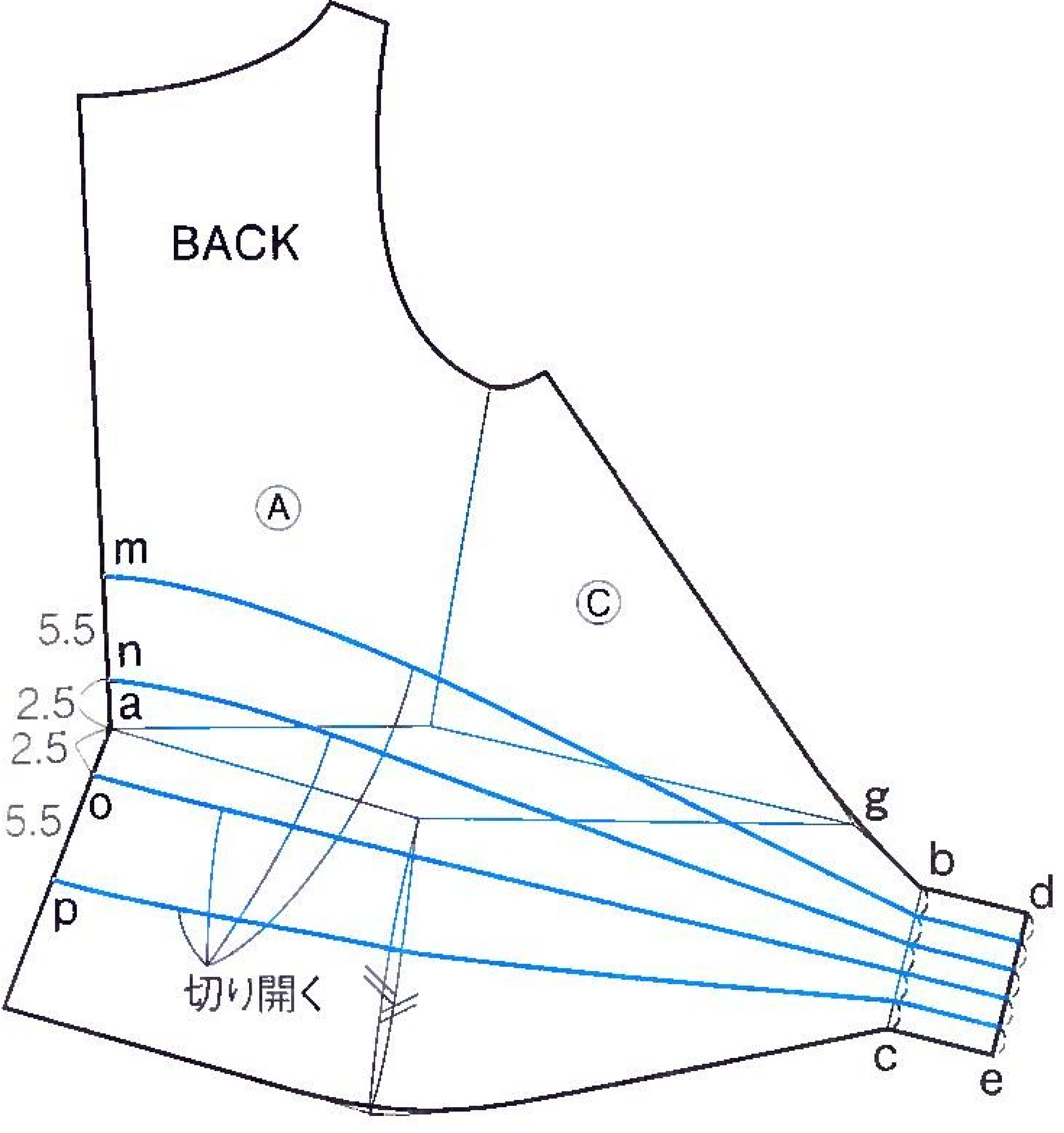
❷ Ⓑに切開き線を入れる。



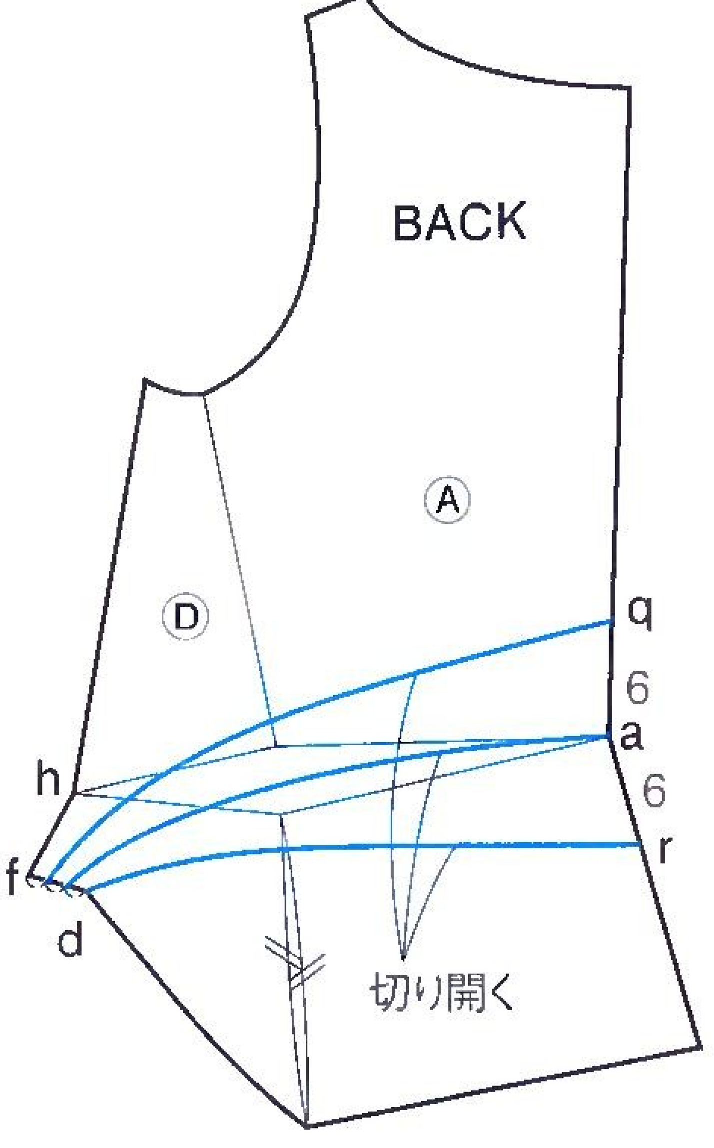




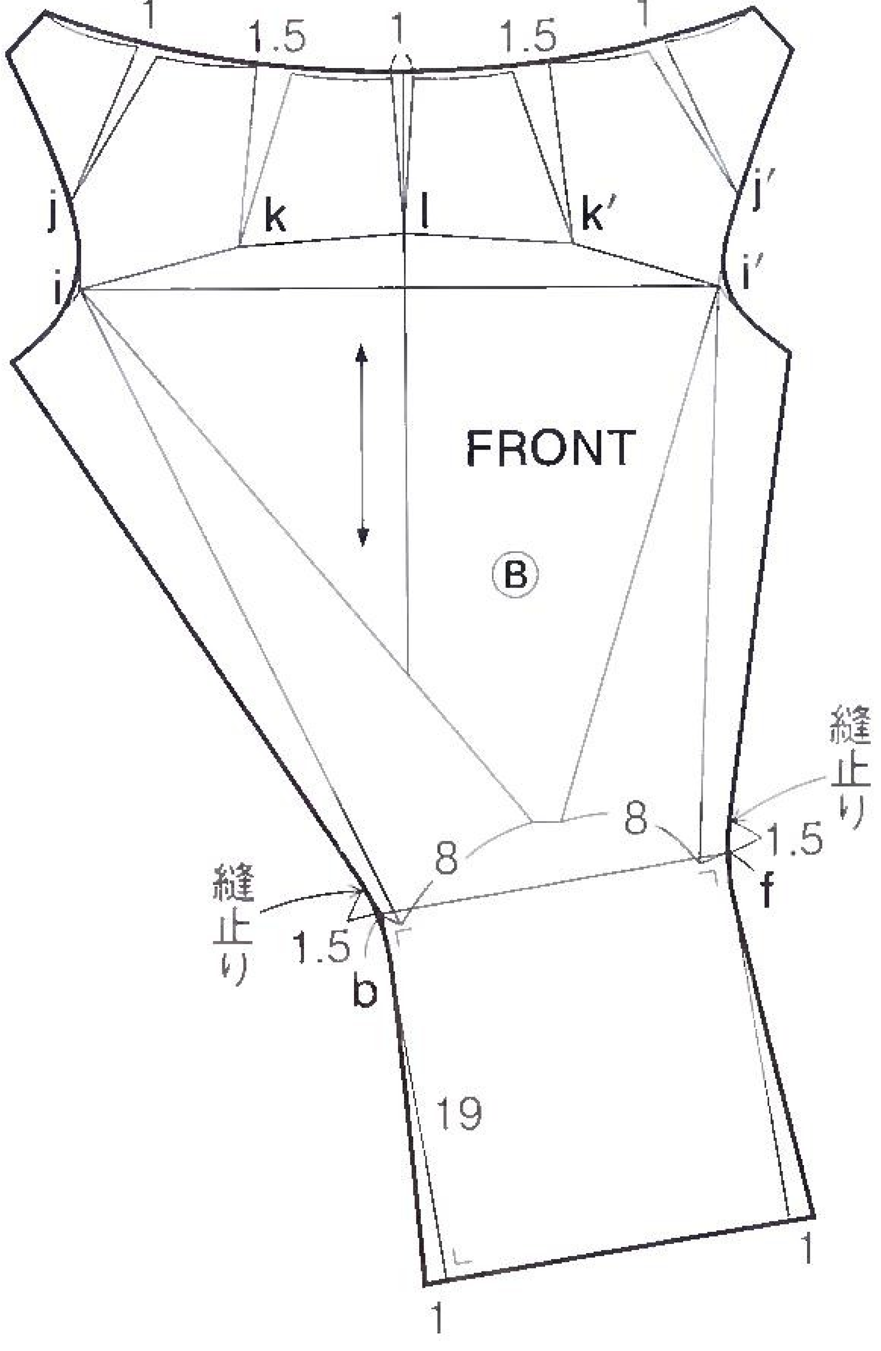




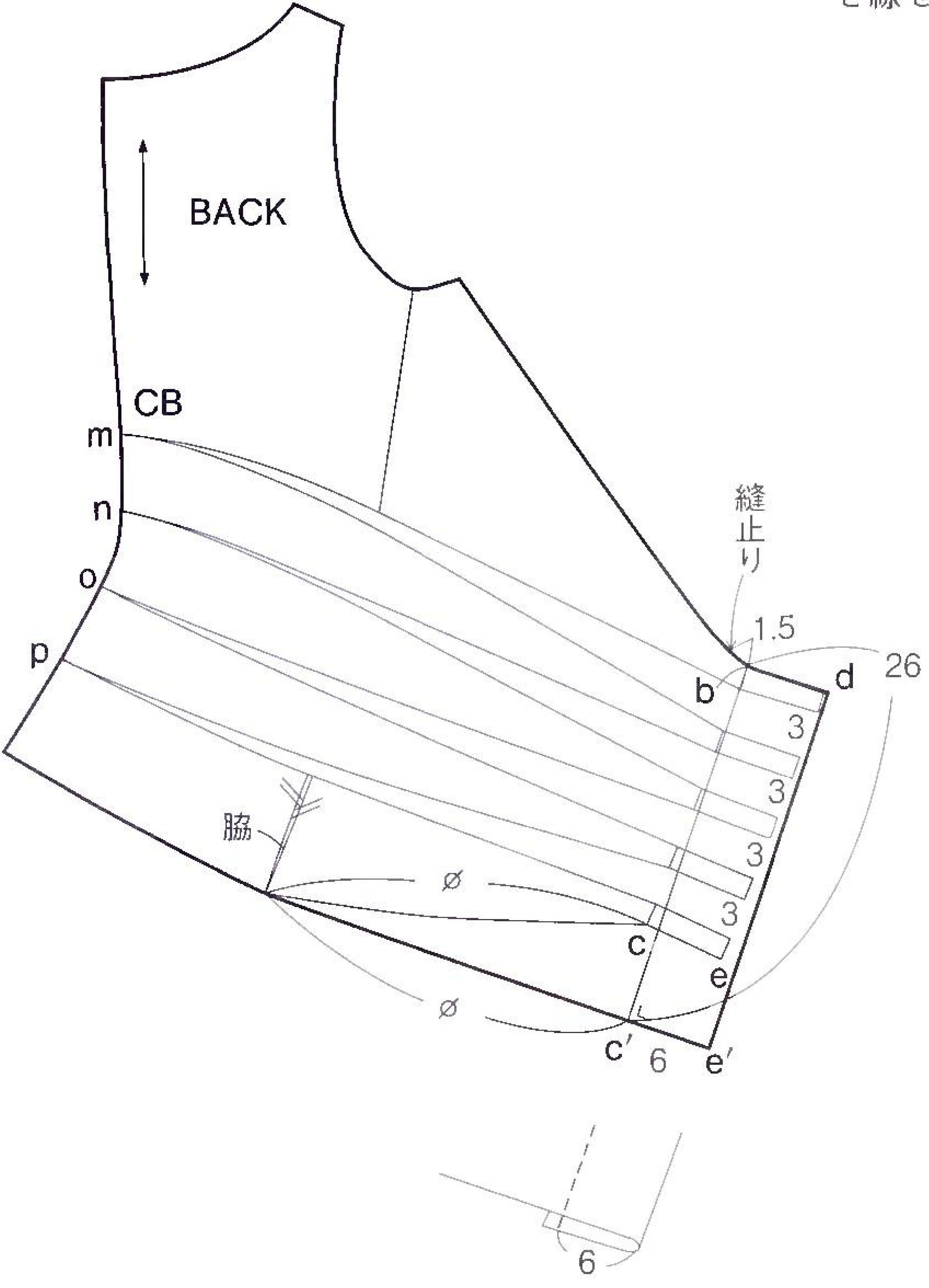
❸ 右身頃の作図をする。ウエストラインで切り離し、脇を合わせる。aとgで上下の身頃を合わせる。切開き線をかく。



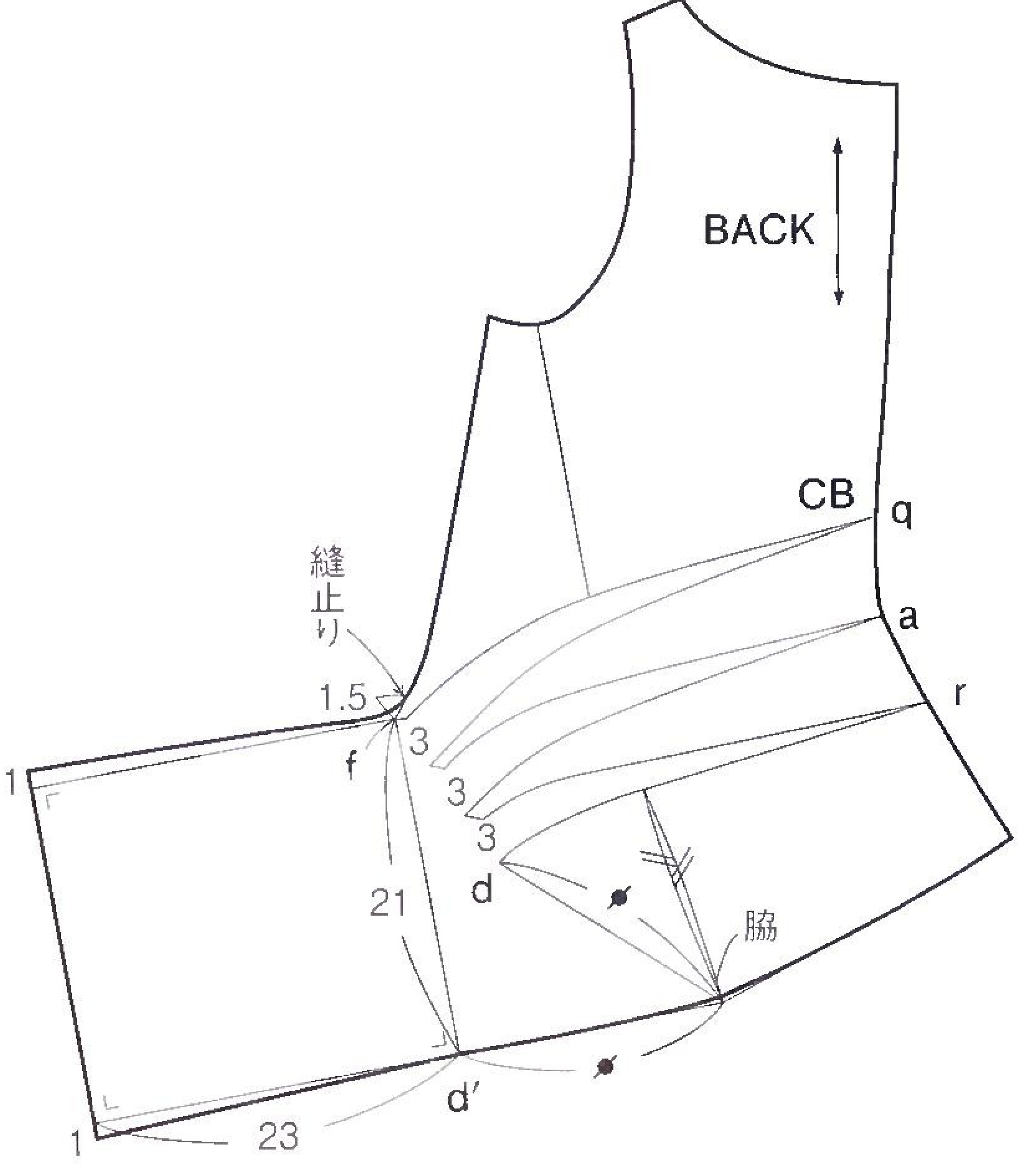
❹ Ⓐを反転し、左身頃の作図をする。ウエストラインで切り離し、脇を合わせる。aとhで上下の身頃を合わせる。切開き線をかく。



❺ Ⓑを切り開く。抜け穴を通る布をかき、つながりよく仕上げる。



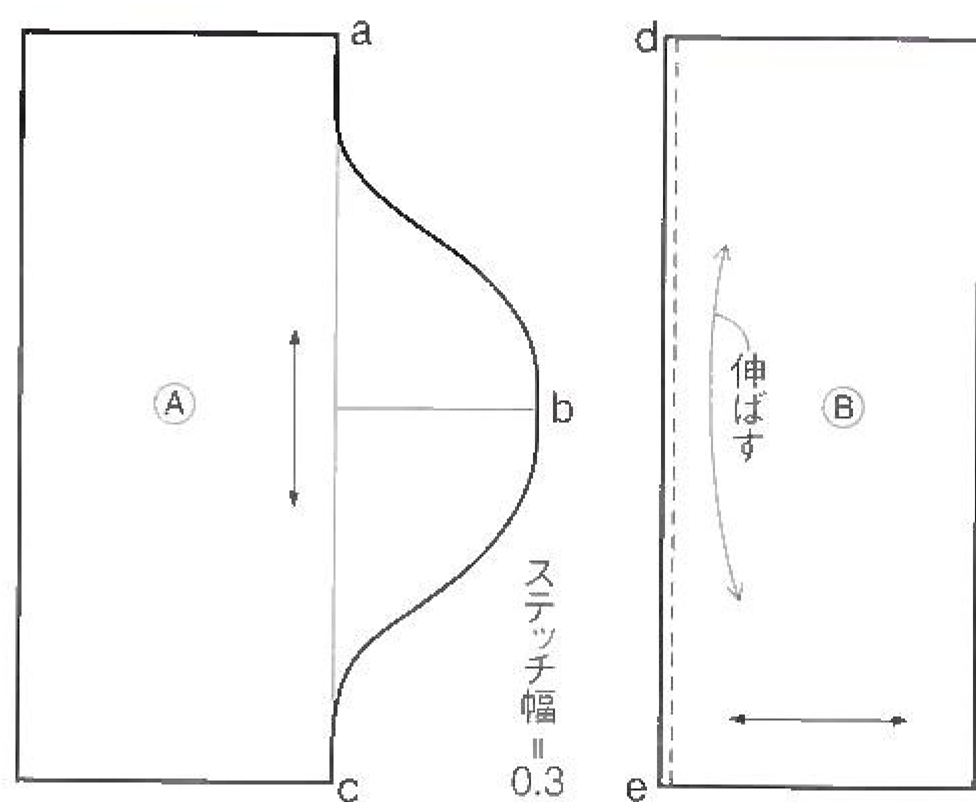
❻ 右身頃を切り開く。縫止りをかく。ステッチをかけて抜け穴を作る。



❼ 左身頃を切り開く。抜け穴を通る布の作図をし、つながりよく仕上り線をかく。

直線と曲線

伸縮素材で直線と曲線を縫い合わせると
布に生命が吹き込まれたようで、今にも動きそう。
足して2で割るような、予測できるものとは違う
不思議な立体ができる。

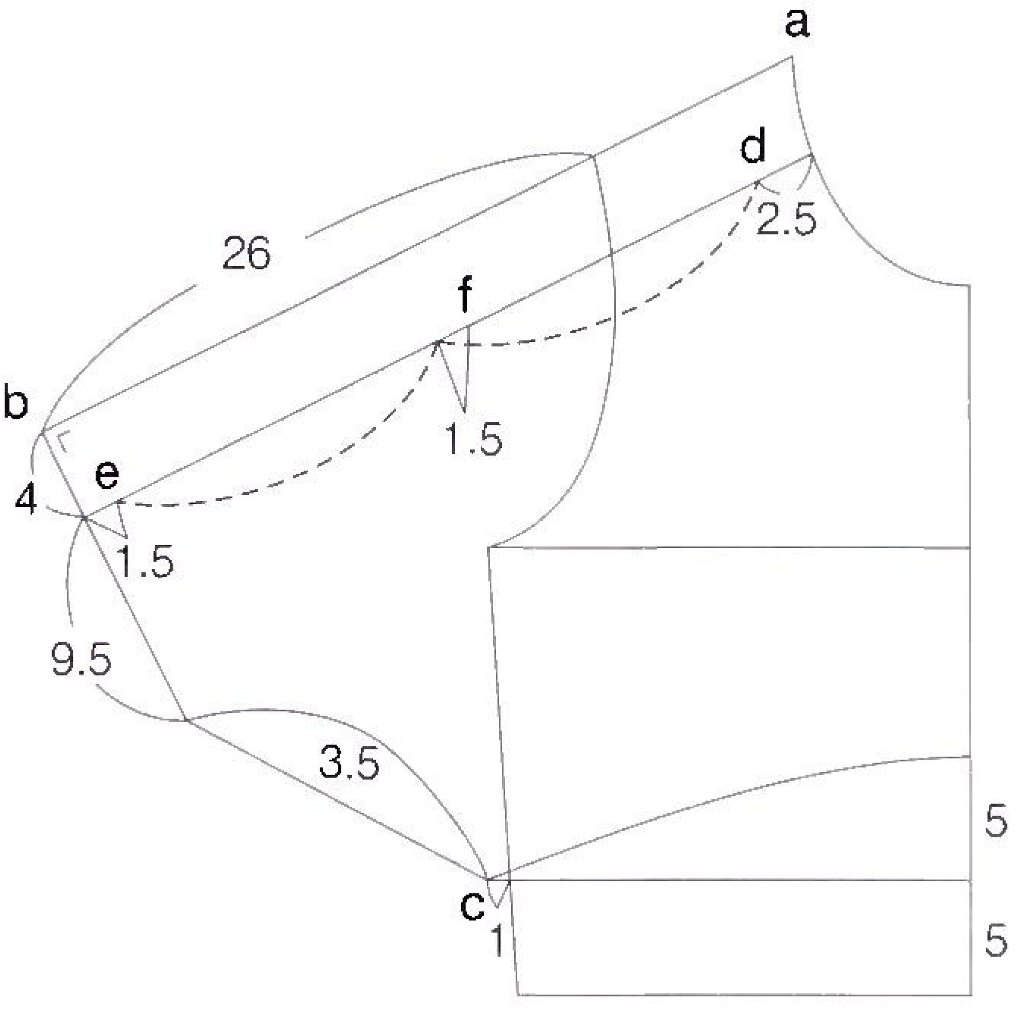


曲線をⒶとし、a、b、cをかく。直線をⒷとしd、eをかく。a～b～cの寸法になるまでd～eを伸ばして縫い合わせる。このときⒷを下にしたほうが縫いやすい。
縫い代はⒷ側に片返す。Ⓑを上にしてステッチをかける。ステッチをかけることで、伸ばして縫った状態をキープすることができる。

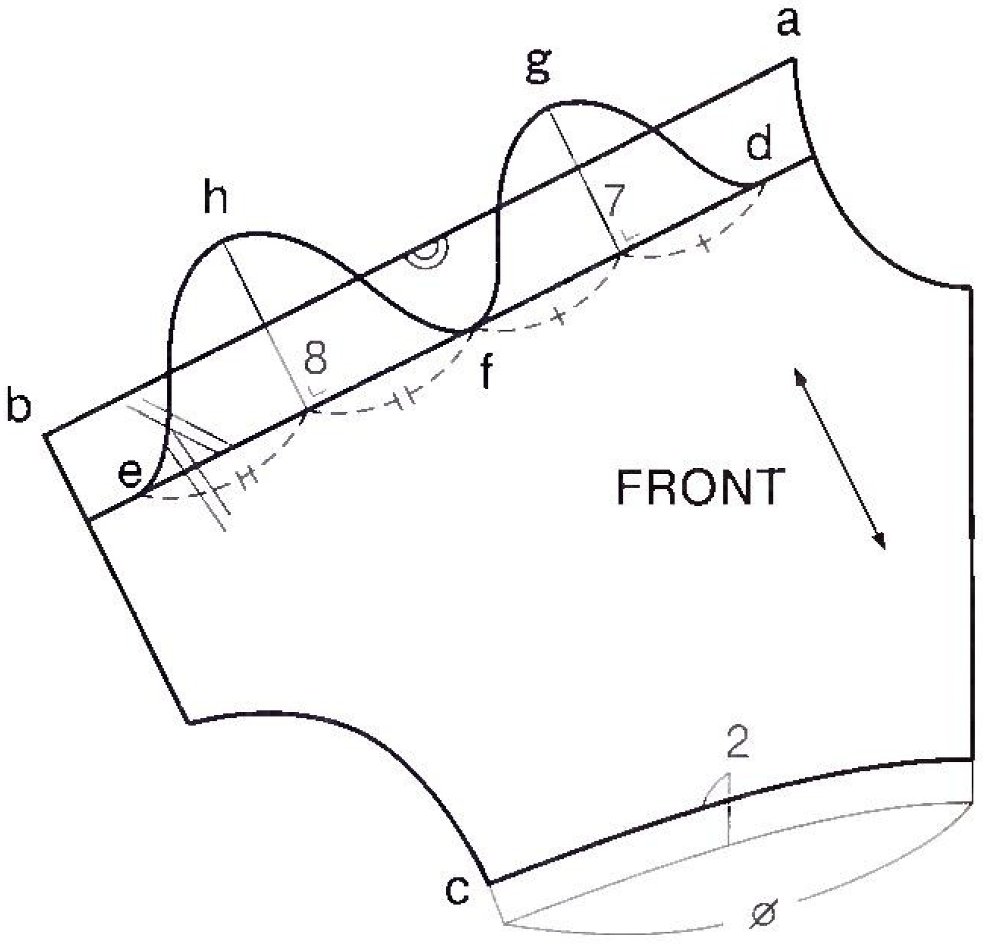
60ページ"直線と曲線A"

らくだの背中のこぶのような、大きなカーブを袖につけた。
袖が印象的に見えるように、身頃は小さくまとめた。

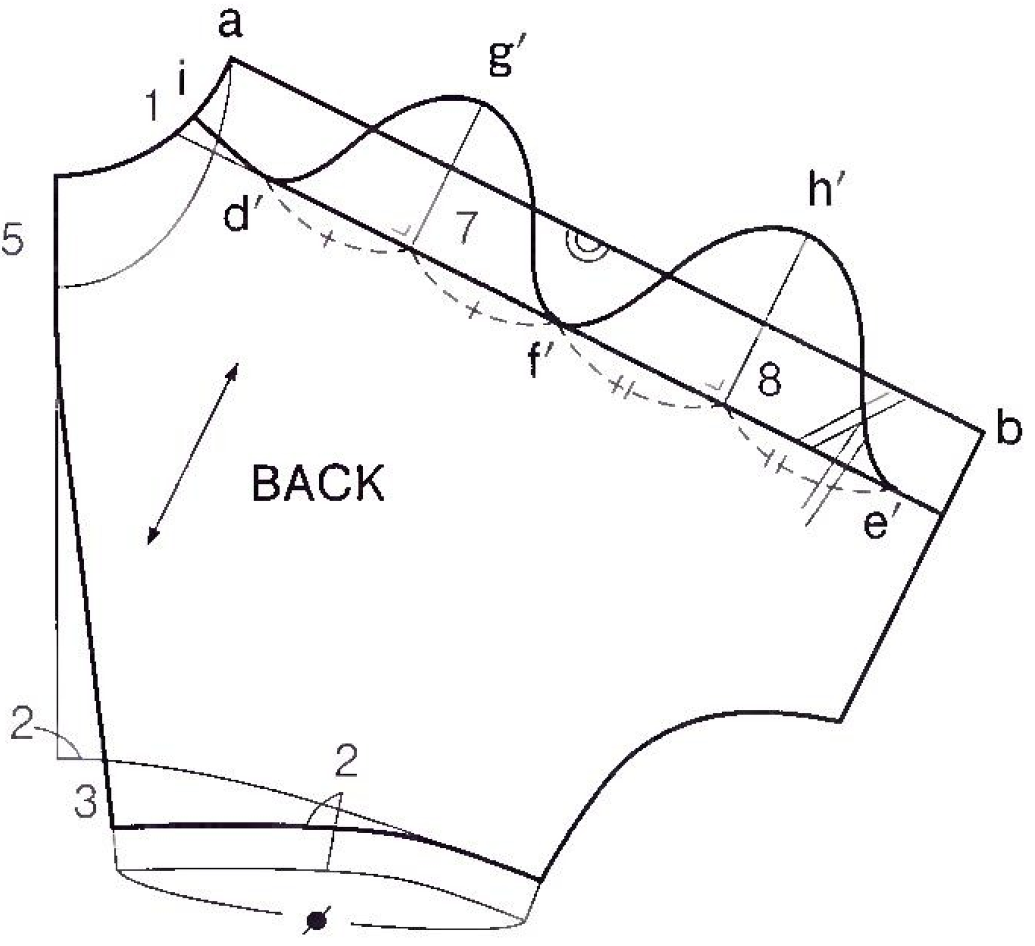




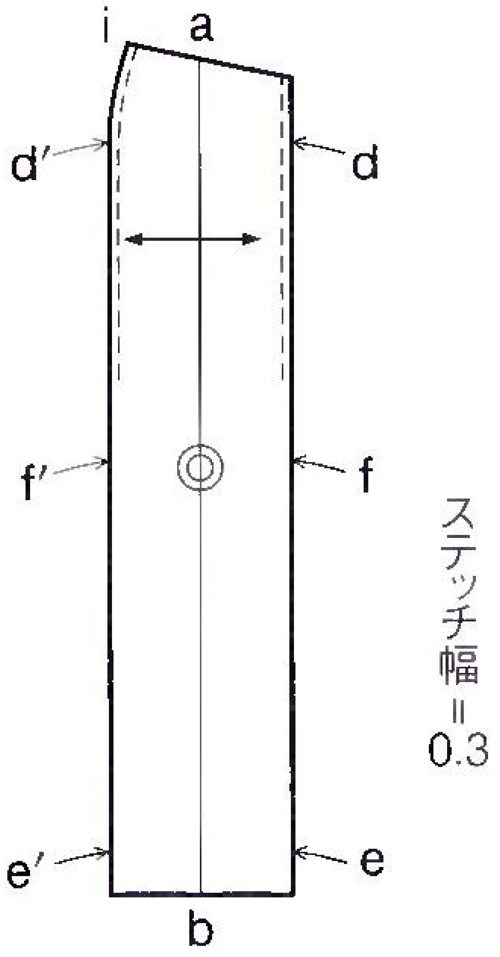
❶ 前スローパーのウエストから上をかく。前身頃の作図をする。



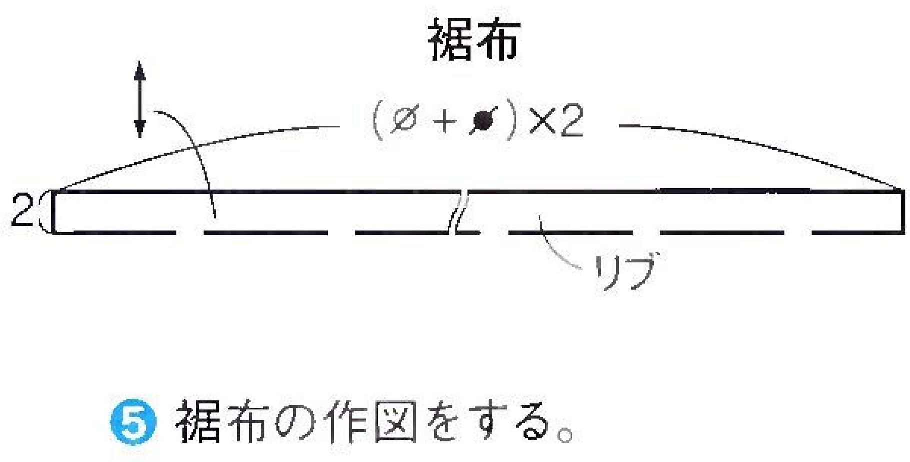
❷ 肩の切替え線上に直線と曲線をかき、裾布をかく。



❸ ❶を反転して、後ろ身頃の作図をする。肩の切替え線上に直線と曲線をかき、裾布をかく。



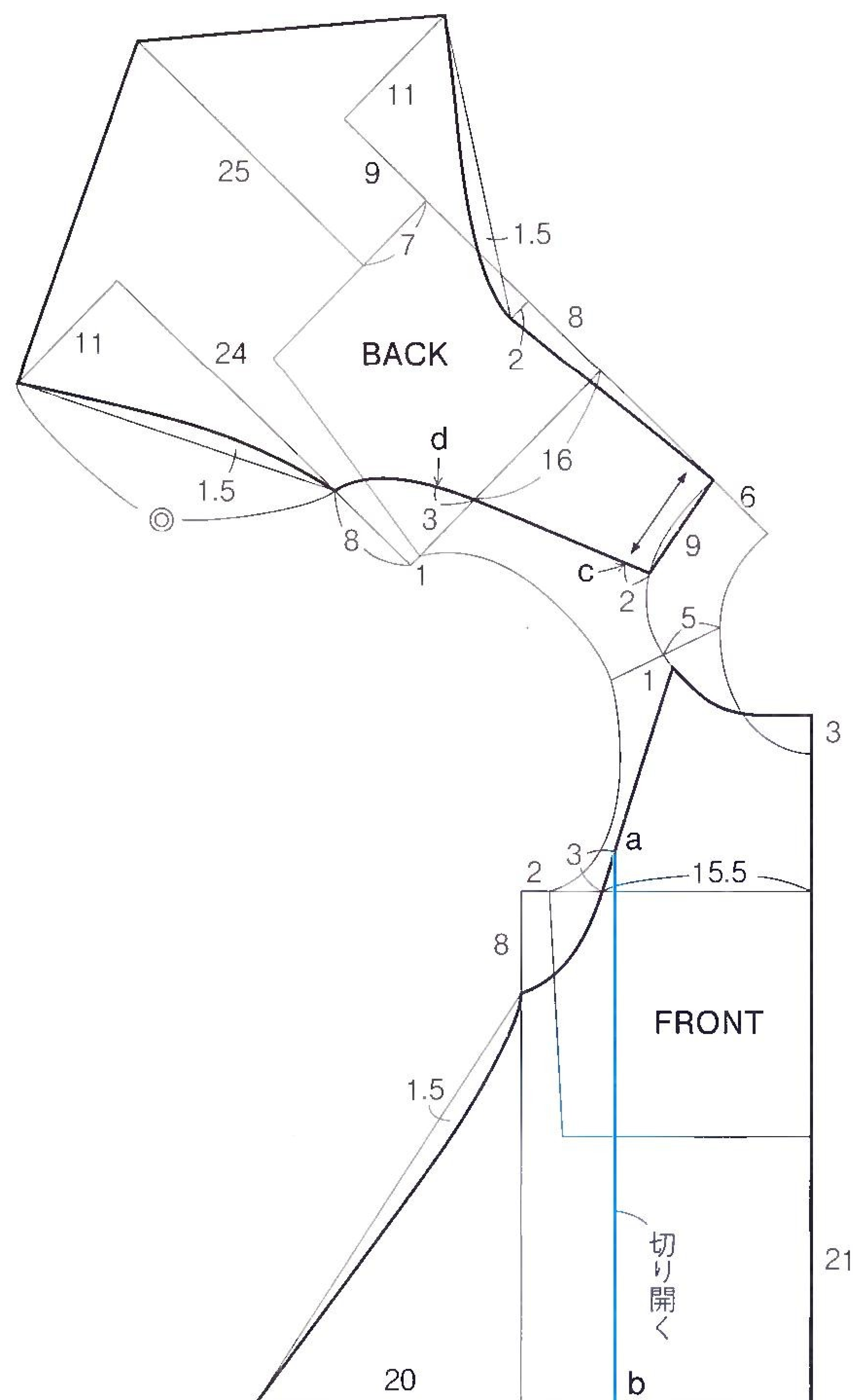
❹ 前後の肩を突き合わせる。



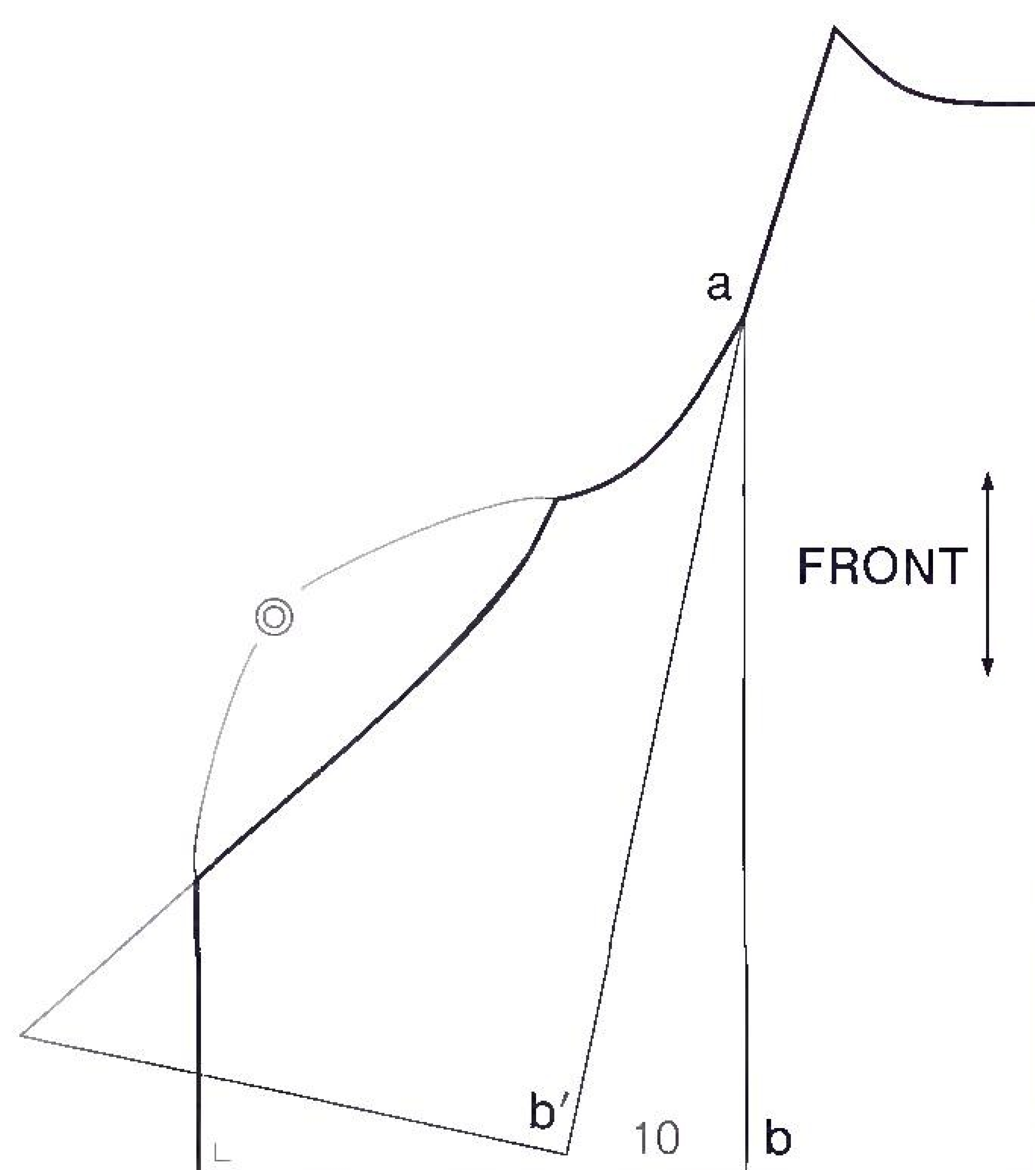
❺ 裾布の作図をする。

61ページ"直線と曲線B"

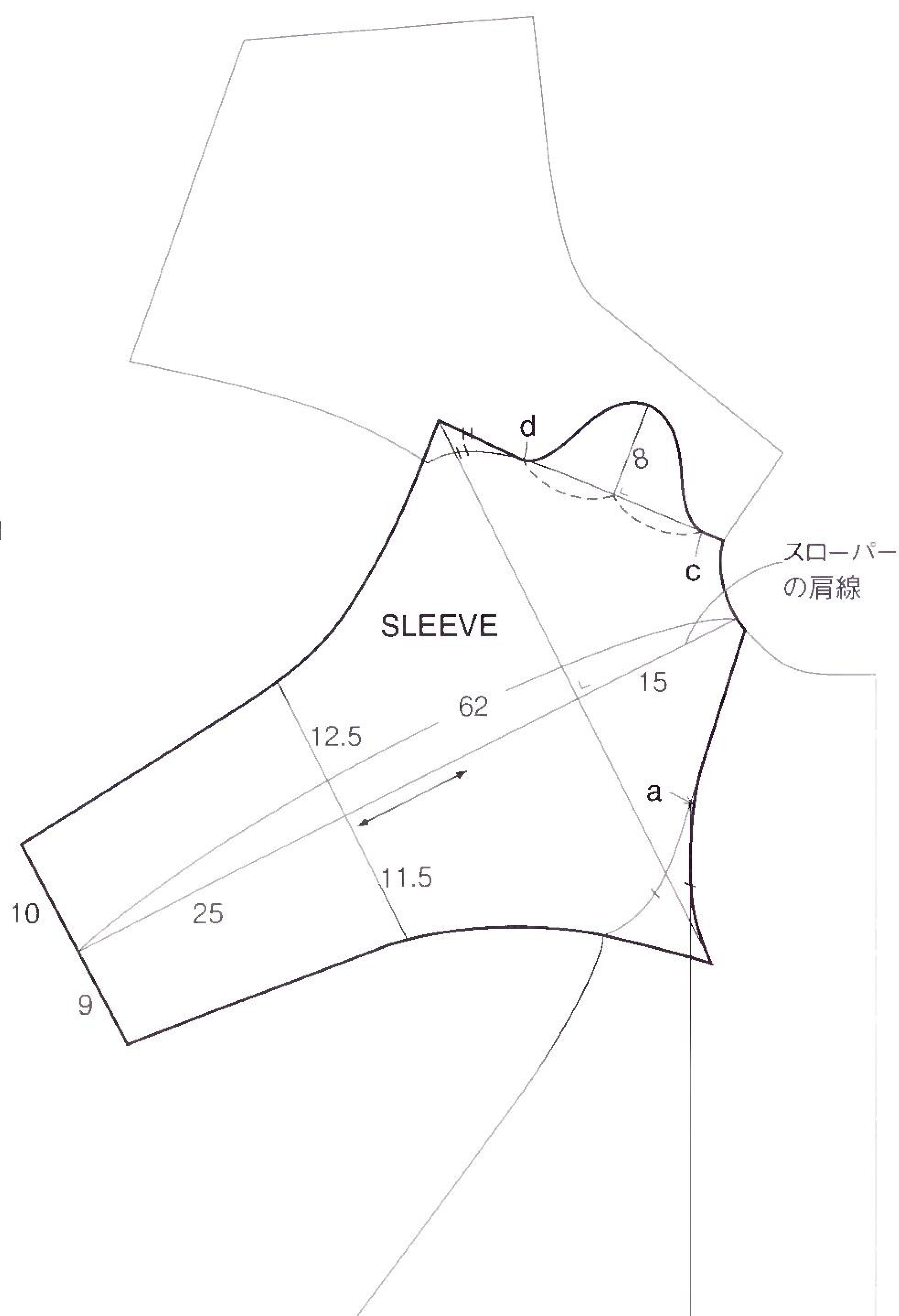
"直線と曲線"を肩甲骨のところに入れたら、
天使の羽が生えたような背中美人の服になった。



❶ 前後スローパーを肩で合わせてかく。前後身頃の作図をする。前身頃に切開き線を入れる。



❷ 前身頃を切り開く。仕上り線をつながりよくかく。

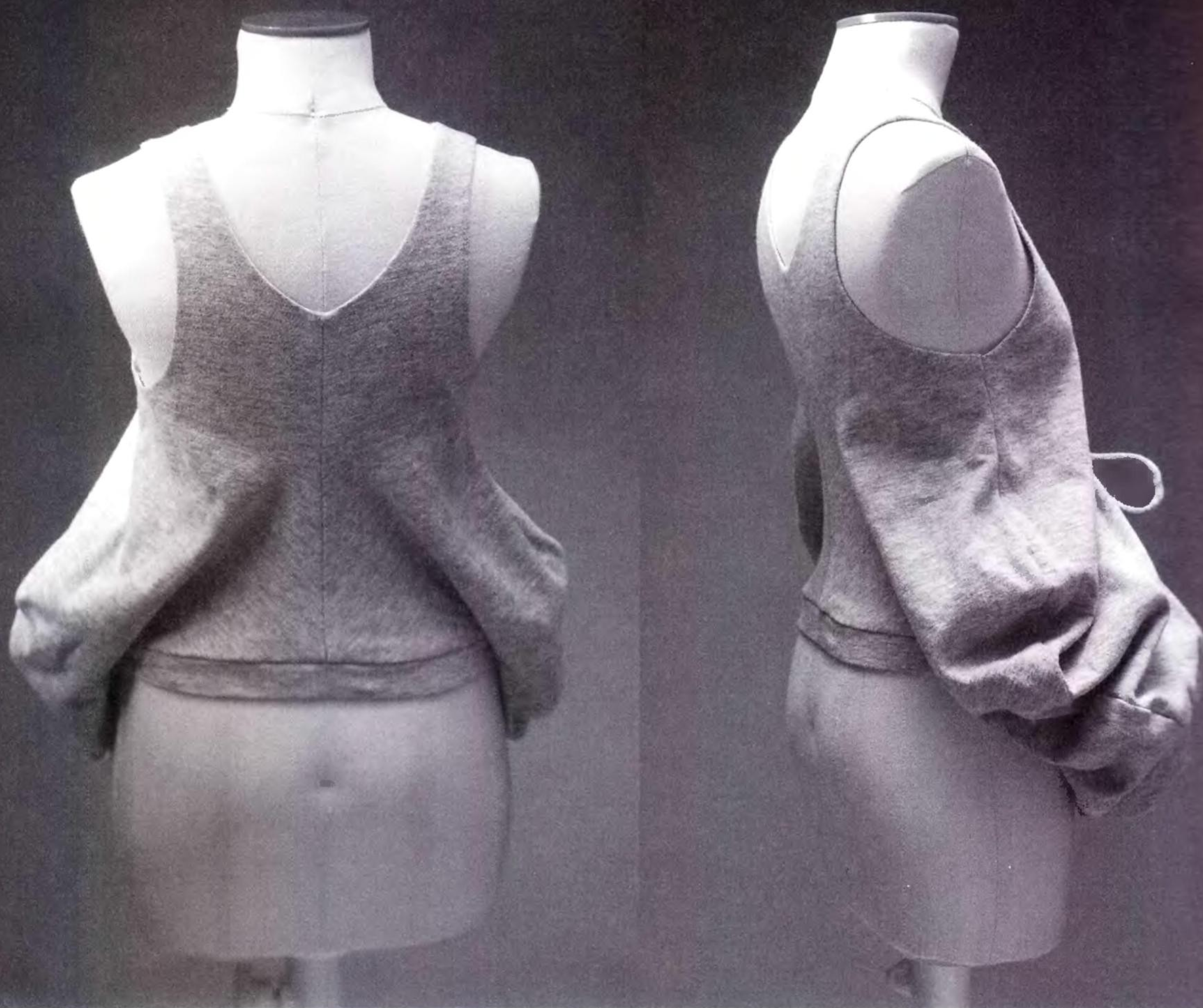


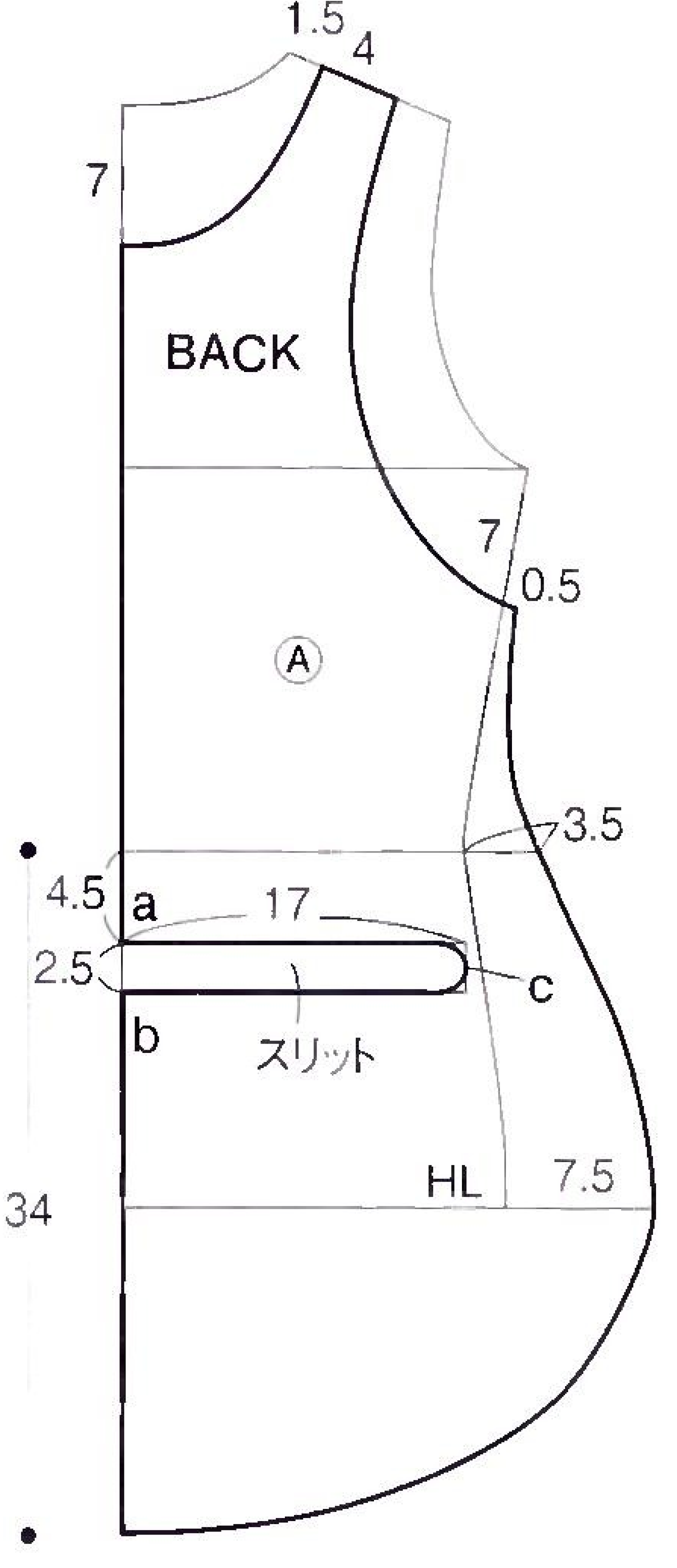
❸ ❶の作図の上に袖の作図をする。後ろのラグラン線に曲線をかく。仕上り線をつながりよくかく。



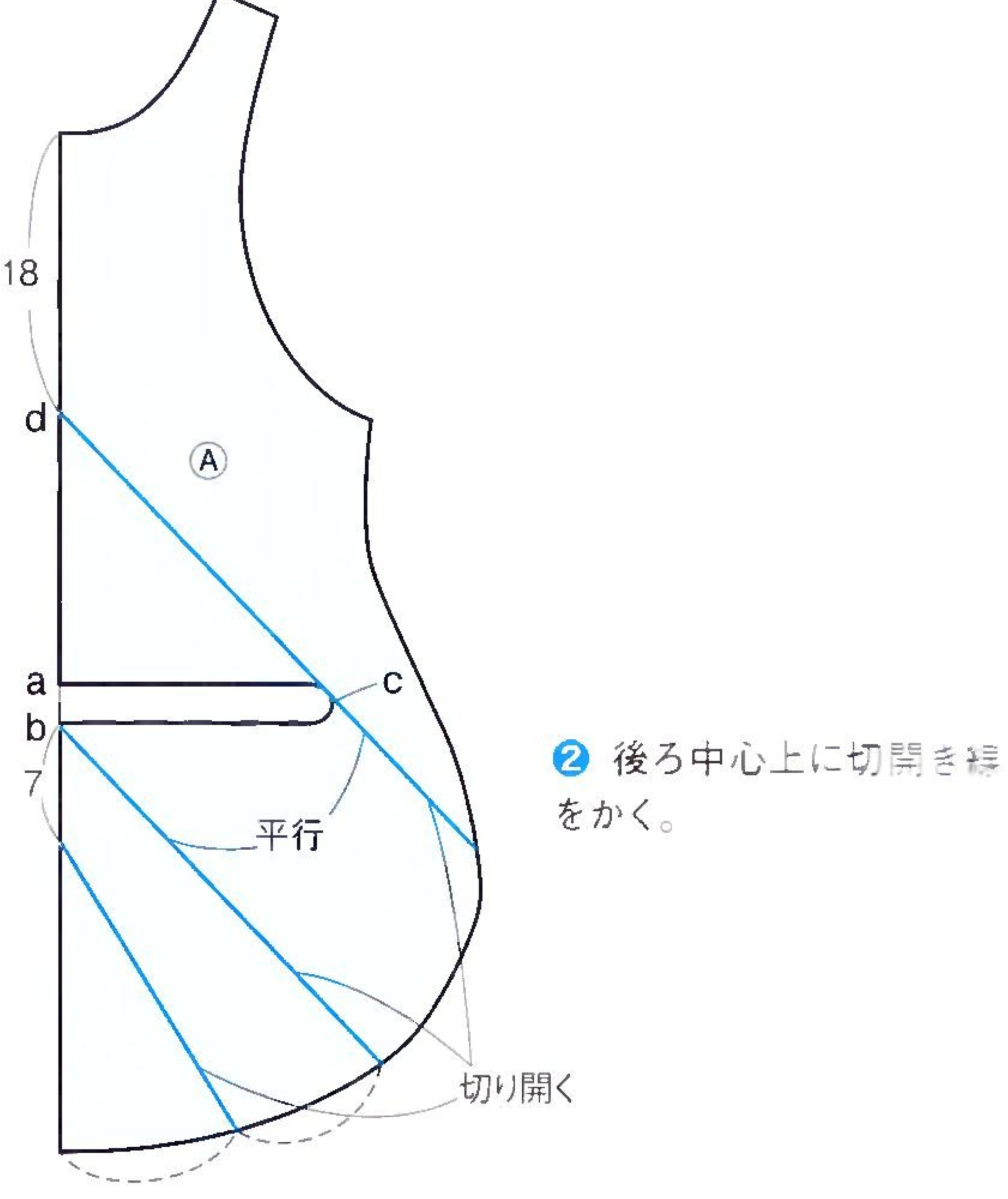
62ページ"カンガルー"

カンガルーみたいな、大きなまあるい袋がついているトップス。
前中心についているひもを縮めると、袋がもっとまあるく膨らんでくる。
後ろのスリットから、くぐり抜けるようにして頭を出す。

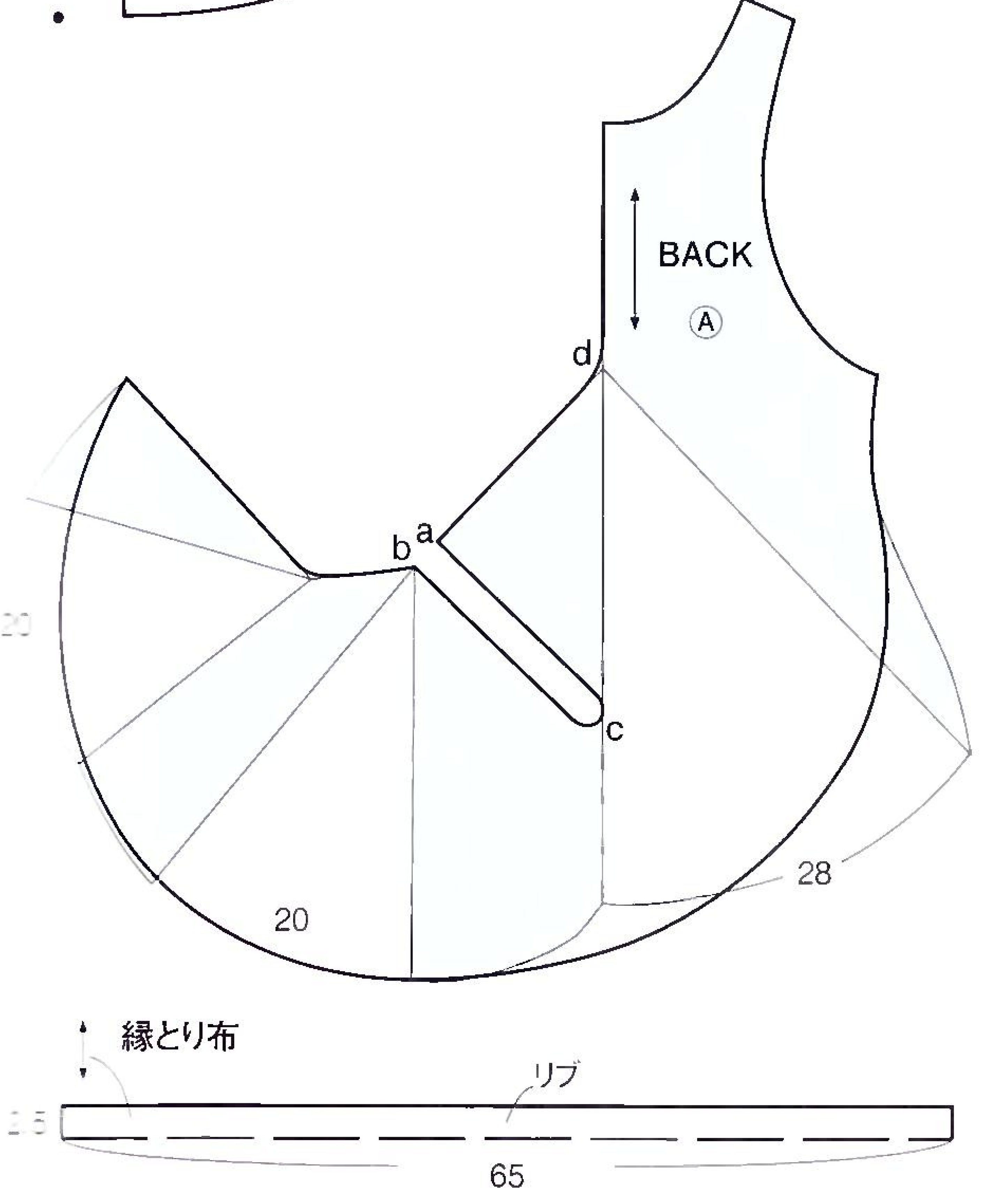




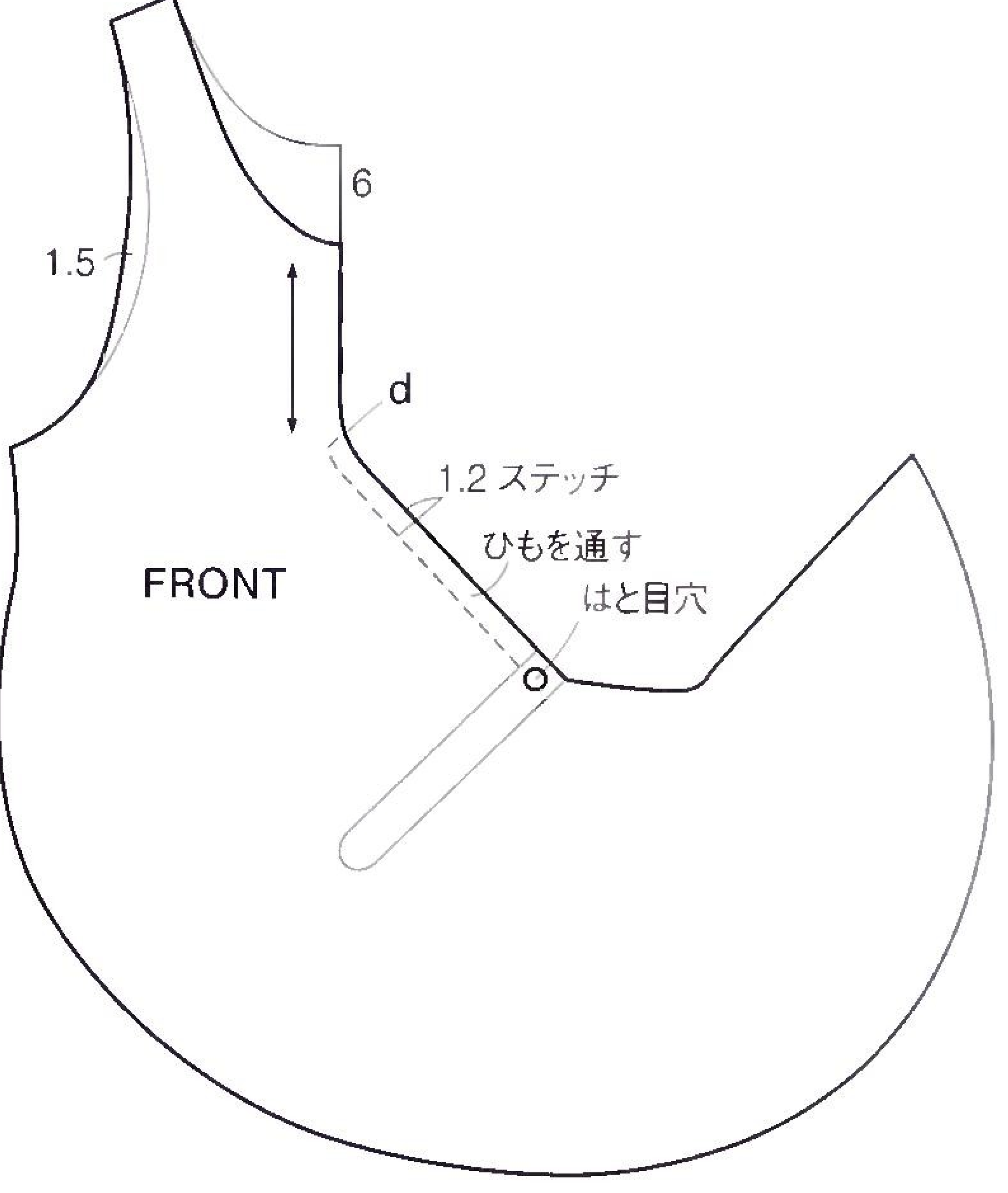
❶ 後ろスローパーのヒップラインから上をかく。後ろ身頃の作図をする。後ろにスリットをかく。



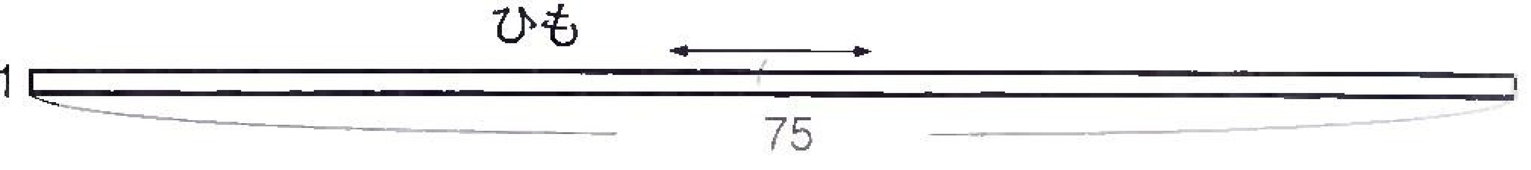
❷ 後ろ中心上に切開き線をかく。



❸ 後ろ身頃の切開き線を切り開き、仕上り線をつながりよくかく。縁とり布の作図をする。縁とり布はa～c～bにつける。

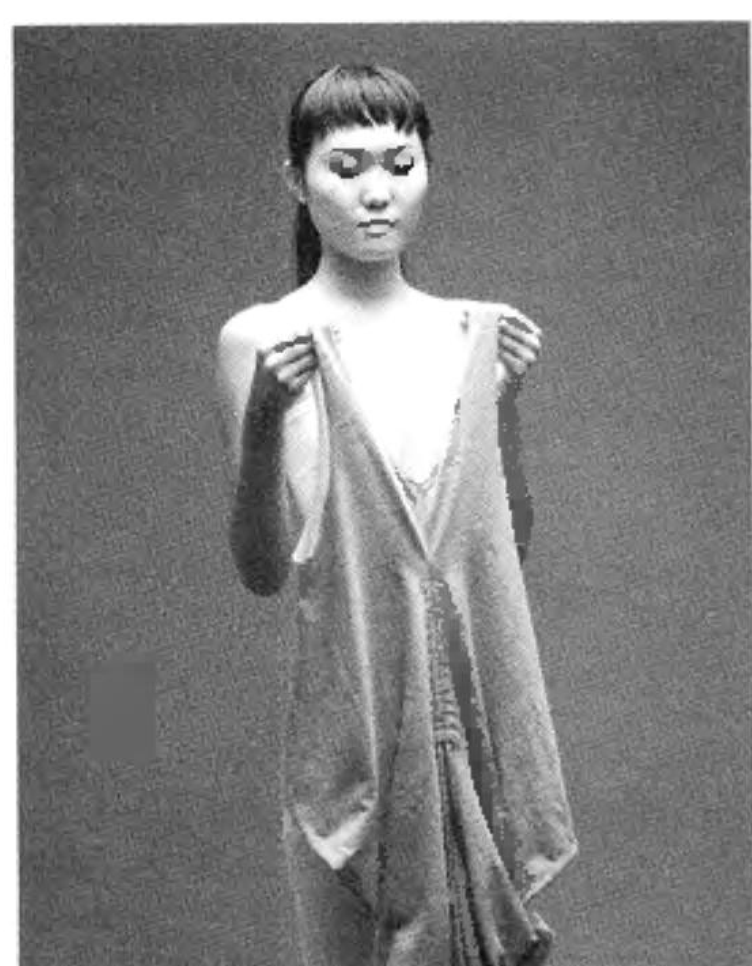


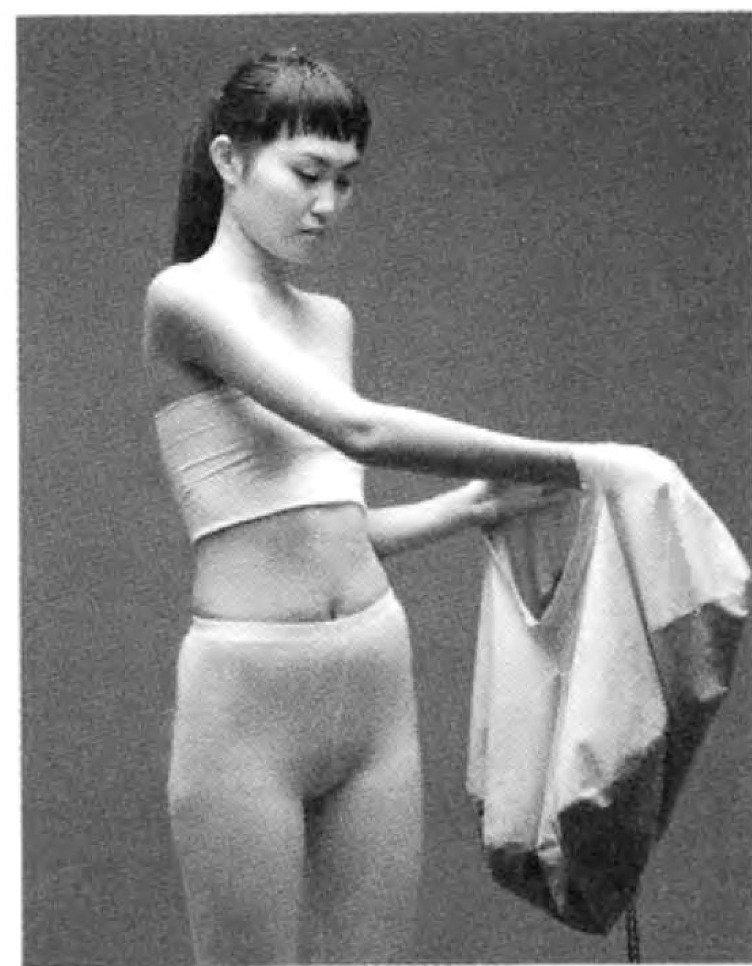
❹ 後ろ身頃を反転して、前身頃の作図をする。ひもを通すためのステッチ線をかき、仕上り線をつながりよくかく。



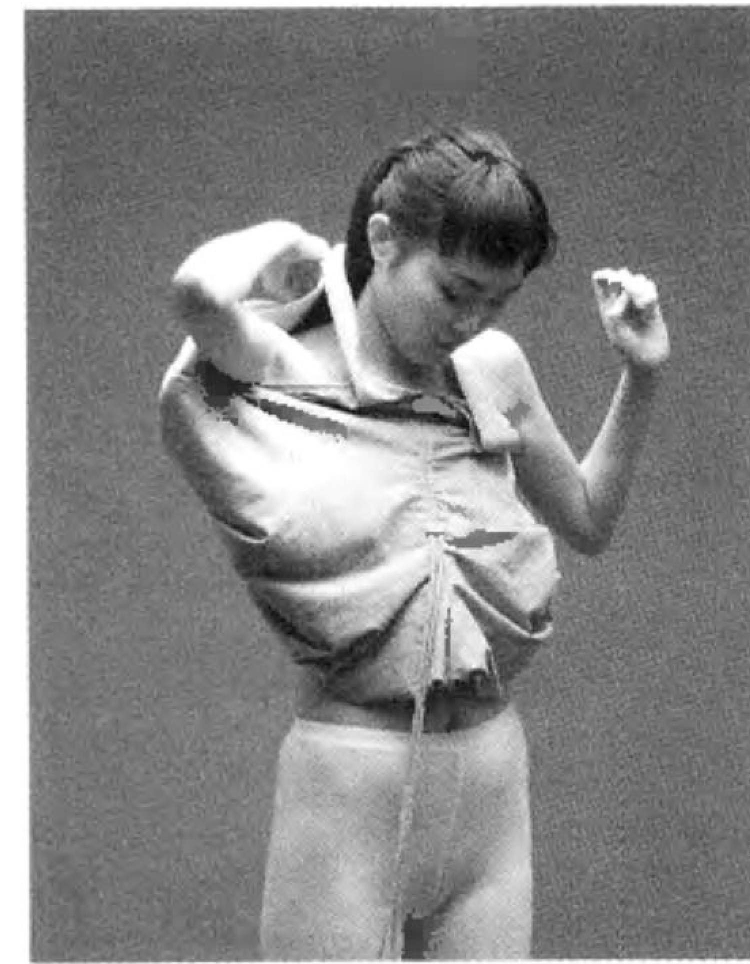
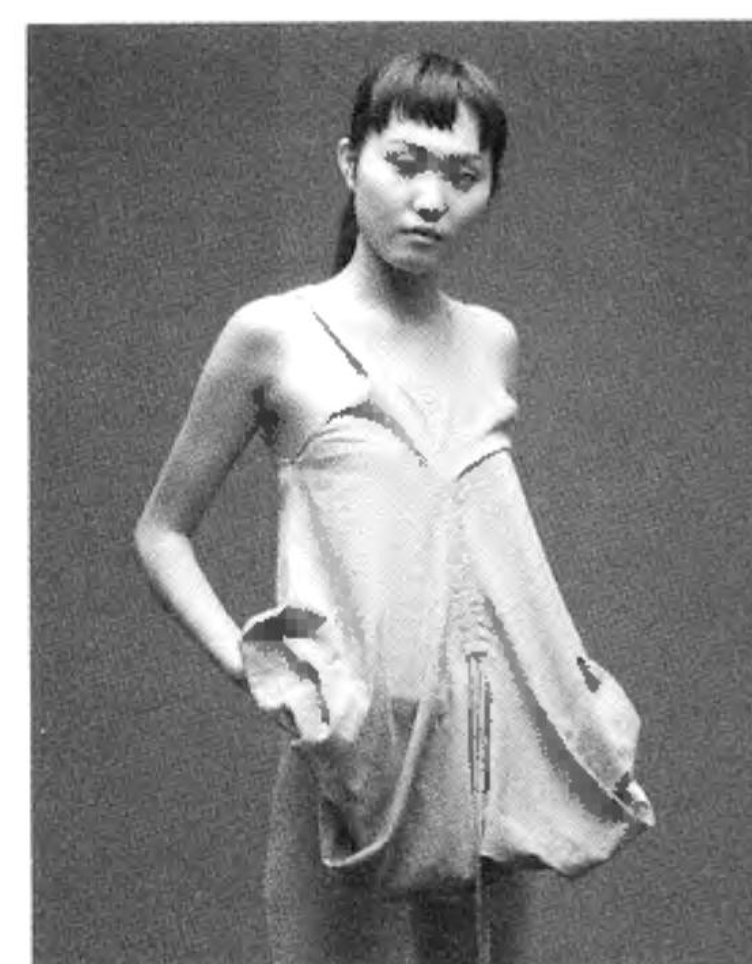
❺ ひもの作図をする。

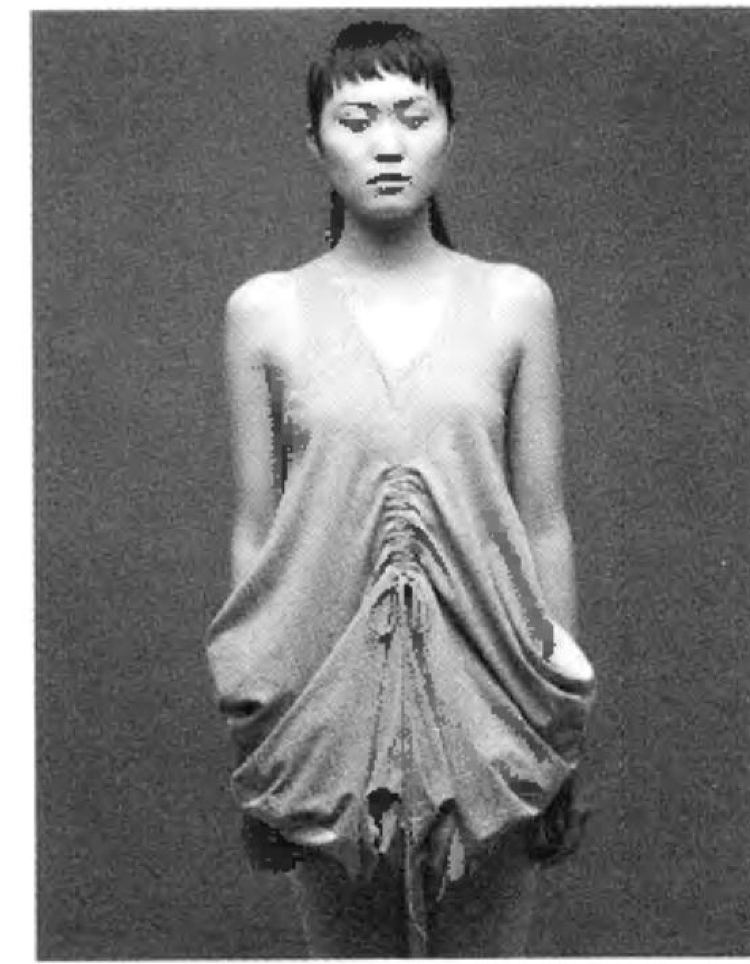








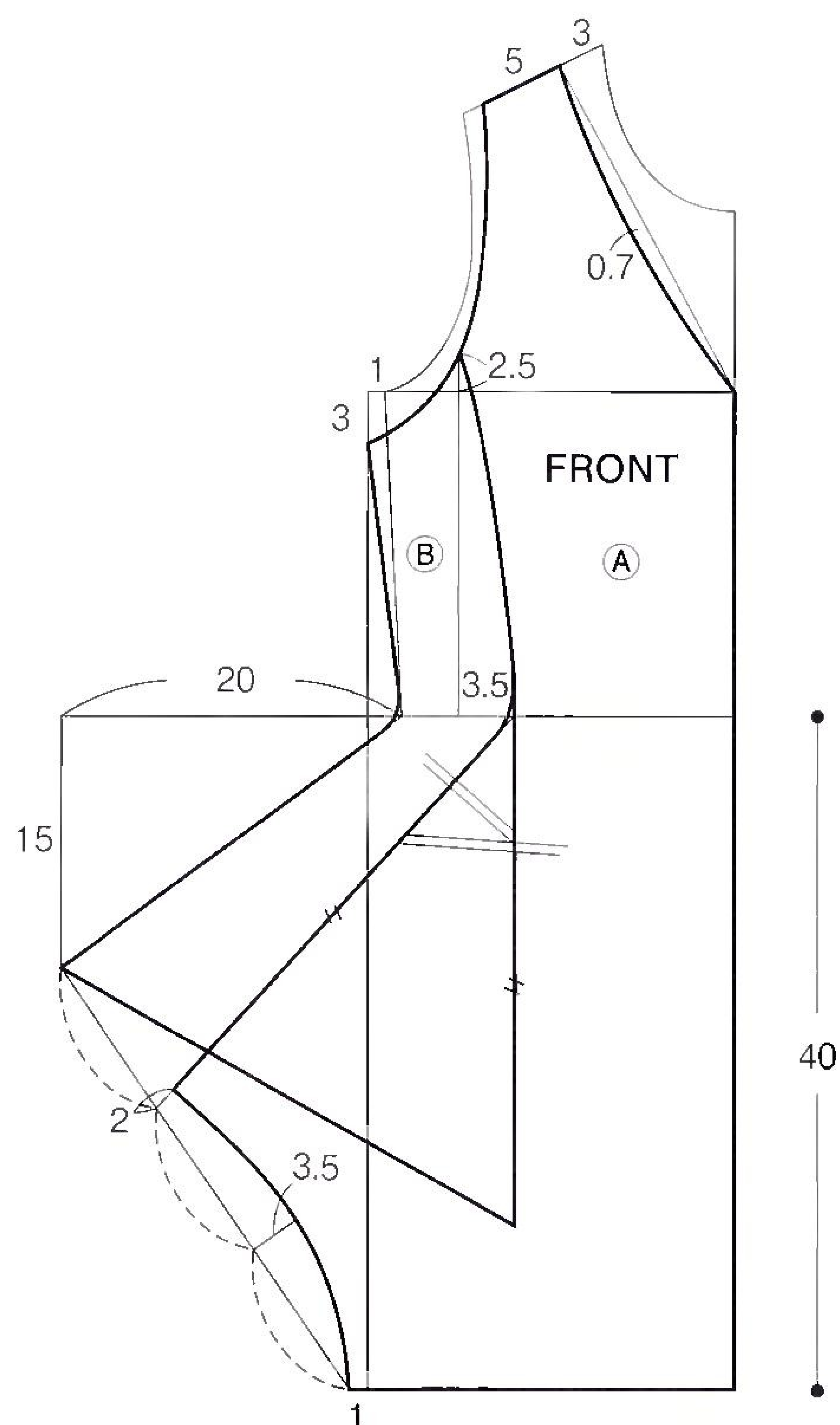




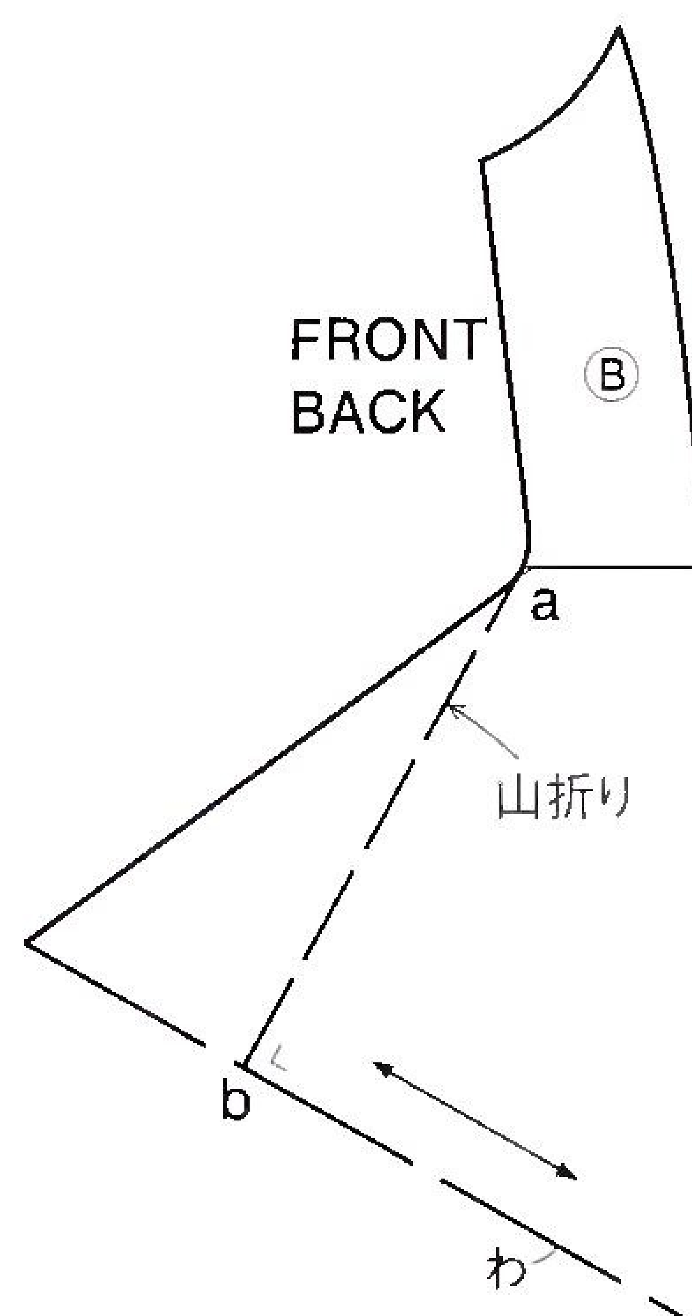
64ページ"えい"

水族館で人気者のえい。
ひれを大きく動かして向かってくる姿は圧巻だけど、
おなかを見せてターンするとき、
ちらっと見せる恥ずかしそうな顔がなんともかわいい。
広がったスカートと横からの扁平なシルエットに
水族館のえいを思い出した。

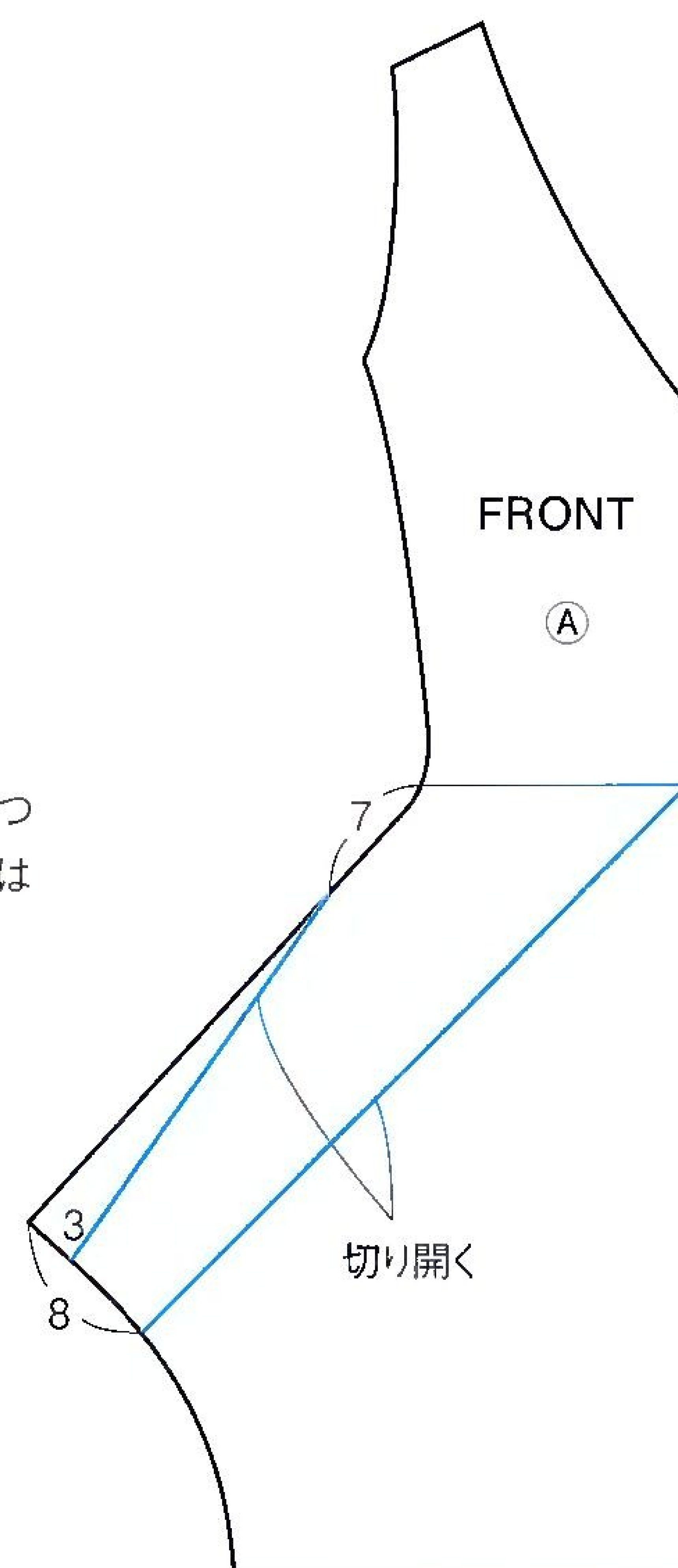




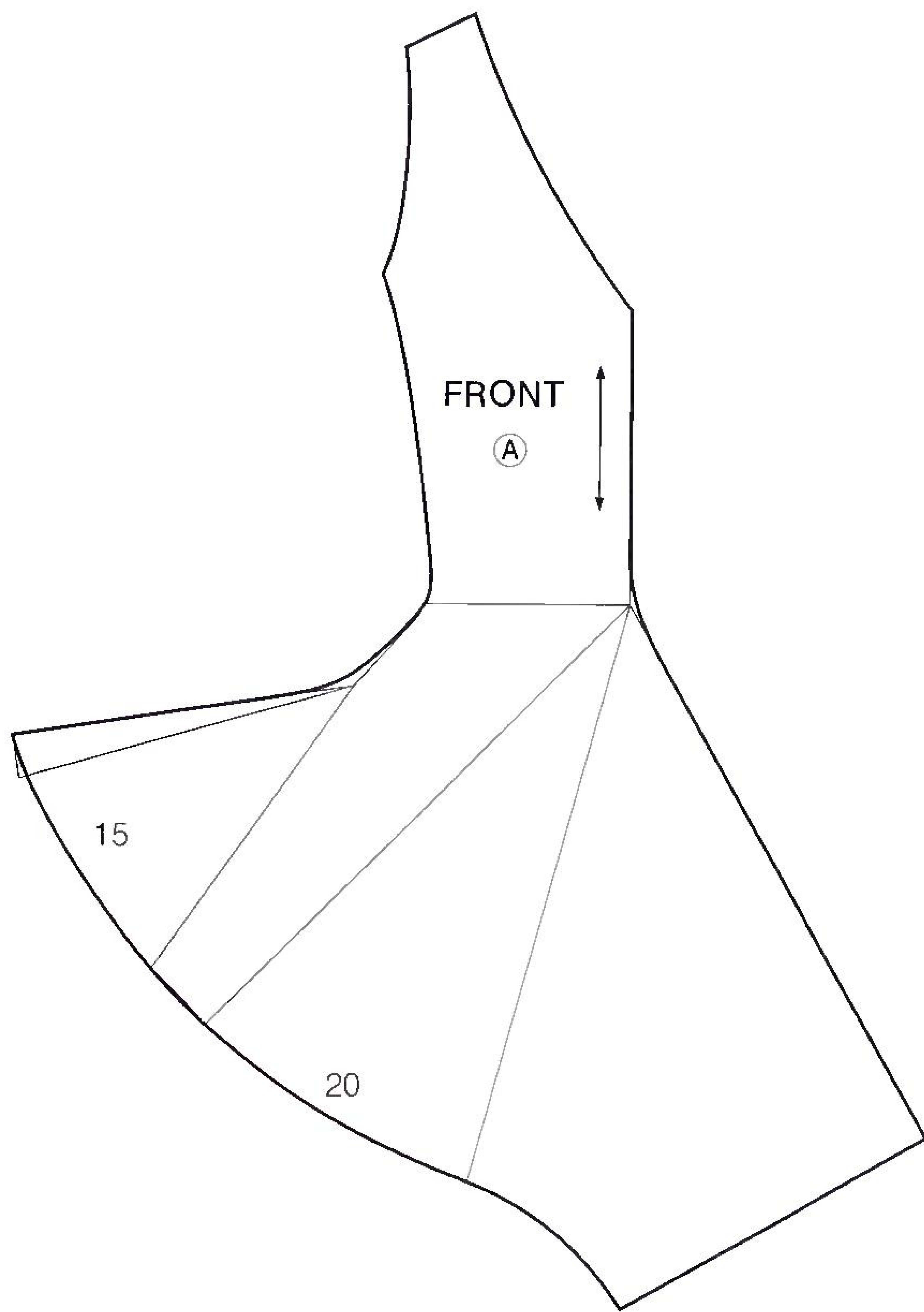
❶ 前スローパーのウエストから上をかく。前身頃の作図をする。パネルラインをかく。脇で広がったラインをさらに交差させて、ドレープのあるスカートの作図をする。

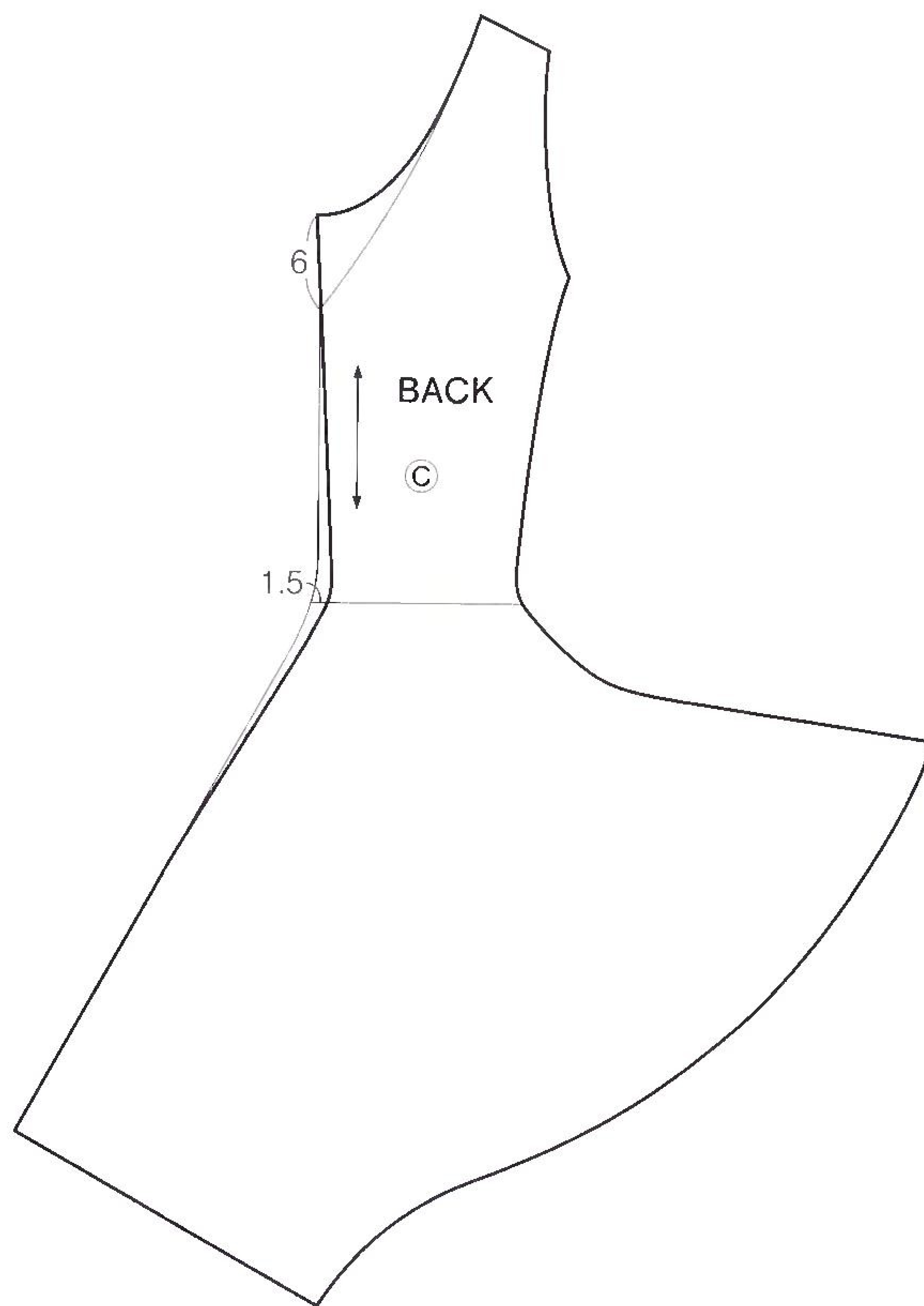


❷ 脇側は、裾でわ裁ちにし、前後つながったパターンにする。a～bは山折りにし、脇を立体的にする。



❸ 前中心側の身頃に切開き線をかく。





❹ 前中心側の身頃の切開き線を切り開く。仕上り線をつながりよくかく。

❺ 前中心側の身頃を反転して、後ろ身頃を作図する。ウエストラインで1.5cm絞る。後ろ中心で衿ぐりを6cm上げる。仕上り線をつながりよくかく。

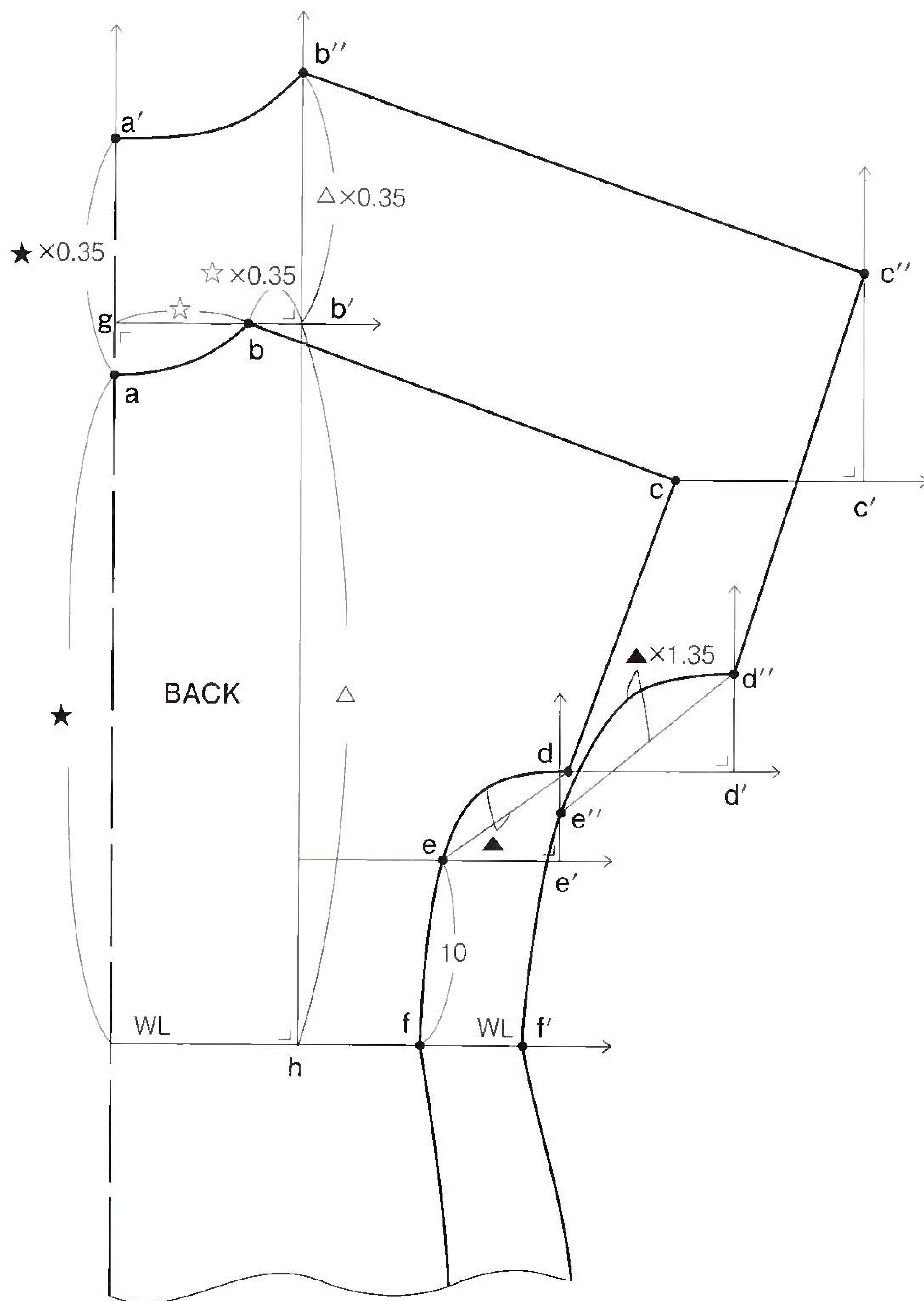


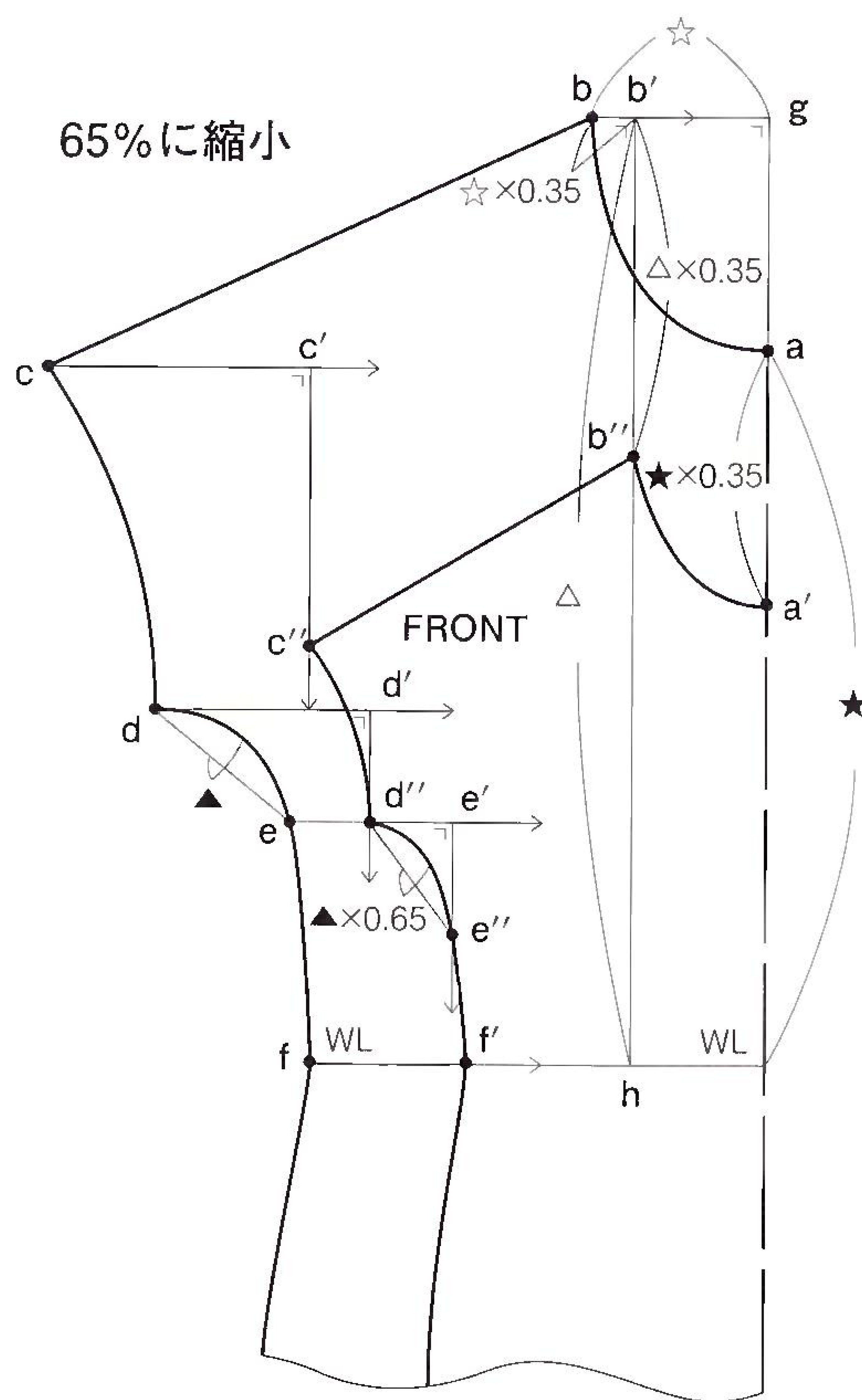
パターンの拡大、縮小のしかた

パターンの拡大、縮小はコピー機でできるが、計算してする方法もある。

8ページの"似たものどうしA"のパターンを135%に拡大、65パーセントに縮小してみる。

135%に拡大





❶ 後ろ身頃をかく。ポイントごとにa、b、c、d、e、fをかく。後ろ中心を基準として、横を135%に拡大する。後ろ中心上にbから直角にgをかく。gからbを通り水平線をかく。g〜bを☆寸法とする。bから(☆×0.35)寸法をとりb′とする。同様に後ろ中心からcまでの長さの35%をcから水平にとりc′とする。同様にd′、e′、f′をとる。ウエストから下も同様にする。ウエストを基準として縦を135%に拡大する。後ろ中心上でaからウエストまでを★寸法とする。aから(★×0.35)寸法をとりa′とする。ウエストライン上にb′から直角にhをとる。hからb′を通り垂直線をかく。b′〜hを△寸法とする。b′から(△×0.35)寸法をとりb″とする。同様にc″、d″、e″をとる。ウエストから下は下に拡大する。袖ぐりのカーブのかき方は、d〜eを結び、カーブのいちばん深いところを▲寸法とする。d″〜e″を結び(▲×1.35)寸法をとりカーブをかく。同様に衿ぐりもかく。新しくできたポイントを通り、つながりよくかく。

❷ 前身頃をかく。ポイントごとにa、b、c、d、e、fをかく。前中心を基準として、横を65%に縮小する。前中心上にbから直角にgをかく。b〜gを結ぶ。b〜gを☆寸法とする。bから(☆×0.35)寸法をとりb′とする。同様にc′、d′、e′、f′をとる。ウエストから下も同様にする。ウエストを基準にして縦を65%に縮小する。前中心上でaからウエストまでを★寸法とする。aから(★×0.35)寸法をとりa′とする。ウエストライン上にb′から直角にhをとる。b′〜hを結ぶ。b′〜hを△寸法とする。b′から(△×0.35)寸法をとりb″とする。同様にc″、d″、e″をとる。ウエストから下は下に縮小する。袖ぐりのカーブのかき方は、d〜eを結び、カーブのいちばん深いところを▲寸法とする。d″〜e″を結び(▲×0.65)寸法をとりカーブをかく。同様に衿ぐり、袖口もかく。新しくできたポイントを通り、つながりよくかく。

完成パターン

BACK
WL
HL
HL

